滿洲日報
夕刊
十月十四日

きのふ聯盟理事會における 日支兩國代表の大論戰

十二ケ國の代表出席 佛代表が議長となり開會

【東京特電十四日發】ジュネーヴ十三日發電、支那代表施肇基氏の要求により召集された聯盟理事會は十三日午後零時五分日本芳澤謙吉大使、支那施肇基公使、英外相レディング卿、佛外相ブリアン氏、スペイン駐米公使マダリアガ氏、グアテマラ駐佛公使ホセマトス博士、愛蘭レスター氏、諾威エイメイ氏、事務局軍縮部長テリックコルバン氏、パナマ、ガレー氏ペルー、バレット氏、ポーランド、ルランソアソカル氏、ユーゴースラビア、フォッチ氏の十二ケ國代表出席スペイン代表マダリアガ氏議長席に着き開會を宣した後ブリアン氏を議長に推しブリアン氏之を諾して議長となり日支兩國代表の論戰が行はれた

理事會の希望も空し 支那政府の命令は遵守されず

ブリアン議長の報告要旨

佛外相ブリアン氏議長となり挨拶の後

前の理事會において日支兩國の與へた保障につき理事會は大いに希望を持つてゐたが、此等の希望は空しくなつた、余は日支の平和解決に達する努力を多とするがその結果は何等見るべきものがなかつた余は殊に支那政府の無抵抗の命令が支那國民に遵守され生命の損失を回避せん事を希望したが事態は之に反した、錦州空爆其他日本軍の攻撃的性質については、日本は支那各地の排日のためであると回答したが、理事會に入つた情報によれば支那は滿洲以外では生命財産の保障が出來たと述べ、更に支那の撤兵要求、又日本は日支直接交渉の要を縷説せる回答を寄せ、アメリカ聯盟の態度に贊意を表し滿洲にオヴザーバーを派遣した旨通告し來り、且つ支那の平和解決方法につき聯盟と全く共鳴しつゝある事を特に注意せんとするものである

英代表報告

次いで施肇基氏に發言を許し施氏は左の如く述べた
支那九月十八日突如領土を外國軍隊に占領されたが、支那は武力に訴へず聯盟に訴へたが、日本は更に錦州を爆撃するに至つた

和平の唯一の方法は日本軍の附屬地撤退

施肇基支那代表の演說

退すべく豫期されたるに更に侵略的行爲を逞ふし九月三十日迄に占領せる地域外の各地を占領して凡ゆる暴行を繼續してゐる今や理事會の直面せる問題は前理事會當時と少しも變る處はない、即ち日本軍をして即時附屬地内に撤退せしむる事である、之が日支國交を平常に復せしむる唯一の方法である、若し理事會がこの紛爭解決に失敗せば第一に明年二月の軍縮會議は不成功に終り第二には東洋における擾亂のため世界的財政經濟危機を克服せんとする總ての國際協力は終熄するの不幸を齎すであらう

右支那代表の演說終るや議長は一先づ休憩を宣した(寫眞は施氏)

重要問題を討議した國際聯盟總會

撤兵は日本居留民の安全保障により實現 全支排日は深甚の紛糾を來す

芳澤代表の演說

休憩後の理事會は休憩前に比し緊張さまで行かずとも更に重苦い空氣の中に午後三時四十五分再開された、この會議に日本の立場を闡明すべき重大使命を擔ふ日本代表芳澤大使は、先づ議長レルー氏の電報に對する日本政府の回答を朗讀した後、滿洲における權益の由來から說き起し殆ど一時間に亘り英佛兩國語で左の如く述べた
一八九四年日支戰役により日本は支那より遼東半島の割讓を得たのであるが三國干涉によつてこれを還附するの已むなきに至つた、更に日露戰役を經てポーツマス講和條約によりロシアは遼東半島の租借權を讓步し支那政府も亦一九〇五年の北京條約に依つてこの讓步を承認したのである、日本は朝鮮、滿洲に對する切迫せる危機を避けるため過去二回に亘つて自國の存亡すら賭したのである、從つて滿洲は自國自身の運命と直接不可分の關係を有するものである日本は滿洲て何等の領土的野心を抱くものにあらざるも、滿洲に政治上經濟上の死活的深い關係を有するのである、日本は支那における各國の經濟的活動に關する機會均等、門戶開放の原則を擁護する日本が滿洲の開發に從事して以來滿洲の外國貿易は實に十倍するに至つた、之に依り支那も亦無限の利益を得てゐる、年々數十萬の支那人が滿洲に移住し過去二十ケ年間において滿洲の人口は實に二倍となつた、自國の安全を防護する鬪爭に多數同胞の生命と莫大なる資財とを犧牲とした日本が滿洲の開發に異常なる努力を捧ぐるは不思議でない、滿洲開發の第一要因は秩序の維持に存する、確固たる日本の對滿政策に依り過去二十ケ年に亘つて支那を苦しめた支那の內亂が滿洲における平和的勤勞的活動を擾亂する事をよく防止した、日本人は滿洲に大約二十億圓の莫大な資本を投資してゐる、過去數ケ年間日本の權益は屢々支那人の侵略の目標となつた、殊に國民政府が政權を掌握してより責任ある政治家すら公然と遣憾極る言辭を弄し滿洲における日本の權益を悉く彈壓せよとさへ主張したのみならず、東北政府當局の滿鐵並に日本人及び鮮人に對する態度の如き最近特に挑戰的なるものがあつた、中村事件の如きは好適例である、支那の侮日態度の如きは好適例であつたのだが、此等の暴擧に對してすら日本政府は飽迄和協的態度を執つたのだが、然も政治的勞働氣が前項の如くなり日本國民の感情が斯くの如き事態の中にあつて激昂の極に達した事は實に避け難いところであつた、支那政府は組織的に惡意ある方法により我重要權益を脅かす結果生じたこの情勢を前にして、日本軍指揮官は九月十八日の滿鐵線爆破事件に直面し遂に如何なる犧牲を拂つても滿洲における我國の存立のために正當防衞の手段に出づることは避け難い

日支會商豫備審議 けふ理事國代表を召集

【ジュネーヴ十三日發】聯盟理事會議長ブリアン氏は十三日會議散會後十四日午前九時半各國理事の會合を召集した、右は芳澤、施兩代表會議の豫備として審議するためで、日支兩代表會議は十四日午後に行はるべくブリアン氏の肚では日本軍撤退につき兩代表の交涉で今週末までに解決せしむべく迅速な解決を圖らんとしてゐる

英佛外相等豫備調査 理事會開會前

【ジュネーヴ十三日發】十三日の聯盟理事會開會に先だちブリアン佛外相、レデング英外相、グランディタリー外相、レルー氏に代り理事會の議長となる駐米スペイン大使マダリアガ、ニューチウス獨代表の五氏は午前十時半より秘密裡に會合し日支紛爭に關する豫備的調査を開始した

理事會は崇高なる義務を遂行す ブリアン議長告白

【ジュネーヴ十三日發】日支紛爭に關し兩國代表交々立つてその立場を說明したる後、議長ブリアン氏は左の如く述べ散會した
日本は滿洲における日本國民の生命財産に對し適當なる保護が保障せらるゝ時は何時でもその占領地點から軍の撤退をなすべく支那に對し何等禍を蒙らしめんとする意思なき旨を繰返し確言した、一方支那は日本に對し報復の意思なく暴行を惹起すべしと思惟さるゝ行爲は一切これを差控へることを聲明した、兩國の態度が斯く有る以上今日の紛爭が一大災禍となり又取返しのつかぬ形勢を釀成せしむる理由はないと信ぜらるゝ、聯盟理事會はこの間に處し最も崇高にして最も困難なる義務を遂行せねばならぬ、我等は兩國紛爭の原因につき充分智識を持つ時は必ず確乎たる信念を以つて我等の義務を遂行するであらう、同時に日本も支那も聯盟を信任し兩國共事態を擴大する如き一切の行動を差控へんことを忠告して已まない、この際戰禍を惹き起すが如きは各國民の懼るゝところであつてその影響は實に全世界に及ぶであらう、日支兩國間の誤解はなほこれを終熄せしむることは可能である、兩國の外交關係は未だ破壞されてゐない、現に兩國民は卓を同うして談を交へることが出來る、今日の如き形勢に在る兩國が席を同じうして而も懸隔にそれ〴〵その立場を說明し共に聯盟に對し信任を表明するが如きは未だ曾て歷史の記錄に見ないところである、理事會は飽くまでその義務を斷念せずその有する總ての手段を盡してこの義務の敢行に當らんとするものである(寫眞はブリアン氏)

蔣氏洛陽移駐後 國交斷絕宣言か 聯盟の決定如何て

【上海十三日發】蔣介石氏は國際聯盟理事會の決定を待ち對日國交斷絕を宣し在留日本人の引揚を要求すべしと傳へられてゐる、なほ國交斷絕時期は政府を河南洛陽に移した後となるらしといはれてゐる

フ大統領は頗る樂觀

【東京特電十四日發】ワシントン來電、フーヴァー大統領は十三日閣議において滿洲事變の最近の狀況に對する報告を爲したが、之は頗る樂觀的なものであつて米政府の空氣を著るしく緩和した形である、殊に米政府は東京において外相と駐日支那公使とが會見し

蔣氏下野を斷念し 北支奪取を企圖 學良氏の窮境に乘じ

【北平十三日發】蔣介石氏は滿洲事變により張學良氏の再起絕望と見極め廣東との妥協を斷念し下野を思ひ止まるのみか、北支一帶を自己の支配下に置かんとするの野心を抱き本據を失ひ財政的破綻に瀕せる學良氏に經濟的拘束を加へ平津地方の奉軍を中央軍に吸收し學良氏を手も足も出ぬ狀態に陷れ南方勢力の北支々配を企圖しつゝある事漸く明瞭となつて來た、卽ち中央軍の平漢、隴海、津浦各線への移動開始は右計畫の一の現はれであり滿蒙が日本との關係上關東軍に自己の手に歸せずとするも尠くも平津地方を中心に河北、山西、察哈爾を學良氏に代つて勢力下に置かんとの肚で策謀中である

支那兵一千名 通遼へ行進

わが飛行機の偵察によると十三日通遼東方千家店附近を支那兵約一千名が通遼に向け行進中なるを發見した【奉天電話】

所と判斷するに至つた、日本軍の行動はこの角度より檢討すべきだ現在の情勢は

支那全土に亘り猛烈

なる排日運動によつて更に深甚なる紛糾を來たしてゐる、斯くの如き事態の下において理事會の執るべき最も適切且つ有効なる態度は何よりも先づ日支兩國間に協定と精神的武裝解除を齎すべき方針を求めるにありと確信する、故に撤兵は日本居留民の安全保障に依つて實現さるべきものだ、而して此事態は本國政府の絕えず提唱する方法に依つて事實上實現され得るのである、此等の方策と此等の考慮とにより吾々は理事會の決議に包含されたる諸原則を實現し聯盟規約第十一條に規定する如き兩國間のよき諒解を確立し得るであらう(寫眞は芳澤氏)

聯盟理事會 けふ再開

【東京特電十四日發】滿洲事件に對し國際聯盟理事會公開會議を十四日午前再開に決定

對支問題は擧國一致で徹底的解決が急務 首相、外相の出迎へを受けて けさ入京の 內田滿鐵總裁談

【東京特電十四日發】滿鐵總裁內田伯は政子夫人、杉本秘書帶同本日午前九時東京驛着急行で入京した、驛頭には若槻首相、幣原外相斯波滿鐵顧問其他貴衆兩院議員等官民數百名の出迎へあり國士館專門學校の一團は內田總裁の姿を見るや「萬歲」を三唱した、四ケ月振りに入京した內田總裁は頗る元氣にて直に麻布狸穴の社宅に赴き大淵支社長より情報々告を受け卽日若槻首相、幣原外相を訪問、滿洲事變に關聯する各種の實情を報告し且つ重要事項の打ち合せをなす筈である、これより先沼津まで出迎への記者に對し車中語る
江口副總裁と相携へて上京する筈であつたが酷い暴風雨で海が荒れ船は神戸まで來て居ても上陸が出來ず已むなく江口君一行を殘して一足先きに入京したわけである、京都では

西園寺公

と會見したが却々お元氣の上何でも彼でもよく承知してゐられたのには敬服した自分は滿洲事變を報告して種々御意見を承つた、また來る途次奉天では本庄軍司令官、林總領事、京城では宇垣總督に會見し十分意見を交換して來た、一言にしていふと日本は今日程重大な時機に際會して居ることはないのである、故にこの際國論を統一し飽まで擧國一致して對支問題を根本的に解決しなければならぬ、自分は今回の事變直前に殆んど滿洲全體を視察し支那側の代表的人物とも隔意なき意見を交換したのでよく民間の意嚮が判る、今日滿洲の支那人は公明正大なる

日本軍の

態度を信頼して安んじて生業を勵み苛斂誅求をなす暴戾なる支那軍憲を極力排斥して居る、王以哲その他の率ゐる敗殘兵は未だ諸所に二千、三千と居るので日本軍は現在の地域を到底離れることが出來ず又支那側では是非日本軍に永く治安の維持をお願ひしたいといつてゐる、日本軍が僅かな兵力で殆んど決死的にその責任を盡して居ることは感謝、感激に堪へぬところで、この點は內地の人々に大にアッピールするつもりである、また世間では幣原外相を兎角批評する人もあるが幣原君は

歐米各國

に信望のある人で極めて冷靜、理義に明るい人だからこの人が日本の立場を正しく闡明すればみな諒解するであらう、國際聯盟の代表者の如きも何れも世界の大勢に通じて居る人だちだ、無茶な支那側の宣傳には乘るまいと思ふ、日支交涉に就てはまだ支那側の實情が混亂して居るので直接交涉する段取には行くまい、先づ向ふで排日、排貨を徹底的に鎭撫し一國の大綱を定めてかからねば話も始められぬではないか、錦州の爆擊事件は全く支那側の挑戰によつて行はれた

自衞手段

で第三國からさやかく言はれる筋合のものでは斷じてない、また滿洲の獨立政府が何うの斯うのいふが我輩は政府と同樣不干涉主義である、支那人自身で適當な方策を講ずるであらう、なほ我輩の滯京期間は約一ケ月で主として豫算問題滿洲事變の報告等をなすつもりである

首相、外相に午後會見

【東京十四日發】內田滿鐵總裁は十四日午前九時着京午後一時より若槻首相、幣原外相と會見の筈

江口副總裁 今夜九時東京着

【東京特電十四日發】上京の途にある江口副總裁は暴風雨のため着陸遲れ今朝神戸に上陸、大阪に休憩の上今夜九時二十分東京着特急で上京の筈

胡漢民氏釋放

【南京特電十三日發】廣東側の妥協進捗の結果胡漢民氏は釋放された

胡氏蔣氏と懇談

【南京十三日發】胡漢民氏は監禁以來始めて自邸を出で蔣氏と共に自動車で蔣介石氏と長時間懇談したが緊張の折柄注視される

たさの報道を歡迎し、これ國が戰爭の災禍を阻止せんとしつゝある證左だと認識するに至つた

重光公使歸滬

【南京十三日發】重光公使は正午發日清汽船大福丸にて歸つた

本庄軍司令官

【長春電話】民政黨代議士三名及び關東官一行は十四日午前六時五十分奉天發午後一時長春に到着

貴院議員團動靜

貴族院議員一行は十五日市十六日旅順に關東廳及び軍七日午後大連發沿線に向ふ

人事

▲大河內輝耕子爵(貴族院議員)一行十四日入港の天潮丸連
▲土岐章子(同上) 同上
▲渡邊汀男(同上) 同上
▲中村純九郎氏(同上) 同上
▲青木周三氏(同上) 同上
▲赤池濃氏(同上) 同上
▲八田嘉明氏(同上) 同上
▲山崎龜吉氏(同上) 同上
▲山本秋廣氏(貴族院書記官) 同上
▲光吉信一氏(同屬) 同上
▲岡田猛馬氏一行十五名(聯盟代表)十四日入港うらる丸にて歸連
▲佐藤安之助氏(前代議士) 日出帆長春丸にて上海へ
▲傅宗耀氏(前上海商務總會長) 觀察のため十四日入港の丸で來連
▲小山勝清氏(著述業、實業) 本社、博文館特派員)同上
▲村上三千穗氏(畫家、實業) 本社特派員)同上

蛇角

內田總裁の東京入り、首相外相がわざわざ停車場へ出迎へたのは、瞬時も早く膝につめこんで來た滿洲の話が吸ひたいからである。
◇
これから訓令は大連より發せられず、狸穴から霞ヶ關へ、ジュネーヴへ。
◇
天津共國領事を我が駐屯軍に襲撃するの勇氣ありや。
◇
ジュネーヴに於ては松岡洋右と芳澤謙吉氏とは同一人である。
◇
暴るための大連中央市場から解消したさは、市外鑑柏からでもよろこばしい、市民は爲めに感謝すべきか。
◇
幣原さんがジュネーヴに行き田伯が霞ケ關に坐る、役者はそろふのだが……滿鐵ですが口さんで結構でせう、そしては堀內謙介さん、此の趣から始めますか

「東亞の謎」休載

國民政府の膝下南京で居留邦人死に直面す
本日後邦人殺害の民衆運動に全部引揚げを決議

【南京特電十三日發】南京在留居留民は昨夜居留民大會開催の結果、左の理由で領事館に陸海軍兩武官を除きその他全部引揚げをなす旨を決議し本日居留民代表、領事、武官の聯合協議會を開き引揚に關する一切の手續きを定める事になつた

一、中央大學生を主體とする對日敵視の民衆運動は日を經るに從つて愈々露骨となり、軍警の面前において公然民衆に向つて『**十四日以後は日本人を見つけ次第殺害せよ**』と煽動するも、**國民政府當局にこれが取締の能力なく居留民の生命は國民政府の所在地においてすら白日の下極度の危險に晒されてゐる**、その他國民政府は不法にも日本人宛の一切の郵便物を沒收し居り新聞紙の如きは二個年間に亘り凖續沒收し再三の官憲を通じての抗議にも反省する處なく又新聞記者に對しても各機關への出入を一切禁止する等殊に電信電話の使用を停止しその報道の任務を妨害に努め居れり其他軍警は全然保護の能力なしとその事實を指摘してゐる

排日宣戰を布告し邦人に逮捕令
信陽の官民と反日會

【漢口十三日發】河南信陽の軍隊官民學生は反日會と共同し排日宣戰を布告し居留邦人西崎俊雄氏の逮捕令を出し學生團は十一日西崎氏の宅を襲ひ氏は辛くも逃れて當地に引揚げて來た、信陽教育局は『**日本人を鏖殺せねば我等は殺さるべし**』と布告し同地に在る邦人四名の生死は憂慮されてゐる

各地在留人の意見を聽く
けふ貴院視察團第二班來連
團長の大河内子語る

貴族院議員の滿鮮支那視察團のうち大河内輝耕子爵を團長とする第二班は去る六日青島に上陸、それより濟南北平を經て天津經由十四日早朝大連港の天潮丸にて來連した、一行は滿鐵恒久性問題につき少壯派の重きをなしてゐた土岐章子爵をはじめ元警視總監赤池濃氏前鐵道次官青木周三氏、渡邊汀男爵、中村純九郎氏、八田嘉明氏、山崎亀吉氏外同行二名にて元氣すこぶる旺盛で一行を代表し大河内團長は語る

六日に青島につきそれより濟南北平、天津と廻つて來たもので、この旅行は事變の勃發以前より計畫されてゐたもので偶々支那滿洲を歩くのに最も好い

機會に 遭遇したのだ、二班に分けたのは別に意味のある譯でなく餘り大人數になるのを避けた爲である、今度は視察と云ふよりむしろこの機會にその土地々々に在留邦人の意見を出來得る限り聞いたが、非常に好い參考になつた、幸ひ支那側官憲の彈壓が徹底したものか私達の歩いた方面は目に餘る樣な排日も無かつたが、在留邦人はよく辛抱してゐてくれる、支那側の官傳上手には些か日本側でも常に機先を制せられ勝だが、正々堂々と肚をしめてゆつくりやつた方が結果は勝利だ、何にあんな嫌支的な

惡宣傳 が何時までも信じられるものか、聞くところによると外交畑と軍部の意見が一致してゐない樣な事が云はれてゐるがそれは一部の宣傳であつて實際は一定した方針のもとに國際信義に基き輿論の赴くまゝにやつてゐるのだから安心して政府に任せられると思ふ、要するに國民は一致して支那側に妙な口實を與へる事の無い樣にやつて貰ひたい、聯立内閣說初耳?だいづれにしても國民の輿論がさうであつたら例へ聯立であらうが

民政で あらうが政友だらうが決して間違ひは起きないと信じる、上陸してからは直ちに星ケ浦ヤマトホテルに小憩、豫定のプログラム通り廻る氣だ、聞けば十七日には勇士の遺骨が送られるそうだが是非見送りたいものだ

鐵道問題を充分調査
青木周三氏談

前鐵道次官青木周三氏は語る
自分は純然たる鐵道畑のもので政治の話は抜きにしたい、今度一緒になつたのは滿蒙問題中最も重要なのは鐵道問題であると云ふ關係からその調査のために

支那側の激烈な宣傳に驚く
赤池濃氏談

元警視總監赤池濃氏は語る
聯立内閣說は贊成だ、重大な時機の時は擧國一致對外的に當らねば駄目だ、その意味で輿論がもしさうなればそして輿論がさう支持するなれば當然さうした歩み方をするのが眞實だ、ズツと歩いて見ての感想は表面は實に平靜の樣だが内部的には大きな爆彈を抱いてゐる樣な氣がした、これから先の形勢の變化は注意すべきものと考へる、到るところで排日ポスターを見この ポスターに示された激烈な宣傳言句に啞然としたものだ、支那の形勢を少しでも早く知りたいと思つて青島に上陸山東各地の邦人の意見をいかんなく聞けた、要するに支那側は民衆の事件を起す事をおそれてゐるが支那側でも北平の市長の如き双十節には我々を招じ意見の交換を行つた程眞劍に考へてゐる人もゐる

來たものだ、滿洲の鐵道に對しては新聞や報告などでその重要性を知つてゐるがこうやつて調査に來たのは初めてだ、要するに自分の專門の方の研究が主になつてゐる鐵道諸問題の解決には全く好機だと思ふこの機會を逃がしては駄目だ

支那側の錯覺から
土岐章子談

滿鐵幹部の恒久性につき堂々の言を吐いた土岐章子は理解ある態度で語る

自分は一行とは違つた意味で今迄の自分の考へてゐた支那を土臺として出來るだけ調査して來た、濟南では韓復榘氏にも會つたし、北平では湯爾和氏にも面會した、そしてこちらの

意見も 述べ支那側の意見も聞いたのだが、要するに支那側は今迄通りの定石的な見方で日本に對抗してゐるらしい、換言すれば日本に對する錯覺がまだコビリついて離れないのだ、定石通りの方針で進まうとする支那側に對して今度は日本側がその手に乗らなかつたものでその點にまだ支那は氣がついてゐないやうで、今度の事變なぞは全く國際公法當然の處置で錦州問題を問題にする方がその無智を暴露してゐるやうなもので日本側は全く正々堂々國際公法に基いてやつてゐるので、この點に關して新聞その他

輿論を 代表するものは强調して貰ひたい、聯立内閣說を今聞いたがこれは自分達は以前から考へてゐたものでこうなれば政黨政派を超越して國民は一體になつて外に打つからればならぬものぢやなからうか、何んな内閣でもよろしい輿論を背景にしたものでないと駄目だ、それに内地の人は餘りに滿洲を知らなさすぎる、滿蒙における我が權益の根幹をなしてゐる滿鐵に對しても政變毎に首腦者が變るので眞實に滿洲を知つてゐる人は少いその意味で自分は滿鐵幹部の

恒久性 を叫けんだのだ、國際聯盟がしきりに口を出すやうだがこれなぞは全く支那側の例の惡宣傳が利いてゐるものだがこちらで正々堂々とやつたら決して間違ひはないと信ずる

軍司令官北行

本庄軍司令官は長春方面における我が軍隊慰問のため十四日午前七時發列車にて北行した【奉天電話】

傅氏大連引揚げ
上海財界の巨頭歸滬

さきに上海商務總會長として且招商局汽船會社長その他上海財界に重きをなす傅宗耀氏は數年來一家をあげて來連星ケ浦に靜かな日を送つてゐたが今回支那要路の人々の懇請もだし難く一と先づ上海に歸る事となり十四日出帆長春丸にて夫人をはじめ一行十六名を引具して出發した、氏はサロンにて語る

大連に來てもう四年半になります、その間時折天津に出掛けたりしてゐますから今更珍らしい顔でもありません、蔣介石氏から歸還命令が出て歸るんかと仰言るのですか、違ひます、全く最近自分の身體の調子が惡いので靜養に歸るのでそれに何時までもこちらになると色々支障を來す事もありますからまあ一ケ月もしたらまた歸つて來るつもりで、取敢ず留守居を殘して引揚げます、蔣介石一派の南京政府を浙江財閥が見切りをつけたなんて說もありますが自分は全然知りません從つて浙江、南京政府を見捨てゝ廣東政府との間に手を握るなんて事も全然知りません、自分が歸つたとしても蔣介石氏には會ひません無論私のやうな一商人に蔣氏が面會するやうな事もないでせう、抗日會の連中は親日派のものを可なり迫害してゐるやうですれ、その事についても自分には何と云つてよいか意見はありません【寫眞はけふ上海へ歸つた傅氏】

遼河左岸で奪戰し我兵二名戰死
敗殘兵六百名を擊退

十三日宮崎騎兵小隊は隊長以下十七名遼河左岸を行進中午前九時三十分紅荷崗子附近で**約六百名の敗殘兵に遭遇し射擊を受けたので**直にこれを擊退すべく交戰約一時間半敵八名を斃し負傷者約四五十名を出したので敵は負傷者を收容しつゝ死體を棄て東北方に逃走した、この交戰において**山口騎兵軍曹、藤井上等兵は戰死し**午後六時十分奉天へ送還し滿鐵病院へ收容した【奉天電話】

奉天で便衣隊狙擊

鈴木二等主計は皇姑屯操縱所附近において十三日夜三名の便衣隊に狙擊され膝に貫通銃創を受け衛戍病院に收容された【奉天電話】

各地に兵匪橫行
危險な遼河沿岸一帶

敗殘兵は馬賊と連絡し各地に出沒橫行しつゝあるが、十三日通江口北方約六七里の地點に兵匪約一千名と三民軍の腕章をつけてゐる義勇軍とが通江口にめがけて移動しつゝあり、また滿井子東北方鄭家安附近に約二千名の兵匪現はれ目下抗日といふ旗を押し立て遼中縣を攻擊すると稱して進行中である、營口北方八河子附近にも九少を頭目とする馬賊と官兵と合同した約八百名の賊團がいたるところに掠奪を行ひなほ同地の商務會に對し三萬元を持參せよと脅迫した【奉天電話】

は何時支那暴兵暴民の襲擊を受けるかも知れずと我守備隊兵營内に避難收容方願ひ出でた、目下同地には日本軍百三十名がゐる

山海關邦人は兵營避難願出

【天津十三日發】山海關居留邦人[illegible]

母國の輿論を大いに喚起
内地主要都市を遊說して
けふ青聯代表歸る

母國の國論統一のため去る九月二十八日出帆のばいかる丸で第二回母國訪問遊說の途に上つた滿洲青年聯盟代表一行十五名は、内地各地に於て愛國の熱辯を振ひ、十四日入港のうらる丸で無事歸連したが、埠頭には聯盟員始め多數官民出迎へ、手に手に旭日の聯盟旗を振りかざして壯圖の成功を祝した一行は埠頭上陸と同時に萬歳を三唱し、直に大連神社、忠靈塔に參拜したが、團長格の岡田猛馬氏は語る

去る九月二十八日出發以來、我々一行は殆んど母國の全主要都市を訪問して遊說し、又各機關の代表者に主張を傳へ國論統一のために出來得る限りの努力を續けて來ましたが、この間に於ける我々の論點は聯盟としての主義主張を述べると云ふことよりも今回の日支事變を中心として、今後の對策を如何にすべきか、そしてこの點に就て日本國民は如何なる覺悟を要するか、同時に在滿邦人は如何に深刻に此の點を考へてゐるか、と云ふ點に論旨を置き、各地步調を揃へて内地の同胞に呼びかけて來ました、我々は貧しい努力ではありますが、決して無駄でなかつたことを確信してゐます、政界始め一般大衆は勿論、大阪の實業界にまでも相當根强い輿論を喚起して來たつもりです、左傾團體の如きも殆んど現在では影を潛めてゐるやうに思はれ、我々が使命を果す上に何等障害もありませんでした、殊に壇上における伊藤氏の卒倒、美阪氏の割腹は在滿邦人の悲壯なる憂國思想の現はれとして非常なショックを與へました、なほ今回の遊說に於て痛感したことは今後の日本には在鄉軍人の團結が非常な勢力として現はれて來るであらうと云ふことでした【寫眞は歸連した青聯代表一行】

元氣で歸つた青聯代表

虐殺同胞の追悼會
相愛會主催で

【東京特電十四日發】滿蒙に移住せる二百萬の同胞が最近支那官民の壓迫を受け多數虐殺されたに對し大日本相愛會では全國支部に檄を飛ばし代表者を上京せしめ來る十五日芝增上寺に虐殺同胞追悼會を行ふ事となつた

印度經由でバ孃訪日
獨女流飛行家

【東京十四日發】ドイツ女流飛行家エリ・バインホルン孃は本月中旬ドイツ發印度經由日本に飛來するに就き十三日航空許可を航空局に願ひ出た、航空局では近くコース指定の上許可する筈である

けふエ孃離京

【東京特電十四日發】獨逸の女鳥人エッツドルフ孃は本日午前十時二十四分羽田國際飛行場を出發し大阪に向つた、同地に暫く滯在、同地方の秋色を賞し上海印度經由歸國の途に就く筈である

エ孃飛來延期 獨逸女流飛行家エッツドルフ孃は既報の如く十四日新義州を經て天津へ行く豫定であつたが、二十三日大阪發二十四、五日頃關東州沿岸を經て天津に行くことに變更された

東京地方大暴風雨
家屋浸水倒潰

【東京十四日發】十三日は早曉から内地一帶に亘り大暴風雨襲來し東京地方は午後九時頃から十四日午前二時頃まで最も猛威を逞しうし市内外の河川氾濫し市内外に亘り浸水家屋約六萬戸を出した外地盤崩潰個所各所に起り家屋の倒潰事故數件死者數名を出した、なほ東京を中心とする省線私線の列車電車も一時運轉不能となつた

岡内校長ら取調べ
校舍崩壞事件

池内檢察官は十四日午前八時半羽衣高女、大連語學校長岡内半藏氏を檢察局に招致し、正午から約三時間に亘つて取調を行つたがその内容は羽衣高女燒失當時より新校舍の崩壞に至るまでの經過を詳細に聽取したもので、同校々舍燒失により保險會社より受領して保險金の支途より校舍新築に至る經路、殊に今井組に指名請負を爲さしめた點、その契約内容、工事仕樣書の内容等、今回の事件の核心に觸れた問題と見られてゐるが、池内檢察官は午後一時から再び岡内校長及び關係者を檢察局に招致し取調を開始した

發掘作業終る
職業別遭難者

大連羽衣女學校崩壞現場の發掘作業は十三日午後二時過ぎ終了したが、所轄小崗子署にてこの崩壞によつて重傷及び死亡したもの、職業別その他調査をしたところによると左の通りである

重傷者 大工五名▲苦力一名▲左官四名▲鳶二名

死亡者 鳶職市内伏見町一八七張肥水(二五)外二名▲人夫北崗子一六王世喜(一七)外二名▲左官職市内近江町田文煥(三二)外七名▲塗工市内得勝街六九譚湧雲(二九)外一名▲疊房工市内王陽街四〇二譚守田(三五)外一名▲大工職市内雲井町李善美(四〇)外一名

山東から逆戻り
大連がよい

日支事變以來小崗子方面居住の支那人は大擧して鄉里山東に引揚げつゝあるとのことで小崗子署では去る十九日より本月八日までの間における管内居住民の輸出移動について調査したところによると日支人合せて輸入千四百八十名に對して輸出千五百四十九名で差引六十九名の輸出が多かつたのみで事變の影響によつて移動した者は殆ど無かつたところへ、去る九日以來の流言蜚語に脅かされて同日以來約五十戸二百五十名が山東に引揚げたがその内の三名が昨夕再び山東より引返して來たが彼等の語るところによると

山東に歸つても職業はなく匪賊が橫行して危險この上もなく安住することは出來ず治安が完全して職業がある大連の方が良く先に歸つた二百五十名の連中もボツ〳〵歸つて來るだらうと

三十里堡で電話の交換開始

林檎で有名な三十里堡附近は交通の完備と共に最近著るしき發展を示し現在設備の電話取扱所ならびに郵便取扱所のみでは商取引上まことに不便なので同地在住民は屢々遞信局に對し電話交換業務の開始を請願中であつたが遞信局でもこれを諒とし差向き來る十月二十一日より普蘭店郵便局の出張所を同地に設置し郵便および電話交換業務を取扱はしむ事となつた、これによつて同地の電話加入者は三十名以上に達する見込みである

金具取付中に惡店員の盜み

市内櫻町四四番地三井物產社員石川富次氏方では去る十一日午前十時ごろ二階の机下に置いたオペラバックの中から現金百十圓紛失してゐるので大連署に屆出た、内偵の結果紛失時刻ごろ市内伊勢町某商店員前科一犯奥村一雄(二)が石川方のカーテンの金具取付中家人の隙を見て竊取し何食はぬ顔で店へ歸り寢臺の下に隱匿してゐたことが發覺、奥村は十四日午前九時大連署遠藤刑事に逮捕された

中等校職員の庭球リーグ戰

山本運動具店では本社後援の下に來る十八日午前九時より羽衣高女テニスコートに於て大連最初の試みたる全大連中等學校職員の對抗軟式庭球リーグ戰を擧行することゝなつた、出場數は一校五組で試合方法はポイントゲームである

哀れな一家へ

十三日午後三時ごろ十七、八歲の學生風の男が市内濱町伊藤吳服店へ來て本紙に既報した市内西崗街支那宿泊所へ止宿中の哀れな一家有馬満高方へ子供用のネルの着物を注文し配達を依頼したので同吳服店でも更にネル二丈を添へて十四日小崗子署を通じて寄贈して來た

慰靈祭と滿鐵

獨立守備隊第一大隊及鐵嶺第五大隊兵四十名の戰歿者遺骨は十五日午後八時大連驛着、十六日午前十時うらる丸にて歸還するにつき滿鐵からは十六日午前八時から各理事、次長埠頭構内慰靈祭に參拜する、その他一般社員も同時刻まで自由參拜すること

美坂代表慰問

金井青年聯盟理事長代理中西顧問は仙臺に於て演說中自刃の擧に出でたる美坂擴三代表に對し慰問狀を呈した

語學檢定試驗

九月九日施行された滿鐵の第十回語學檢定、備試驗合格者(露語及び華語の分)左の通り決定した

華語特等二十二名、一等六十九名、二等百五十六名、三等四百五十九名、四等二百三十四名▲露語特等三名、一等十二名、二等十八名、三等、五十七名

小兒保險好績

滿洲内各局に於ける小兒保險の成績は日一日と良好に向ひ十月一日より十日まで(實際取扱ひは日曜日を除き九日間)の累計二千四百二十五口に達したと

商業學院開校式

大連基督教青年會經營の大連商業學院は關東廳の認可を得たので十四日午後七時より同會館に於て開校式を行ふと

訂正 十四日付夕刊記載うさぎ喫茶店驛脫落の記事中、賀々美建築事務所請負工事とあるは川見組の誤につき訂正

天氣豫報

十五日 北西の風(晴)

各地溫度

	十四日午前十一時	十三日最高
大連	一八、八	二二、二
旅順	一九、六	二〇、七
營口	一九、四	二〇、三
奉天	一五、七	二一、〇
長春	一二、〇	二〇、三

滿潮(午前零時五分/午後零時二十五分)

干潮(午前六時三十五分/午後六時二十分)

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一二三四圓三五錢

滿洲事變陣歿者慰靈祭執行

獨立守備隊第一大隊及鐵嶺第五大隊陣歿將士四十名ノ遺骨到著ニ付一般市民多數參拜アリタシ

(遺骨ハ十月十五日午後八時大連驛着同十六日午前十時ウラル丸ニテ歸還ノ豫定)

○日時 昭和六年十月十六日午前八時

○場所 埠頭構内東方廣場

主催 大連市役所

暗流阿修羅館 (215)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

月夜の夢（七）

「どうも彼奴に相違ない」

どういふものか意次はすぐさう思つた。

腹臣の出口李太夫を呼んで、高田山の黄檗寮を探らした。そして佐々木周太郎も探して連れて來るやうに命じた。

意次はひどく怒つてゐた。そして、ひどく寂しかつた。じりじりと胸が焦げるやうないらいらした氣もちになつてゐた。目の前がまつ暗になるやうな氣がした。

が、李太夫にいひつけた時は、案外平氣な顔をしてゐた。

李太夫は、しかし、何もかも、大よその見込んでゐた。

意次は柳營にゐても一日むつつりしてゐた。氣もちが沈んで、時々目鏡が曇つた。何も手につかなかつた。

何時になく、ぼんやり考へ込んでゐたりした。

（それとも、逃げて行つたのだら

うか）

どうも新左衛門がさらつて行つたやうに思はれるけれど。

（年はとりたくないものだ）

何しても心ぼそいおもひがおこからあとから、意次をさびしがらせた。

此頃に、このやうに思ひなしたことはなかつた。

天下のこと何一つ、わが意のままだ、さまで心が若く、若づてゐた意次とは、このこともあつてからは思はれないほど襲へてゐた。

その夜と、その翌日と、李太夫からは何の消息がなかつた。

と、竹代丸が、その夕方から、何となく元氣がなく、床につかれた。

「このやうなご氣分でござるか」

意次は退出しかけてゐたが、大奥のお居間にこの若君を見舞つた。

お佐意も、お紅も、お貞も、皆お枕頭に見舞つてゐた。

意次が、かう云つて瞳をさげてあげた時、お紅は、ちらと彼の瞳を見た。何か嘘が云つてゐた。

「ついいましがたまで、御元氣でお馬遊びに餘念無うおいでとございましたが」

お貞の方が云つた。

「うむ」

意次老人は、頷いて、また、前

こゞみになつて竹代丸の顔をのぞいた。

竹代丸は、當年七歳、さすがは氣品のあるお顔立。

もさく白いお顔が、蒼ざめてじつと目をつぶつてゐる。腰元が代る代る、白布を水に浸してはその顔にのせてゐる。

「うゝむ」

波のやうな呼吸で、時々、かすかに唸つてゐる容子である。

意次は手をのばして胸と、腋の下を觸れて見た。腋の下にはじつとりと汗が熱かつた。

「これは、ひどいお熱だ。醫者は誰を召された」

「不井殿がお詰めでございます」

「玄徳殿か」

「はい」

「おゝ、其所においでか」

屏風のかげで、玄徳は調劑中であつた。

「お見立ては如何でござる」

「暑氣にお中りになつたのでござ

います」

「お、どうやら、上をつかはれる御容子でござる」

腰元共は、早速塗り盥を用意した。

「お、それは」

玄徳は、枕頭に走りよつて、若君のお背中をさすりながら、御容子を見てゐた。

若君は、重湯のやうな黄味をふくんだ液をがつと吐いた。

キネマと演藝

松竹キネマ上半期六分配當

昭和六年度半期決算に對する松竹キネマ重役會は八日午前松竹本社に於いて開催され同期利益金處分案を可決し來る卅日午前十時歌舞伎座別館に招集される株主總會に附議されることになつた、上半期

に於ける邦畫トーキー製作に機進するために從來十五萬圓としてこれを今回は特に廿萬圓として六分の配當をなすことに決定したこの固定消却金として控除して六分の配當をなすことに決定したこの利益金は約一割一分に相當し前期の一割二分四厘に比して一分四厘の減少であるが現今の不況時に際しては相當の成績をあげたものと言はねばならない

利益金は四十八萬五千餘圓で從來の例にならへば優に七分以上の配當を可能ならしめる譯であるが、會社の内容を充實すると同時に

（注：本段は「上半期」の次に右欄「に於ける…」へ續く）

いよ〳〵今夜限

本社主催の『嗚呼中村大尉』

盛況好評裡に二日間日延べした大日活における本社主催の「嗚呼中村大尉」はいよ〳〵今夜限りであるから見落しのないやうに本紙刷込み優待券を利用してこの滿洲事變映畫を觀覽されたい

沿線各地の上映日割

旅順を振出し

本社主催で去る八日から大日活に上映、連日盛況を呈し好評を博した新興キネマ現代劇特作品中野英治主演「嗚呼中村大尉」は今夜を以て終るが、同映畫は引續き十六日まで晝間三日間學生デーに上映し、十六日夜から十八日晝間まで旅順昭和園にて上映し、廿日から廿六日まで奉天の奉天館にて公開更に撫順、長春、四平街、鞍山をはじめ沿線各主要都市に上映することに決定した

しかも彼等は行く

下村千秋原作、溝口健二監督、梅村蓉子主演の日活現代劇文藝特作品晝後で、女主人公篤子が上京後の受難を描き出してゐる【常盤座上映中】

噂話

大日活は十五六日と繼續興行をして十七日から問題のイデオロギー映畫「彼女をこのまゝしてよいのか」を上映◆また常盤座でも上映權問題で有名になつたワーナーの「特急黒ダイヤ」を今日から上映◆同時に後篇が期待された「しかも彼等は行く」を三十錢の大衆興行で續映する◆滿蒙館が向ひの中央館より非常口が一つ多いから、そこに借家を建てたいさ、保安係へ正式に申込んださうな◆また小競合が始まつたらしいが、事實とすれば非常口で慘々ぢめられた大日活だつて文句があらうし、表面化すれば相當五月蠅い問題になるだらうと見られてゐる

ペーブメント

エロ女給がランデブウ失敗の一寸時代めいた噂がまことしやかに傳はつてゐる、場所は西公園町の某旅館で、奉天から來た宿泊人が夜の徒然にカフエーに出かけて連れて歸つたエロ女給とランデブーの最中、飛込んで來たエロ女給の亭主、現場を押さへて、女房の女給を丸裸にして縛り上げ、その前でチビリ〳〵と一杯やり出したといふのである、いさゝか講談めいた濡場の變態的描寫で眉つばものではあるが、まだ揉めてゐるからあるといふから滿更嘘でもなささうである、エロ女給に引掛かつて現場を見に行かうと誘はれた人が亭主が飛び出して來たとは凡そイットのない話ではあるが、果して獨身の女給がどれだけゐるか、バレたら最後亭主乘込みはこの頃の女給身邊風景である、イットなしで女給を可愛がつたところ、亭主の就職口を依頼されたといふ話はよく聞くところだ

夜目遠目

大檢の藝妓の出入を禁止された快樂のダンスホール、その後もいらぬ御世介されて昵のまゝホールに上げては登樓客と見なせぬきか雨雅の角をつゝかれて、ダンス客は傘を脱いであがつて、またホールで靴をはき直すといふ手間のかゝることになつたが、踊らぬ連中の文句をよそにダンス黨を吸收して依然繁昌してゐる

それを白眼視し乍らホールが作りたくて堪らぬ連中が大分あるらしい、大檢も女紅場のホールを持ち兼ねて作りたいし、作れば他の連中から白眼視されさうだと尻込みしてゐる節もある

また西檢のダンス熱も相變らずで勃興期にトップを切つて踊り出した西檢がいよ〳〵本格的なホールをつくるとの噂もある

遂に解消の危機へ
卸賣市場問題重大化す
けふ殘留組の卸賣人や仲買人九名が辭退屆提出

大連市中央卸賣市場は日本人側卸賣人十二名が連袂して市の卸賣人たる事を辭退したので市は殘留組の日本人卸賣人二名と支那人卸賣人十六名を主體とし極力慰撫して脫退の防止に努め、一面日本人側卸賣人の辭退により却て市況活氣を呈した等と逆宣傳を行ひ危く世間を糊塗し辛うじて市場を經營して來たが十四日午前十時に至り又しても殘留組から

▲卸賣人 同生祥、王竹亭、三盛德
▲仲買人 福本千代野、春祥和、同生祥、興順昌、三盛德、李子修

以上九名の市卸賣人並に仲買人たる事の辭退屆提出 ありこの外同昌祥、金生祥、永生祥同茂盛の各卸賣人から場外取引の許可出願ある等 今や紛糾の卸賣市場は全く解消の危機を孕み重大化するに至つた、右支那人側卸賣人並に仲買人の辭退は日本人側の辭退組に於て紀州柑橘類の委託販賣權獲得に刺激され自己の利害關係から右の擧措に出たもの〻如く、この辭退屆を受けた市役所は顏色を失して狼狽し永井市長代理は直に長瀨社會課長および岩光市場係を市長應接間に招集し長時間に亘り協議を遂ぐる處ありその結果 午後に辭退組の卸賣人および仲買人を市役所に招致し辭退せねばならなくなつた事情に就き眞意を聽取し然る上善後處置を執る事になつた右に關し辛島民政署長は市當局に指導精神が缺けてゐるからだと如何にも憂慮してゐるもの〻如く眉をひそめてゐた

重大事件に對しまだ報告もない
市役所も困りものだ
石塚大連民政署商工主任談

日本人側十二名の連袂辭退の後民政署としては市場行政上の見地から十二名の行動に對し事の輕率を說示し懇々市場に復歸方を慫慂したところ當人等も之れを諒とし、市に於ても組合より提出した嘆願の一部でも容れられて讓步の態度に出れば復歸も敢て辭するものではないと云ふ意嚮だつたので兩者

氷解の 機會に懇談會でも開くべく市役所に話し斡旋の勞を取らうと思つたが、之れに對し市當局は辭退は辭退、懇談會は懇談會で別個の問題である、辭退も復歸も市は事務的に處理するまで〻あるといふ樣な意味で頗る冷淡な挨拶であつたので民政署の方としては當分形勢を觀望するの外なしとその儘にしてゐる次第である、今回の支那人側卸賣人の辭退も紀州蜜柑の荷受關係から日本人と行動を共にせねば

不利益 だと云ふ見解から辭退したものであらうが斯くの如き重大事件に對し市役所はまだ民政署に何とも報告してゐない、だから之れが善後處置に對し民政署はまだ何も考へてゐないが市役所も困つたものだ、卸賣市場を關東廳に於て取上げるかつて——市場としての機能が充分發揮されなくなつたら何とか考慮しなければならないがまだソレ迄に至つてゐない

十四日限の豆粕豆油

大連特產市場における十月十四日限豆粕、豆油は十三日前場を以てそれ〴〵納會を告げた、豆粕は賣買總出來高は十九萬三千枚、受渡高十四萬枚、受渡步合七割二分五厘強、受渡標準值段一圓七十六錢で前月限に比し賣買總出來高は三十七萬枚の激減、受渡高も八萬六千枚の減少を示し受渡標準值段は一圓十錢方の安値であつた、尚公定相場は最高二圓六錢、最低一圓七十三錢五厘でこの開き三十二錢五厘であつた、受渡の手口左の如し(單位千枚)

▲渡方
同聚厚 一八 乾棸和 一
達昌 五 萬義長 一
福和盛 五七 廣源泰 七
天和成 二八 蔣順生 八
玉昌合 五 西記 一九
和泰 一

▲受方
和生祥 六 興茂東 四
鼎新昌 一四 順發公 一
東昌源 八 日清 一三
三泰 六 三井 六七
三菱 一九

次に豆油は賣買總出來高三十九萬八千箱、受渡高三萬五千箱、受渡步合八分八厘弱、受渡標準值段十三圓三十錢で前月限に比し賣買總出來高では六萬箱の減少、受渡高では三萬二千箱の減少を示し受渡標準值段は二圓六十錢方の安値であつた、尚公定相場は最高十八圓八十錢、最低十三圓十五錢でこの開き五圓六十五錢である受渡につき手口を示せば(單位百箱)

▲渡方
和記 五五 三泰 二四〇
三菱 五五

▲受方
雙盛 五 廣源泰 三五
廣泰 二五 鼎新昌 四〇
昇源 一九〇 聚成祥 五〇
三井 五

滿烏第二次協定改訂の交渉殆ど停頓狀態
烏鐵側の時局成りゆき靜觀の爲

昭和四年の改訂に係る第二次滿烏數量配分協約は昭和六年九月三十日を以て協約の三穀物出廻り年度は期間滿了となつたが、綏綏兩鐵道間には期間滿了九十日前の豫定を以て本協約の改廢に關する通告を爲し得る取極めがあるため烏鐵はこの取極めによつて本年六月卅日書面を以て昭和四年締結の協約の內部的變更の要ある旨を

滿鐵側 に申込み、滿鐵も大局上これに應ずることゝし大連本社より森永聯運課第一係主任赴哈、滿鐵ハルビン事務所係員と共に烏鐵代表者と第三次協約改訂に關する協議が進められてゐるが最近の情報によれば烏鐵は時局の落付を靜觀しつゝあるので目下交涉は全く停頓の狀態にある模樣である、然し九月卅日の協約期間滿了以降においても滿烏共同事務所をはじめ長春驛、綏芬河驛の協約に伴ふ一切の事務は

順調に 遂行されつゝある、なほ第二次協約三年間(自十月一日至九月卅日)における東南行數量比を示せば(單位噸)

	東行	南行
一年度	一、一九三、〇四三(五一・五%)	一、一二三、〇四三(四八・五%)
二年度	九四一、三二八(五八・三八%)	六七一、〇四〇(四一・六二%)
三年度	一、三三六、一九二(五八・六〇%)	九五六、八六四(四一・四〇%)

となり滿烏より滿鐵への撥戾換算額は

▲一年度 二六一、〇〇〇圓 ▲二年度 四九七、〇〇〇圓 ▲三年度 七一五、〇〇〇圓

となる、而して右表のうち二年度輸送數量の激減を示してゐることは例の露支紛爭による東行閉塞中に南行した約百三十萬噸の貨物を協定數量より控除したがためであり、また三年度の吉長齊克兩鐵路の出廻りを

考慮し た場合の三年度の南行數量は約百三十萬噸にのぼるため本年度の東南行數量比は實質上から見れば大體同數量であつたといふことが出來る

東三省官銀號と邊業銀行の再開 (上)
數理生

▼…**時局の** 發生と共に奉天省城の支那側金融機關は一齊に休業し、在奉四發行銀行等のうち中國交通兩行のみは九月二十八日より營業を開始したが、東三省官銀號並に邊業銀行のみは遼寧省中央銀行の性質又は張學良氏との私的關係淺からざるものあるところより、其業務開始は延引を重れ、十月十日漸く再開の善後措置が講ぜられ、明十月十五日より愈々再開するものゝ如くである、今報ぜらるゝ東三省官銀號管理辦法なるものを見るに、營業預金、提出、貸出に關する規定は機宜を得たものであるが、爲替取組、紙幣發行兌換取扱ひ制限に關する規定に就ては、大いに議論の餘地があると思ふ、この三者は互に相關聯するものであつて、兌換に關する條項を示すと、一人一日の兌換は現大洋五十元に限る、尙百元以上城外帶出を禁ずると云ふのである、一方に於て硬貨の輸出を禁止し乍ら他方省內に於て額面通りの兌換に應ずると云ふのは頗る可笑しな話である

▼…**例へば** 一國が金本位制を停止して金の輸出を禁止し乍ら、他方國內に於て平價兌換に應ずると云ふ樣なものである。嘗て大正十三年濱口前首相が藏相を務めて居た當時、金輸出禁止下にある本邦對米爲替相場は、震災より誘致された貿易の大逆調に慘落又慘落、三十八弗二分の一を示すや、當局は爾後民間に對する金の拂下は其時の對米爲替相場によることゝし、この規定は昭和五年一月十一日解禁をするまで實施し來たところである、現在奉天に流通する現大洋票と現大洋との間には約二割の開きがある以上、假令五十元以下の制限兌換なりとは謂へ、直に兌換業者發生し、二、三百萬元の兌換準備金は瞬く間に消失することは、大正二年五月より同九年二月まで前後八ケ年に亘つて紛擾を極めた奉天日支兌換問題に關する過去の經驗によつて立證される、當時發行銀行たりし奉天の支那側六銀行が大正五年十一月十三日より翌六年五月十二日迄の半ケ年間に兌換に應じた金額は現小洋二千三百五萬六千元の巨額に及び而もこの期間內に於ける一日の兌換限度は六行合計八萬元であつた

▼…**次いで** 日支金融調節委員なるものが組織され、金融調節辦法を規定し、一日の兌換制度を六萬元に引下げたが、兌換請求は益々增加し、興業銀行副總理劉鳴岐氏の如きは、邦人と結托し其行庫より私に紙幣を引出して邦人に貸與し、白晝行門より其紙幣を兌換せしめて利益を分配着服したこともある、明十月十五日より開始せんとする兌換方法は正に過去の苦き經驗を繰返さんとするものである。一日一人の兌換限度を五十元とするも一日千人の兌換請求者が、新設さるべき城內兌換所に押しかくれば一日五萬元を拂出すこととなり、銀紙間の差を消滅せしめんとする如きは思ひも寄らぬところである。

黃塵

◇…官銀號と邊業銀行開業の目鼻がついたので今度は地方維持委員會の財政安定と奉天票の價格維持のため財政廳の復活が圖されつゝある。

◇…奉天票は省內の農民階級は勿論一般大衆に廣く所有されて居て貸借關係も亦之によるものが多數を占める實情にある。

◇…この奉票の價格維持を計ることは財界安定の第一要諦たるを失はない。

◇…そこで奉天票を補助貨の如き形において財政的方面から整理しやうとの案が有力になつてゐる。

◇…租稅の徵收を現大洋のみに限らず一定の換算率で奉票をも納められるやうにすることも結構な試みである。

◇…官銀號をして爲替兌換の方法により紙價の維持調節を計ることも必要であらう。

◇…斯うして奉天票の回收整理が行はれ一面保境安民の實が擧がり初めて滿洲財界の更生が期し得られよう。

物價調べ

魚類 入荷は三、九三八個で幾分潤澤であるが相場は依然保合十四日の卸値は左の通り(單位十貫當圓)

▲地物=活鯛上六〇下三八、氷鯛上四〇下三〇、活平ス上二五下一五、平ス上二〇下一〇、車エビ上一五下七、氷ニベ上一〇下四、星カレイ上二〇下八、メバル上一五下六、コノシロ上一八下一〇、サバ上五下一、五〇、金カシラ上一〇下二、グチ上四下一、蛤上五下一、ハゼ上一二下五、アワビ上一七下一二、アサリ上三下一、カキ上七下四

▲朝鮮物=タコ上三五下二五、マス上二五下一五、イワシ上一五下八

松茸 入荷漸增の傾向で昨日入港船入荷は百七個であつた、先行はなほ下押しすると見られる、十三日の卸値は左の通り(單位百匁當錢)

松茸上四五、下二五

支那新關稅の本質と現狀 (十一)

柑橘類輸入稅問題
無謀なる稅率の改訂

本年一月從頭國民政府に依つて關稅が改訂されて以來大連港において直接甚大の影響を蒙つたものは柑橘類の輸入並に外國品に課せらる二重課稅である、依つて先づ柑橘類の輸入稅率問題について一瞥することゝする、從來大連に輸入されてゐた柑橘類は紀州蜜柑が主なるもので大約年額二百萬個、四百萬圓程度で上海、青島等の輸入額に比し斷然頭を拔いてゐた、この中奧地仕送り分は約六割五分を占めて居り主として支那人方面を大きな得意としてゐた、本品は無稅であるは言ふまでもないが、州內消費に限り互惠條約に依つて輸入品の過半を占むるところの州外仕送り分に對しては一律に輸入稅を課せらるゝのであるが從來〇八四海關兩(約七十錢)であつたものが一擔二、六海關兩(約二圓十六錢)約三倍の重稅を課せらるゝことゝなつた、四貫入一箱の蜜柑を一箱五十錢とすれば原價約二圓、この稅金は一箱四十七、八斤であるから大約八十七錢となり、これを中國輸出入稅の基準とされてゐる從價五分とすれば一箱當稅金十錢となり標準稅率に比し約八倍强の高率となつてゐる、斯かる急激な引上げは紀州蜜柑に絕大な影響を與へたのは言ふまでもないすなはち本年一月改訂以來蜜柑の輸入は激減し奧地出廻りは例年同期の四分の一方に激減するに至つた、而して從來わが紀州蜜柑に匹敵するものは芝罘苹果、上海蜜柑といはれてゐたが特に上海蜜柑においてはこの未曾有の好機に進出を見せて來たのは言ふまでもなかつた、元來上海蜜柑とは温州、汕頭、厦門產蜜柑の總稱であつて形狀小さく、皮は赤く種子が多いもので品質においては到底紀州蜜柑の比でなく產額においても四億しか得ぬは言ふまでもない、この上海蜜柑は移出に當つて從價七分五厘の稅金を課せられてゐるが、標價基準を非常に低下せしめるから事實は比較にもならぬ小率課稅で濟むのである、昨冬における上海蜜柑の奧地荷捌狀態を見るにわれ等の豫想した程激增しなかつたがこれは奧地における銀價暴落による支那人側の一般的疲弊に依るものであつて相當量の增加あつたは事實であり、これに反し日本物は激減したのは叙上の如くである、而して當地の蜜柑取引商は紀州柑橘同業組合の代理店となつてゐるもので辻山、大谷その他確固たる地盤を有するものが日支を通じて十餘戶を屆する、これが取扱ひ口錢は產地元に對して約一割程度、奧地向にあつては一個五錢程度の少額と見られる、從つてこの實狀から推して所詮大量取扱ひを目標に置かねばならぬものであるから今回の改訂は特にこの點に置いても重要視されねばならぬものである

オレンヂと蜜柑

國民政府がかゝる暴擧的改訂を行つたのは自國生產保護の見地もあるであらうが主として從來の行掛り上なされたものと見る外はないすなはち從來支那海關においては米國產オレンヂ、日本蜜柑、上海蜜柑を總括して「オレンヂ」なる名目下に課稅してゐたもので今回改訂に際してもまた一括して「オレンヂ」下に改訂を行つたのであるが、右改訂の基準は奢侈品と見らるべき米國オレンヂを目標としてなされたものであつた、從つて米國オレンヂは事實上高級品であり値段も非常に高價なる關係上右改訂は當然であつて大なる支障を感じないのであるが浮ばれぬのは日本蜜柑である、日本蜜柑は立所に破綻の道程に直面したのである そもそも蜜柑は學名上オレンヂと同一品種でないのは言ふまでもなく、形狀、滋味より考へてこれを常識的に見るもオレンヂでないことは判り切つたことであり、過般日本側委員はこの點を力說したが、支那側委員はオレンヂは學名でなく俗稱であるから蜜柑も包括すると言つた模樣である、これは何と不合理極まる論據ではないか?成程上海邊では蜜柑をオレンヂと通稱してゐるは事實らしい、然しながらこれは何の論據になるであらうか?少くとも稅關の課稅品目としては一般稱呼よりも價格を基準とした商品としての劃分を要するものであつて、事實上、蜜柑とオレンヂは價格において非常な懸隔あるのみならずその使途にも劃然たる區別があるのである、稅關の課稅品目として商品的觀點より劃分されねばならぬは言ふまでもない、それにも拘らず斯る不合理な改訂を敢行し、蜜柑とオレンヂを同一率に改訂を行つたのは何と言つても時代逆行的暴擧と見るの外はない、從來如何なる經緯にあるとしても改訂施行に於ては當然その不合理を改革すべきであるのに更にその合理を延長せんとするのは非時代的謬りを免るゝことが出來ない

上海稅則委員會

右不純なる改訂稅率に對しては、紀州柑橘同業組合、大連商工會議所、上海、青島等の蜜柑取引同業組合その他に依つてこれが妥當な改訂を叫ばれ直にわが政府當路に要請したが政府は上海駐在橫竹商務官に一任して其衝に當らしめた、元來關稅稅率の改訂は南京政府財政部當路にあるタリフ、コツミツション(稅則委員)において行はれたものであるから同商務官は再三同所に交涉するところあつたが遂に本年五月二日上海にて日支關係者を網羅する稅則委員會を開催する運びとなり、日本側からは委員として橫竹商務官、大連中央卸賣市場組合事務長東氏、紀州柑橘同業組合聯合會代表高橋氏、及び青島上海果實青物同業組合代表出席し、中國側からは稅則委員會々長、總稅務司、上海海關稅務司等臨席して協議を重ねた、然しその結果は日本側はオレンヂ、蜜柑の異點に關し力說したにも拘らず稅則委員の了解するところとならず物別れとなつた次第である

今後の對策如何

從來滿洲奧地需用蜜柑は大連經由が過半を占めてゐたが瀋海經由物が幾分これを牽制する形となつてゐた、それは瀋海經由においては倉庫料の無料、運賃關係において採算がされる場合があつたからであつて今冬においては上海蜜柑のみならずこの方にも懸念を置かれる、滿鐵は過般運賃に一割以上の低減を行つたが、若し現狀の儘推移するに於ては年額改訂以來の成讖を繰返すに非ずやと見られ關係者においては非常に憂慮されてゐる、更にまた本年度の產地狀況は昨年に比し約七分作(尤も昨年は非常に好作であつたが)の豫想であるから一層困難の程度を增すものと見られる、而して今後の一般的對策としては何と言つても非常に不合理な基點に置かれてゐる稅率の匡正改訂を支那當局に要請を必須とするは言ふまでもなく、これは一度で出來なければ二度と飽くまで邁志を貫徹する十分の根據を有するものである、而して對內的には品質の向上を計つて上海蜜柑をして追隨の餘地なからしむるのも一方法である、最近仄聞するところに依れば三菱その他が輸入蜜柑について調查を行つてゐる模樣であるが、若し右大手筋により施行されるに於ては潤澤なる資本的背景に依つて、產地元の金融流通に有利な點あるは言ふまでもない、現に地元では一個蜜柑の純收入六七十錢程度と見られる疲弊狀態に置かれてゐるからこの點も十二分の考慮を要する、從つて從來の地盤擁護の缺點よりしてもこの際大手筋の多少の犧牲に依つての組織を切り拔けることは、同業者取引者の妥協成立を前提としてこの際特に時宜に適つたものと思はれる

市場電報

銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	十七片四分一
同 先物	十七片二分一
紐育銀塊	二九仙四分三
孟買銀塊	四六留比四分三
スチール	六六弗八分一
アナコンダ	一四弗八分七
英米爲替	三弗八八仙四分三
米日爲替	四九弗三毛仙
米支爲替	三三弗四分三

棉花

●米棉

限月	相場
現物	六仙三〇
十月	六仙一五
十二月	六仙二七
一月	六仙三九
三月	六仙五五
五月	六仙七三
七月	六仙九五

●印棉 ベンゴール — ブローチ —

大阪期米 / 東京期米 / 神戸期米 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 横濱生糸 / 印度麻袋

[illegible]

市況(十四日)

特產 南支筋の買で豆油昂騰

今朝の定期は大豆は當限軟弱先高を示し豆粕は區々保合豆油は南支筋の買長に昂騰を辿り高粱は添はず區々保合を入れた

◇定期前場(銀建)

▲大豆(近安近高)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	五三〇〇	五三〇〇	五三〇〇	五三〇〇
十一月末	五三九〇	五三九〇	五三九〇	五三九〇
十二月末	五三一〇	五三四〇	五三一〇	五三一〇
一月末	五三三〇	五三六〇	五三三〇	五三六〇
二月末	五三六〇	五三六〇	五三六〇	五三六〇

出來高 百七十六車

▲普通大豆(出來不申)
▲豆粕(區々保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一七三〇	一七三五	一七三〇	一七三五
十二月限	一七四〇	一七四〇	一七四〇	一七四〇
一月限	一七六〇	一七六〇	一七六〇	一七六〇

出來高 四萬六千枚

▲豆油(昂騰)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一三九〇	一四一〇	一三九〇	一四一〇
十二月限	一四〇〇	一四一〇	一四〇〇	一四一〇
一月限	一四一〇	一四二〇	一四一〇	一四二〇
二月限	一四三〇	一四四〇	一四三〇	一四四〇

出來高 二萬六千箱

▲高粱(區々保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	二九六〇	二九六〇	二九六〇	二九六〇
十一月末	三二一〇	三二一〇	三二一〇	三二一〇
十二月末	三三九〇	三三九〇	三三九〇	三三九〇
一月末	三三四〇	三三四〇	三三四〇	三三四〇
二月末	三三三〇	三三三〇	三三三〇	三三三〇

出來高 三十八車

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

品目	寄付	大引
混保大豆(袋込)	五二四〇	五二三〇
大豆(裸物)	—	—
普通大豆(袋物)	五一三〇	五一一〇
大豆(裸物)	—	—

出來高 八十車

豆粕 一七三五 一七四〇 出來高 一萬八千枚
豆油 一三六〇 一三九〇 出來高 六千五百箱
高粱 三〇五〇 三〇三〇 出來高 三車
包米 三六三〇 三六三〇 出來高 二車

定期喰合高(十三日帳入)

品目	喰合高	前日對比増減
大豆	三〇六四車	△二〇車
高粱	九三八車	一一車
豆粕	二一六五千枚	△三〇千枚
豆油	四三二〇百箱	△六五百箱

錢鈔 弱材料利かず當市保合ふ

今朝海外銀塊は倫敦近物十七片四分の一(四分の一安)同先物十七片二分の一(十六分の三安)紐育二十九仙四分の三(八分の一安)孟買五十六留比四分の三(二分の一安)と軟弱を入れ上海標金も小賤りを傳へたるも當市は强人氣の折柄材料利かず保合つた、滙申七十三兩二七五、滙㕵六十九兩四五大洋百一圓三十錢、米英クロス八十八仙四分の三(一仙四分の三安)米支三十二弗四分の三(四分の一安)米日は四十九弗三十七仙(同事)

◇定期前場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
近期	四五〇	四六〇	四五〇	四六〇
遠期	—	—	—	—

出來高(近期遠期) 二百六十三萬圓

豆

市場は依然として人氣なく大豆、豆粕、高粱共に區々保合を入れ取引も閑散である▲但し豆油は南支筋の買氣旺盛で昂騰を辿り手合も二萬三千箱▲日支間の空氣險惡なるため愈々惡化すれば大連の豆油は輸出禁止さるゝかも知れぬとの懸念から飛びついてきたのだと言はれるる▲下押し後の値頃買も手傳つてゐるが上海邊りは相當强いでゐるらしい▲現物大豆は油房十車、華商邦商七十車これに普通大豆が三十車合計百十車の手合があつた

銀

當市は最近人氣強く材料以上に賤りを續けてきたが▲今朝も各地銀塊の軟弱、上海標金の小賤りを入れたに拘はらず▲弱材料を利かず保合つて寧ろ先高を見越す人氣旺盛であつた▲この强人氣はいふまでもなく各國における國際爲替の不安定殊に日本の爲替を多分に案じてゐたためであり▲日支時局の推移も亦大いに懸念されてゐるのを見逃せない▲この見方は標金市場でも同樣であつて一般に先安を見越してゐるやうだ

株

北濱定期の寄は鐘紡の一圓六十錢高を首め諸株共强調を示し▲東新も一圓躍み高に寄り東は百二圓ドタの高値止めとなつたが當市は氣迷ひ小一圓高乍ら商內は彈まなかつた▲內地市場は重大材料に削殺されつゝも去る折柄けふの賤りは米棉高綿糸高に刺戟されたゝめらしい▲しかし高いと言つても新東の如きは結局百圓中心の往來相場で强弱共腰を入れて仕かけるところではなさそうだ。

糸

米棉市況はリヴアプールよりの情報が良いのと天候不良のため買物が見直し取引活潑と入報あり▲現物三十五ポイント高先三十九高を示し大阪三品は各限二圓五六十錢乃至三圓躍み高と昂騰し大先は百圓臺と一ケ月振りの高値に戻した▲果して永續性のある相場であるかどうかは米棉の後援如何によることであらうが相場自體としては未だ本直りを示すには殿錬が足りないやうに窺はれる

株式 內地株强調當市閑散

◇定期 前場(東新高)

銘柄	當限	先限
新豆(寄引)	—	—
錢鈔(寄引)	—	—
五品(寄引步)	—	八二

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一六	一六	一六	一六
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
新新	—	—	—	—
大新	一〇〇六	一〇一〇	一〇〇六	一〇一〇
東新	—	—	—	—
鐘新	—	—	—	—

◇爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代渡	代引	日步
五品	八〇	一〇〇	一一〇		三
新豆	一一〇	一一〇	一〇		無
錢鈔	一〇一〇	二八〇	一〇		三
新新	一六〇	一	一〇		三
氷新	一〇一〇	六〇	一		無
東新	一六五	一	一		無
鐘新	五五五	一〇	六		三

滿鐵株(保合)

東短前場 滿鐵新株 二十三圓五十錢
大阪現物 氣配
滿鐵舊株 四十六圓九十錢

後場(東新高)

◇定期

銘柄	當限	先限
新豆(寄引)	—	—
錢鈔(寄引)	—	—
五品(寄引步)	—	八三

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
新新	—	—	—	—
大新	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
東新	—	—	—	—
鐘新	—	—	—	—

株式出來高(十三日)

項目	數量
定期	二八〇枚
延取引	二八〇枚
合計	九〇〇枚
早受渡手形	九、〇〇〇圓
金額	
早受	九〇枚
金額	七六五圓

商品 麻袋强含み 綿糸急騰

●麻袋 產地保合銀塊四分の一安地場鈔票保合と材料薄乍ら現物の荷動き多少好きため氣配は存外賤りである

各地特產發送高

▲開原 大豆 二六車 高粱 四車 豆粕 — 雜穀 —
▲四平街 大豆 一〇車 高粱 — 豆粕 — 雜穀 五車
▲公主嶺 大豆 一〇車 高粱 — 豆粕 — 雜穀 一車
▲長春 大豆 一三一車 高粱 — 豆粕 — 雜穀 一五車

大連埠頭到着高

大豆 一八五車 高粱 — 豆粕 — 雜穀 三車

錢鈔

銘柄	相場
奉天(奉票)(先物)	一四九、〇〇
奉天現物	—
大洋票 定期	三三、〇〇
開原(大洋)現物當限	—
安東鎭平銀(先限)	六九六、〇〇
哈爾濱(大洋)現物	—

奧地市況

爲替相場

正金(銀勘定)

日本向參着賣(銀百圓) 七九圓六五
同 十五日買(同) 七三圓二五
上海向參着買(銀百圓) 七二兩五
倫敦向電信賣(一圓) 一志六片四分三
米國向電信賣(百圓) 三八弗二分一

正金(金勘定)

手形交換高(十四日)

金 三九〇枚 三、八四六、一〇八圓
銀 四三五枚 二、七六、七七七圓

上海標金

項目	値
寄値	七〇〇兩〇
高値	七〇二兩三
安値	六九二兩五
止値	六九六兩七

上海爲替情報

【上海十四日發】標金は依然先安見越の賣方多過ぎのため銀塊安を入れて寄鼻マバラの買埋めあり賤りしてゐたが高値は見送られ投機筋も氣迷、爲替は小口デマンドのほか引け見送り、匯百五十兩二分の一、磅八片十六分の一、弗三十二、八分の五見當の保合、商內薄

大阪期米(三品?) 綿糸

銘柄 約定期 値段 枚數
綿糸 十月限 一九、八 一〇
出來高 一萬枚
銘柄 約定期 値段 個數
福助 十二月限 九七、九 一〇
同 一月限 九九、四 一〇
同 二月限 九九、三 一〇
同 三月限 九九、四 一〇
同 同 九九、六 一〇
出來高 五十個

●綿糸 米棉休會明けは棉產地の天候不良を入れ現物三十五高先限三十九高を入れ大阪三品は各限二圓四五十錢乃至三圓高を示し地場はマバラの小口利喰ひあり大手筋は見送る

埠頭在庫貨物

10月8日 (單位噸)

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	107,448.3	5,111.7
	非混保		
	白眉豆	1,286.9	358.6
	青豆	445.4	173.7
	合計	109,180.6	5,644.0
小豆		2,371.7	329.8
吉豆		601.4	1,135.1
高粱		13,147.8	2,979.0
包米		1,322.7	188.3
大米		178.6	21.4
小米		11.1	290.5
麥子			43.6
蕎麥		23.0	177.2
芝麻		60.9	58.0
大麻子			56.2
小麻子		16.4	79.3
蘇子		825.9	57.4
落花生			354.6
雜穀		250.2	191.4
豆粕		26,599.0	1,449.5
雜粕		1,482.5	1,220.5
骨		26.0	188.0
豆油		1,379.0	273.6
其他ノ油類			
麥粉		3,303.7	2,411.1
燒酎		5.9	77.9
セメント		703.7	1,785.9
鉄干		107.2	311.4

滿洲日報
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

第六次公開理事會に米國代表が出席
日支兩國を除く秘密會議で討議し一致可決す

【東京特電十四日發】聯盟理事會議長ブリアン氏は十四日午前九時三十分より宿舍に日支兩國を除く理事國代表を招き秘密會議を開き日支兩國の主張に何等かの妥協點を見出すため懇談をなし會議に米國代表ギルバード氏を出席せしむるの件を討議之を一致可決し愈よ午後より第六次公開理事會が開催される事となつた

芳澤代表は請訓

【ジュネーヴ十四日發】アメリカ代表は理事會の決定によりこれに參加することを承諾したが、聯盟側は日本も結局アメリカの參加を承諾する他なからうと見てゐる、これがため芳澤代表は本日正午ブリアン氏との會見で本國政府に請訓の要ありと述べたと

訓電到着まで延期

【東京特電十四日發】芳澤代表が日本政府へ請訓したため之れが回答の來るまで理事會は開催されざる模樣で會議は無期延期と解される、他方支那側代表は米國のオブザーバー派遣を承諾した

日支主張相違點を中心とし協議
秘密理事會の內容

【ジュネーヴ十四日發】秘密理事會の內容に就いて仄聞するに協議の中心となつたのは芳澤代表が日本は滿洲に於ける軍隊撤兵前に直接交渉を主張すると宣言してゐる點で、これに對し支那側が撤兵前の交渉に斷然反對してゐるので形勢は一般に惡化してゐると見られてゐる

解決の可能性增大
理事會の議事の總觀

【ジュネーヴ十三日發】理事會第一回の議事を總觀するに日支兩國共從來の立場を些かも讓らず何等進展を見なかつたが、左の三點において聯盟理事會の本問題に關する解決の可能性が增大したものと見らる

一、支那は問題を局地的事變として取扱ふ從來の方針を避け世界的大問題と直接關係あるものとし軍縮會議、聯盟の存立且つ世界經濟難局の解決等と結び付けて取扱ふ

二、當事國は新要求を爲さず

三、世界外交界の古顔ブリアン氏議長となり自己の外交的貫祿とフランスの威信を背景として老練な議長振りを發揮し氏の持論たる國際協力及び共同平和保障の機構としての聯盟の面目を危からしめざるため斡旋に全力を注ぐものと期待されてゐること

米贊成決議が目的
代表を出席さす聯盟

【ジュネーヴ十四日發電】日支代表を除く非公式秘密理事會はアメリカ代表ギルバート氏をオブザーバーとして列席せしめるや否や協議の結果日支兩國が異存なければアメリカ代表に列席するやう勸誘することに決しブリアン議長に右につき日支代表と懇談方を一任した、よつてブリアン議長は正午芳澤代表、次いで施肇基代表と懇談したが兩國ともこれを承認することは確實である、もしアメリカ代表が列席するときは表決權を除き他は理事國代表と同樣である、なほアメリカを參加せしめんとする理事會の目的はアメリカの態度を知ることにより例へば九月末理事會が滿洲事件調査委員派遣を可としたときアメリカがこれを喜ばなかつたので遂に沙汰止みとなつた如くアメリカの贊成せざる決議を避けんためである

滿洲事變に關し中外に聲明す（四）
滿鐵社員會發表

五、森林事業壓迫

支那は森林法其他に依つて森林を外人に撫下ぐること、森林を擔保として外人に讓渡すること、伐採權を外人に借款すること等を禁止し、以て日本人が條約によりて得たる森林事業に從事するの權利を實際に封じた、其爲め我が數個の會社は其事業を中止せざるべからざるに至り、辛うじて存立するものと雖も官憲の妨害、不當課稅等の爲め經營困難に陷つてゐる

六、鮮農壓迫

日本の滿洲經營以來、禍亂を避けて渡來する支那人の多きは別項記載の如くであるが、同時に朝鮮人は國境を越えて主として北滿各地に移住し來り、支那人が捨て顧みざりし沼澤地荒無地の開墾に從事した、由來北方支那人は水田を作る術を知らぬ、北滿一千萬町歩の水田は悉く鮮人努力の結果である、支那人は鮮人が開墾に從事しつゝある間只その努力を傍觀し、美田拓けて漸く收穫を見るに至るや忽ち脅迫し搾取し沒收する、慘狀見るに堪へざるものあり斯の如きの橫暴非道天人倶に宥さざる處であり、現に對支交渉の主要事項の一をなすものである

七、鑛業壓迫

撫順に於ける石炭採掘權は日本が露國より引繼ぎ爾來八千萬圓の資本と近代技術の粹とを盡して努力經營し來り、在滿各國人の生活に工業にあらゆる福祉を齎したものである、而してその輸出稅は協定によつて明示されてあるに拘らず支那は一方的に之が二倍半の增額を行ひ、又日本の技術者の心血を濺ぎたる研究の結果たるオイルシェール事業の奪還をさへ企てた、これ他人の營々辛苦の果實を手を濡らさずして橫奪せんとする支那の常套手段の一である、其他滿鐵沿線に於ける鑛山經營を日支合辦とすべきことは日支協約の定むる所であるが、奉天省政府は省內鑛業を悉く支那官民合同經營とするの布告を發し、且從來の合辦經營に對しては脅迫、條約に規定せる未着手の鑛業に對しては不許可を以て臨みつゝある

八、以上の條約違反に對して日本が抗議をなすや支那は或は之を無視し、或は官許の排日貨を以て之を報い、未だ曾て之を解決せんとするの誠意を示したことがない、斯くて奉天總領事館に山積する諸懸案三百餘件は徒らに支那官民の侮日的態度を助長するとにのみ役立つた、支那に「百年黄河の清むを待つ」として不可能に期待をかける迂愚を諷する諺があるが日本が平和的に諸懸案の解決をなさんとするは畢竟其れに類するものなるを知つた

支那の排日は何故に斯く兇暴を極むるか

凡そ近時の支那官民の常軌を逸したる言動の如きは文明國間に於て又友好國間に於て許容さるべきものとは斷じて考へ得ざる處、支那が何故に我國に對して斯の如き暴戾無慘なる挑戰的態度に出でたるか、吾人の解するに苦む處である、思ふに歐洲大戰以來日本の國際的地歩微弱なるものあり、日支間の問題に對する列國の輿論動もすれば公正を缺ぎ、國際會議に於て日本が支那の主張の前に讓歩せしめられたる一再にして止まらざる、之れ支那の以て乘ずべしとなしたる所にして弊は大にして日本の侵略を叫び、外に對しては同情すべき被壓迫者の役割を演じ、內に於ては日本の犠牲に於て民衆の排外感情を鼓舞し、斯くてその注意を外に向けて軍閥政權の專制政治に對する國民の批判を回避し且は反對勢力を牽制したるもの、之が蔣張兩軍閥の合作にかゝる苦肉の陰謀なること火を睹るよりも瞭かである、而して所謂革命政權樹立の成功と、支那に對する列國協調の破綻とが彼等をして愈々增長せしめ、日本に對する正當なる判斷と滿蒙に對する正しき認識を失はしめ、終に兇暴言語に絶するに至らしめた、此の狂暴は支那軍閥の眼の前から日本が消え失せぬ限り止まぬかに見える、それと同時に何人が第二の日本の役割を演ずるであらうかを世界は考へればならぬ

大綱協定せぬ限り斷じて撤兵しない
貴院招待會で若槻首相言明

【東京十日發】若槻首相は十四日午前十時首相官邸に貴族院各派交涉會員を招待し若槻首相より滿洲事變發生以來の經過、對國際聯盟對米關係等の照會往復內容、政府の態度等につき説明し對外關係、錦州事件の眞相、支那各地の排日貨狀況等につき出席者と若槻首相との間に質疑應答あり正午散會したが、若槻首相は挨拶において撤兵時期の問題につき

國民政府は接收委員を任命して速かに我撤兵を要求してゐるが無條件撤兵は再び九月十八日の狀況に復せしむるに過ぎぬから日支間に大綱だけでも決定出來ぬ限り無條件撤兵は斷じてせぬ方針である

と述べた

支那代表覺書提出
撤兵すれば圓滿好轉

【ジュネーヴ十三日發】支那代表は本日左の覺書を聯盟に提出した

支那政府は日本人の生命財產保護に最善の努力を拂つてゐるが、日本軍の武力行使による不幸なる結果は日本にて責任を負ふべき事を玆に明らかにして置く、日本が誠意を以つて軍を撤退せば兩國の關係は圓滿に好轉し平和は維持さるゝであらう

日支の討議好印象
節制を守る

【東京特電十四日發】十三日の理事會に於ける日支事變の討議に對する一般の印象は非常によい時局だとの英國代表團の一員の言葉に盡きてゐると云ふのが外人側の意見である、卽ち兩當事國代表はよく節制を守つたので素晴らしい結果を生むに至つたとの見解が有力である

支那代表が逆宣傳
きのふ壽府で

【ジュネーヴ十四日發】昨日聯盟理事會で施肇基氏はワイ・エム・シー・エー亞細亞部長アメリカ人シャーウッド・エディ氏から受けたとて奉天占領は日本軍の計畫的作戰だつたとの誣告的電報を朗讀した

樞府本會議

【東京十三日發】樞府定例本會議は十四日午前十時天皇陛下の親臨を仰いで開會

一、日本、トルコ國間通商航海條約批准の件

を滿場一致可決し十時四十分陛下入御後幣原外相、南陸相は顧問官の質問に就き滿洲事變その後の情勢を報告回答した

樞府事變說明聽取

【東京十四日發】樞府本會議は日土條約可決後政府の滿洲事變説明報告を聽取し質疑を行つて午後零時半散會したが先づ幣原外相より錦州事件に關する國際聯盟並に支那政府に對して發した政府の通牒回答の內容及びその他の交渉經過につき説明し、南陸相は錦州事件發生の事情軍の配置今後の對策等につき説明した後、江木、鎌田各顧問官より

一、關東軍司令官の發した聲明が陸軍省と十分打ち合せなかりしは遺憾である

一、錦州空中襲撃事件は人道上甚だ遺憾の點もあつたやうに思ふ

一、軍部と外務省との不統一を來せるは延いて列國の誤解を招く惧れがある

一、錦州事件は聯盟の誤解を招く原因となつた政府は宜ろしくこの誤解を一掃するに努むべきである

等の質問あり、幣原外相、南陸相よりそれぞれ答辯する處があつた

內田總裁が報告協議
首相外相訪問

【東京十四日發】內田滿鐵總裁は十四日午後一時五分官邸に若槻首相を訪ひ滿洲事變突發以來の情況今次上京の途次本庄關東軍司令官、林總領事、宇垣總督、西園寺公等と會見並に協議の顚末等を詳細報告し善後對策を協議した後午後二時十五分外務省に幣原外相を訪ひ約一時間同樣の報告協議を行つた上、谷亞細亞局長から最近の事情を聽取し四時辭去した

廣東側が無條件で南京政府支持
蔣氏に汪氏から信書

【南京十四日發】陳銘樞氏は廣東から汪兆銘氏の蔣介石、胡漢民氏に宛た信書を持參した、この信書は汪兆銘氏の直筆に唐紹儀、孫科、古應芬氏等二十餘名が署名し廣東側は上海豫備會議後南京に來り正式和平會議を開くを承諾し對日時局難に當るため蔣、汪兩巨頭の一致を要望し對日政策遂行のため廣東側が無條件で南京政府を支持し一致團結して日本に當る決心なる旨の誓約を與へたものである

駐支各國公使南京に集中
その行動注目さる

【南京十四日發】米國公使ジョンソン夫妻は午前九時津浦線で來京した、英公使ランプソン氏は午後飛行機で佛公使ウイルデン氏は一兩日中に入京の筈、國際聯盟の活動に際し外交團の南京集中は注目せらる

胡漢民等上海へ

【南京十四日發】胡漢民、張靜江、吳鐵城、陳銘樞氏等は今朝十時發上海に向つた

廣東派代表は十八日に出發

【廣東十四日發】蔣介石氏が廣東の妥協條件を承認したので廣東代表は十八日當地發上海へ向ひ同地で蔣介石、胡漢民氏等と和平具體案を作成する筈であると

聯盟に支那國情を實地調査せしめよ
政府部內に意見有力

【東京十四日發】國際聯盟理事會再開後の空氣は支那側の誇張された宣傳が日支關係の特殊性に暗い聯盟をしてその面目上からしても何等の容喙的行動に出づる惧れ絶無といへないので、最近政府部內に聯盟當局をして錯誤に陷らしめざるやう積極的提案をなしては如何との議が起り幣原外相の考慮を求むるに至つた、卽ち聯盟をして支那を解せしむるため聯盟に支那國狀調査委員の派遣を求め滿洲の實狀のみならず支那本部における內政の實狀殊に支那が近年々中行事的に國內戰爭を行ひ國際間の戰爭以上の慘劇を繰返すと共にその飛沫は在支列國民に及び列國民の生命財產及び既得權益を蹂躙しつゝある事實の調査を求めしめんとするもので聯盟における支那代表の策動が止まざるにおいては右提案も已むを得ずと認められてゐる

政府を充分援助し滿蒙懸案を解決
樞府首腦の意見一致

【東京特電十四日發】時局を憂慮し樞府は十四日の本會議後重ねて滿洲事變の經過に關し幣原、南兩相から聽取する事となつたが、質問終了後倉富、平沼正副議長並びに二上書記官長は控室に居殘り平沼副議長から十三日牧野內府を訪問した經過並に牧野內府の意見を報告後約三十分意見を交換した、樞府首腦部では政府がこの際國論を統一し國難を打開せんと深き決意を有せるため之に充分なる援助を與へ之を機會に滿蒙懸案を解決せしむるに意見の一致を見てゐる

齊々哈爾は今朝までに占領
張海鵬軍入城の見込

【ハルビン特電十四日發】張海鵬軍は飛行機を以て偵察を行ひ十五日朝までに完全にチチハル占領の見込みで黑龍江政權は愈々十五日を以て張海鵬氏の手に歸する筈である

交戰せずに政權讓渡か

【ハルビン特電十四日發】齊々哈爾支那總商會は黑龍江軍幹部に張海鵬軍との不利を説き戰はずして政權の讓り渡しを求めたので黑龍江軍側は之を承知した模樣である

邦人避難收容

【ハルビン特電十四日發】齊々哈爾に向け進撃の張海鵬軍先發部隊は十四日午後四時齊々哈爾を去る三驛手前の泰安鎭に到着、黑龍江軍との間に火蓋が切られんとするに至つた日本領事館は邦人を滿鐵公所及び領事館に收容した

黑龍江兵工廠
徹宵彈藥製造

チチハル兵工廠では去る八日より夜間作業を開始し徹宵小銃彈藥の製造を急いでゐる、右は張海鵬軍への對抗準備とみられてゐる【奉天電話】

王以哲軍昨日北平に到着

【北平十三日發】王以哲軍の先發隊約五百名は本日午後當地着そのまゝ市內に入らず南口方面に向ふ模樣で平津在留邦人は同軍駐屯地に注意中である

王旅長の募兵
應募者無し

錦州方面より歸つて來た某支那人の談によれば、王以哲は目下錦州に在つて二千名の部下を率ゐてゐるが、その部下の兵士達の話を綜合すると

一、事變當夜北大營に於て頑強に抵抗を試みたが敵せずして遂に敗走した、十日程露宿のみなして本月七日やつと錦州に着いた

二、我等は王以哲と共に六日に錦州に到着した

三、旅長王以哲は目下騎兵五百名を募集中であるが應募者は一人もない

四、敗殘兵は二、三十名宛集り來る者ある故近く多數となるであらう、その際には應募者もあることだらう【奉天電話】

平綏線方面移動

【天津十四日發】王以哲軍は錦州で集結後兩三日前から平綏線方面に移動しつゝあり現に山海關には何柱國の第九旅司令部と二個大隊約二千名あるが此等支那兵は十四日の理事會の決定如何に依つては日支開戰となるやも知れぬと放言し居り同地の人心動搖し老幼婦女子は我守備隊兵營に避難してゐる

學良氏に警告

【北平十四日發】矢野參事官は十三日午後一時張學良氏を訪ひ王以哲軍が山海關方面に集中し入關の模樣あれば關內駐屯軍との衝突を避けると共に各地在住邦人の生命財產保護に充分注意されたしと警告せるに張學良氏は「王軍は全部南嶺に移駐せしめてゐるを以てその懸念なし」と答へた

財政廳長に李氏任命されん

十四日地方維持委員會において財政廳長の人選を行ひ李友蘭氏の呼聲最も高いが十五日同氏の受諾を得次第正式發表の筈である、なほ改めて地方維持委員會、市政公所其他關係者協議のうへ十五日ごろより同財政廳を開廳する模樣であると【奉天電話】

リヴァプールの支那人聲明

【リヴァプール十三日發】當地在留支那人團（棉化綿製品取引の豪商多數を含む）は本日左のステートメントを發表し全英國に公表同情を求めた

國際法の存在を知る者は日本の滿洲侵略を看過する事は出來ぬ假令それが世界大戰の口火とならない迄も國際聯盟の威信を失墜するものなれば吾人は默視する能はず吾人は撤兵、賠償、謝罪及び責任者たる軍人の處罰を要求し目的貫徹にイギリス人の支持を切望するものである

外務委員長と廣田大使會見

【モスクワ十三日發】勞農外務委員長リトビノフ氏は本日長時間廣田大使と會見日支紛爭に就き協議した

重光公使歸滬

【上海十四日發】重光公使は正午歸滬した

米總領事錦州へ

米國奉天總領事マイヤース氏は今朝本國政府の命により特別列車で錦州に向つたが、その用向は日本軍の飛行機爆彈投下被害の實地調査のためでありと時節柄重大視されておると、わが當局でも萬一を慮り注目を拂ひつゝある【奉天電話】

劉文島氏を駐獨公使に任命

【南京十四日發】前漢口市長劉文島氏はドイツ駐劄公使に任命された

セ將軍活躍
張海鵬氏と諒解成立

セミョノフ氏は事變以來來奉して何等か畫策中であつたが去る十二日洮南に張海鵬氏を訪問して或諒解を遂げ十四日朝歸奉した、右は白系露人を率ゐて北滿一帶に活躍するものと推測される【奉天電話】

對日戰十日延期
張學良氏部下に宣言

張學良氏は十三日次の如く部下の軍隊に宣言した

十四日に行はれる國際聯盟會議の結果によつて日本と戰を交へる筈であつたが十日後に延期し二十四日を期して之を行ふ【奉天電話】

社說

奉天金融界開業展望
業績を將來に期待す

奉天の金融界は吾人の提唱した、官銀號及び邊業銀行が、十五日より開業することに依りて頓に生氣を帶び、復活の第一歩に入ることゝなつた。此間に處して地方維持委員會の諸氏が、金融機關の直接當事者等と合流して、金融研究會を組織し、急速裡に兩行の開業を具體化せしめた事は、其努力甚だ多とするに足る。同時に直間接に關係を有する我經濟部面の人々が、之を援助する意識に遺憾なく動いて、事の促進を圖り、能く日支經濟關係の協調的態度を執つた事をも認め得る。更にこれ等の提案を適當に是認し、急速度の展開を見ることを 適した、軍部の經濟的認識をも稱すべきである。これ等諸機關の合流に依る事變後の善處に就ては、吾人の欣賀する所である。

◇

併しながら事の成否は、繫りて十五日以後の兩行營業の實績如何に存する、單に開店したからといつて、それで事足る譯のものではない。試に東三省官銀號管理辦法の章程に就て見るに其目的とする所誠に公明正大である。然るに營業章程に於ては幾多の拘束を加へて居る。是れは未だ幾多の懸念が存在すると共に、今後の實績に對し多分の警戒を要することを示すものでせざる限り、之を踏襲す」と規定し、既往の機構を尊重して、其機能を完からしめんとの用意を示してゐる。畢竟此二個條は官銀號を復活せしむべき根本原則であつて、其基幹的方針を暴示したものである。

◇

而して營業章程は、如上の原則と方針とを如實に活躍せしむべく、諸多の規定を存してゐるが、悉く營業上の制限であつて決して積極的意義を含むものではない。預金拂戻の制限の如きも、頗る用意周到なるものがあり、又兌換の制限に至りては、單に兌換し得ることを示した程度である。其營業方針は、最も消極的に銀行を維持するにある事を示す。而して他の諸點は暫く措き、兌換に關しては支那人中各種の考察が加はつてゐるので、一應の檢討を必要とする。有體に言はゞ此消極的の兌換制限が、我經濟力の關心の薄さを語ると共に、官銀號及び邊業銀行の外國銀行預金が、一時的に回收せらるゝのを防ぐ意味を含有するものと見られる。純經濟の觀點よりすれば、確實の上にも確實を期せねばならぬが、兩銀行の本質が、斯かる正確味を入れて尚能く其機能を運用し得るものであるや否や。既往の業績に徵して甚だ危まれる。

◇

開店後破綻を生じない樣に萬全の策を取るのは必要だが、支那の銀行特に此兩銀行が、日本の銀行等と全然實體と機能とを異にすることをも亦認識されねばならぬ。支那人の支那銀行の經理と、日本人の日本銀行の經營とは、實體も觀念も共に大に相違してゐる。故に兩銀行の如きに對して、日本流の認識を加へると、それは支那銀行に對する認識不足になる。我の長所必ずしも用ゆべからず、彼の短所亦決して排拒すべからざる事情が存在する。彼等は我等の認めて短所とする所を用ゐて却て大に彼の長所を發揮してゐる。兩銀行の如きに於て、特に最も多分にこれを知り直に十五日から開業の觀點を誤たず、支那流獨特經理の妙味を參酌して、良好にして效果的な經營に成功せん事を望まねばならぬ。

◇

吾人は支那側の關係者が熱心事に處してゐる實情を知る。又其實績の大ならんことを欲する努力をも十分に認める。併し蓋を開けて見れば解らぬといふ程の危險と不安とをも亦感ぜざるを得ぬ。兩行の開店に當りて、中國、交通兩銀行が依然として悠々逼らざる態度を持續し、連續して或程度の犧牲をも拂ひつゝある寬容を是認する。同時に此寬裕がある以上必ずや將來の局面を打開し得ることをも信ずる。併し實をいへば十五日以後の兩行開業の成績に就ては、差當りて大なる期待を持ち得ない。吾人はそれよりも寧ろ問題は今後にかかりて、如上營業章程の拘束の解放せられたる場合の跳躍を期待するものである。

市場仲買人組合は きのふ總會で解散
市の態度を不滿として
積立金は分配

中央卸賣市場の卸賣人辭退問題に關聯し大連市場仲買人組合では十四日午後四時から監部通り泰華樓において臨時總會を開いて協議した結果、大連市當事者の卸賣人に對する態度を見るに毫も同情的な所を見出されないと云ふ意見多く市當事者の營業者に對する態度を不滿として同組合役員も亦總辭職するに決定したが、而も役員總辭職の上は組合もこのまゝ存續出來ぬと云ふので組合そのものをも解散することになり積立金一千餘圓を組合員四十七名に分配することを決し同五時半悲壯な狀景裡に散會した

場合によつては 監督權發動
民政署の對策意嚮

大連中央卸賣市場の殘留組から又しても支那側卸賣人三名、仲買人六名の辭退を見て狼狽した市役所に對し、（中略）像に難くない、一面民時政署山中地方課長は事の成り行きを憂慮し午後三自ら永井市長代理に面會を……する豫定であつたが更に十六日午前十一時から最後の第六回詮衡委員會を開く事になつた

錦州政府に 稅金送附
開原稅捐局から

錦州假政府は去る十一日開原の稅捐局に三十六萬元の提供を脅迫して來た、稅捐局では日本側に知れざるやう當地官銀號及び邊業銀行支店から持出し現金三十六萬元を錦州政府に提供した、日本軍は……

依然纏らぬ
大連市後任市長
また十六日詮衡委員會

大連市の後任市長は革新俱樂部の推す大內成美氏と滿鐵派の擁ぐ田邊敏行氏の對立となり革新俱樂部が飜に暗中飛躍の結果大勢大內氏に有利に展開したが、周圍の狀勢が右の如く全會一致で推薦する事は到底不可能な立場にありまた大內氏としても全會一致で推薦するなら受諾すると決戰投票までして就任するを快しとせざる意向あるので革新俱樂部は更に新人を物色し小川順之助、杉野耕三郎兩氏に白羽の矢を立てた模樣であるが、第五回の市長詮衡委員會は十四日午後四時から市役所議員控室に於て開かれ例によつて委員の議論を見たが相變らず決定を見ず同五時半散會した、委員會はこれを最後と

ヤマトホテルの青聯代表慰勞會

日本の行動は 飽迄も正當
昨夜奉天から歸つた 塚本關東長官視察談

本庄軍司令官訪問並に事變勃發以來の秩序を視察のため赴奉中であつた塚本關東長官は豫定の通り十四日午後八時十五分大連着列車で歸連、直に自動車にて同九時卅五分官邸に入り、室田秘書官その他と共に旅順の中谷警務局長、河相外事課長、……の官邸に入り訪問の記者に左の如く語つたが內外の狀勢は矢張り近日中長官の

東上 を見ることゝなる模樣である

今度の要件は軍司令官訪問と實際の狀況視察に行つたのであつたが、軍司令官とは一時間餘りに亘り色々と詳しくこみ入つた話をすることが出來て非常に良かつた、然し今はその內容については何等お話をするわけには行かぬ、事變當時の模樣については島本守備隊長から爆破現場および北大營と城內などに案內を受けて實に微に入り細に亘つた說明をしてもらひ如何に軍が已むに已まれず立つたかを、時に意を決するや眞に脫兎の如く、また周到なる用意を以て戰つたかを……

機先を 制して奮戰したといふことがまざまざと手にとるやうにわかつた、如何に我が皇軍であれ、僅か六百足らずの人數で一萬に餘る大軍に當る事は私達は唯それを考へただけでも當時如何に悲壯なものであつたかが偲ばれるが、現地に行つて見て何よりのことは今また新しく想起されるのことはつきりと感じられるのは、……澤山の外人記者諸君が見えてゐるが、結局ここについて日本の行動は正當であり

支那は 常に飾つた言ひ分であると異口同音に言つてゐるとどであつて、國際聯盟などの……

國民と共に覺悟の秋
河相外事課長談

……

青聯代表一行 歡迎慰勞會
歌舞伎座で報告演說

滿洲青年聯盟の第二回母國訪問代表一行の歡迎慰勞會は既報の如く十四日午後五時半よりヤマトホテルにおいて開催したが、會するもの市內各方面の代表者數十名、先づ石本鏆太郎氏より主催者を代表して一行の勞を犒ふ挨拶ありこれに對し一行代表として岡田猶馬氏より在滿邦人の後援を謝し且つ母國訪問の總括的報告並に感想あり次で青年聯盟本部を代表して和田勁三氏より挨拶を述べ、また今回の代表一行の費用を支出して特に一行に加はつたが途中病氣のため歸養した井藤榮氏より謝辭あり晩餐を共にし最後に高柳保太郎氏の發聲にて青年聯盟の萬歲を三唱して同六時半散會、なほ同七時より同業大連新聞主催にて市內歌舞伎座で同代表一行の報告演說會あり盛會を極めた

國際聯盟は 實情に疎い
佐藤安之助氏談

來るべき太平洋會議における滿洲問題の材料蒐集のため招かれて來滿中であつた前代議士佐藤安之助少將は十四日出帆長春丸にて急遽上海に向つたが出帆に先だち語る

おくれ馳せに出てくれと獎められ遂々引受けたので忙がしい目をしたよ、とにかく今度の會議で最も問題になるのは滿洲事變なのだから實地に視察して軍部や滿鐵側から材料を探りに來たのだ、奉天では本庄軍司令官にも會つたしまあ色々な情報を手に入れて來た、大體開催地が決定してゐなかつたので一度東京に歸るつもりだつたのが急に上海と決つたので直行する事になつたのだ、たしか廿二日から開會されるが濟んだら直接上海から引揚げるつもりでゐる、國際聯盟がしきりにやかましく云つてゐるのは戰爭なんて大きな事になると大變だといふ懸念から出てゐる事でそれは國際信義に厚い日本側の態度をよく了解してゐないからだと思ふ

國際關係の面倒になつた事は貴紙で拜見しました、それ以外には情報機關がないので分りません、聯盟の態度ですか、矢張り面倒になるといふ觀方が本當ちやないのでせうか、列國の會議も最初はスペインのレルー氏一人だつたのが、フランスも出て來るしイギリスのレデイングも乘り出すし十二ケ國代表のお歷々が全部出馬したから干涉なしには濟まないと見るのが當然でせう、だから我國の要路も國民も相當の覺悟が必要の秋となりました、聯盟としてはその成立以來劃期的な役割を果し聯盟の權威と機能を發揮する好機會だと思つてゐるやうですから積極的に出て來るかも知れません、アメリカは上手に立廻つて聯盟と步調を揃へて外部から日本を拘束する作戰に出てますれ聯盟からの電報が待遠しいです

實業界方面に 諒解を求む
江口副總裁入京談

【東京特電十四日發】江口滿鐵副總裁は八木秘書帶同十四日夜九時二十分東京驛着の燕號で入京朝野の政治家實業家斯波男、伍堂理事水谷中將、大內支社長等三百數十名の出迎へを受け非常な元氣で挨拶を述べ四谷本村町の自邸に落着いた、これよりさき途中出迎への本社員に語る

時局重大の折柄であるから自分はあちらに殘らうと考へてゐたが、總裁からも話があり且つ豫算問題で相當用事もあり一應內地の實業家方面に滿洲事變の眞相を傳へ諒解を得たいと考へ上京した譯です、用事が濟めばなるべく早く滿連したいと思つてゐる、事變勃發以來軍部の活動は實に機敏迅速で寡兵を以て兇暴なる支那の大軍を擊退し極力滿洲の治安維持に當つてゐることの眞劍な態度は驚くべきもので滿鐵守備に當つてゐる兵卒の如きも寢食を忘れて敗殘兵の襲擊に備へてゐる滿鐵としても出來るだけ軍部の便宜を圖り今日においては在滿諸機關完全に協力してゐる、この間から首藤理事を奉天に送り金融機關の圓滑に極力努力してなつたが、いよいよ十五日から官銀號も店開きをなすことになり滿洲の支那人は心から日本側の公明正大なる措置を喜び感謝してゐる我々は吾々の希望としては尚此上にも國論の統一を圖りこの際日支間の問題を徹底的に解決して貰ひたいものである至誠以て事に當れば必ず成るであらう

太平洋會議の 準備委員會

【上海十三日發】太平洋會議準備委員會は今朝十一時夏盛ホテルに開會、日、英、米、カナダ、ニユージランド、滿洲各代表出席日本は鳥羽博士出席協議の結果上海で開催するに決した、次いで十一時より中央理事會開會式を開き各國代表の演說あり一時五分休憩、午後四時再開、大會を二十一日より開會し圓卓會議は十九日頃より月末迄開き來月一日頃全會議終了と決し六時散會した

これを知り直に十五日から開業の……ことゝなつた【奉天電話】

徵收中止の 沿線の不當課稅
判明した主要各地現狀

事變勃發以來滿鐵沿線各地の不當課稅徵收狀態は各方面注目の的となつてゐるが四平街、長春、奉天を除く主要各地の狀況は左の如くで大體不當課稅は徵收中止の狀態にある

安東（イ）通過稅及出產稅かれて日支懸案中のものであつたがこれに對する徵稅局は本月二日限り閉鎖された（ロ）營業稅七月以來支那街居住者に課したが事件後中國人以外は一切徵稅を見合はす（ハ）統稅 煙草、綿糸布共不當得稅として撤廢交涉方を當地日本側官憲に依賴し目下支那側と交涉中

鐵嶺 事件後徵稅事務混亂を來し全く不統一の狀態に陷つたため稅捐局長縣長合議の末（イ）統稅は當分徵集せず（ロ）營業稅は

本溪湖 統稅および營業稅は事變の前後とも課稅された事實なくその他附屬地外の徵稅は從前通である

營口 營業稅および統稅は軍の命により營口善後委員會監督の下に從來通り徵收されてゐる

開原 九月廿六日以降營業稅を全廢し今日に及ぶが徵稅されつゝあるものは出產稅および學堂稅

撫順 稅捐局は從來の方針を受けつゝあり營業稅のみは附屬地內に對しては督促がましきことはしない、然し實際は納稅延滯甚だしい

各人の自由に任せ當分これを強要せず（ハ）十月一日より徵稅の筈であつた酒造稅は當分延期と（ニ）出產稅は從前通り徵稅

國策を踏み躁る
憤慨生

〔投書歡迎　中滿はさらす　十五行以內〕

◇奉天事變を動機として新政權樹立運動擡頭するに當り苟くも日本臣民にして私心を含む合流策動者の如きものありませんか、そは帝國の威信を傷けるのみならず、瞥議共榮の趣旨に反し禍根を永久にのこすものにして、かゝる滿蒙問題の圓滿なる解決を期待するわが國民の大いに排除すべきものである。

◇過去の例にみても例の宗社黨事件の如き、その前後における醜態は今なほ吾等の腦裡に不愉快極まる印象をのこすのであつて當局としてもこれに對して十分手を燒いた苦い經驗を有する筈である。

◇聞くところによれば近來自ら國士或は志士と稱するものが今次の事變に乘じて頻りに策動し兎角ら百鬼夜行の觀を呈してゐるとすら傳へられてゐる、かゝる徒輩は口に天下國家を唱へその反面において滿々たる野心私心を藏するものであることは、從來の例に徵して明々白々なる事實である。

◇今や滿蒙懸案解決に千載一遇の秋に當りかゝる自稱國士なり志士なりがありとせば謹はわが國策を踏み躁るものにして、吾等二十萬の在滿同胞はあげて一擊の下にこれを排除すべきである。

楊草仙翁書展

既報支那草書界の第一人者楊草仙氏の草書慈善展覽會は中日文化協會に於て市內知名有志贊助の下に十五日より三日間毎日午前九時より午後六時迄催されることになつたが、本會の純益は全部、日支事變によつて生じた奉天方面に於ける日鮮支の失業者、窮民救濟金の一部に寄附する筈である【寫眞は楊氏の草書】

遺骨を送る 埠頭の準備

獨立守備步兵第一大隊及び第五大隊勇士の遺骨は十五日午後八時大連驛到着、十六日午前七時半關東倉庫出發、同八時より埠頭構內東方廣場にて大連市主催の許に慰靈祭執行、同九時より一般參拜、同九時三十分うらる丸乘船の筈である、見送者の位置は過般香港丸の場合と同樣にして學校生徒代表青年訓練所員は岸壁、神官僧侶現役將校團代表者は中央ベランダーにして在鄉軍人其他各團體同上層ベランダーで當日はテープによる見送りは遠慮されたいと

競馬益金寄附

時局の推移に鑑み延期中であつた大連競馬俱樂部の臨時特別競馬會は來る十六日、十七日、十八日、二十四日、二十五日、二十六日の六日間開催する事は既報の如くであるが今回の競馬會益金は同俱樂部會員の發意により滿洲出動の軍隊及警察官慰問のため寄附する事になつた

澁澤子手術

【東京十四日發】澁澤榮一子は數日前から左腹壁に腫物を生してゐたが、十四日午前十時自邸で鹽田博士執刀、入澤博士立會ひで切開手術を受けた

政府買入れ米

【東京十四日發至急報】政府は十一月五日米百萬石の買入れをなす旨發表した

エ孃大阪到着

【大阪特電十四日發】午後一時五十九分エッケドルフ孃は木津川飛行場に安着した

燃料問題講演

滿洲技術協會十六日（金曜）午後四時半より大連ヤマトホテルにおいて第八回を開催の由當日は滿鐵中央試驗所技師阿部良之助氏の「液體燃料と石炭液化」の講演ある筈

御嶽教會

市內八幡町の同教會では秋季例祭として來る十七日午後七時より前夜祭同十八日正午本祭を執行、式終了後福引景品を贈呈し一等當籤者には大黑尊像を授與すると

人事

▲水谷秀雄氏（關東廳地方課長）植民地行政視察のため外遊につき十四日來連市內各方面に挨拶
▲田中千吉氏（前大連市長）二十五日頃東上
▲櫻井軍氏（遞信局長）沿線出張中の處十四日歸連

大觀小觀

支那紙「芝罘日報」に面白いことが書いてある、試みに抽出して見る▲諸君見よ兵士は國防上何等の役に立たず、その際は豪氣雲を衝き、一度對外的となれば羔羊の如し▲卽ち一旦有事の際は遠方にありて只突喊を叫ぶのみ、敵近くに在れば悲憤慷慨、近づけば忽ち口を噤みて戰々兢々たり▲若しそれ外國の軍隊殺到せんか、彼等は一個の無抵抗主義と化し、安々穩々裡に武裝を解除さる▲而も彼等常に革命の看板を掲げ、平常言ふ所は吾等民衆の守護たり、且つ國家の犧牲とならんと▲嗚呼兵士等よ、一體お前達は何をして居るのか？斯くの如き軍隊に對して國防を望むのは全く夢事である▲これは無論支那軍隊への罵倒だ、それに比し忠俠武烈、勇猛果敢な軍隊を持つ我國民は幸福といはなければならない▲それと同時に一旦有事の際國民から絕對の信賴を揚げれるわが軍隊も亦幸福といはなければなるまい▲「小春日の防風林や鳥の群れ」─邪道句子」▲聯盟理事會の大論戰、芳澤代表わが主張を言ひ盡して遺憾なし、只怒れる言へば新時代の統一國家にあらざる支那の現狀について何故說明しなかつたか▲今回の日支事件に關する歐米人の錯覺は多く茲に出發することを知らねばならぬ▲既に兵匪化し治安維持の能力なきのみか擾ろ治安を紊亂する者は彼等支那軍隊だ▲だからその事實さへ判つたら日軍の撤兵が然う輕率に出來ぬこと位歐米人にも自ら判るであらう▲「足速や夜寒に猛し犬の聲」─邪道句子

市況

株式
內地變らず 當市閑散

內地主力株の大引保合を入れて當市も氣配變らず閑散

特產
南支筋の買氣で 豆と油昂騰

後場の定期は大豆、豆油は南支筋の買氣で昂騰を辿り豆粕は出來不申高粱は保合を呈した

錢鈔
標金保合 當市變らず

上海標金の保合を眺めて當市も凡調閑散

商品
麻袋變らず 綿糸𨀩り

奧地市況

(市況相場表：判讀困難)

神戶特產 市場電報

(相場表：判讀困難)

滿日案內

家庭

華やかな 一生一度の 結婚記念寫眞 何うしたら美しく撮れる？

寫眞屋さんはこんな希望を

十月から十一月にかけての結婚シーズンになりますと、お見合ひの寫眞だ、それ家庭生活へのスタートを切る華やかな結婚記念撮影だとあつてドコの寫眞屋さんも多忙を極めますが、市内西廣場に寫眞館を經營してゐる土田寛一さんに結婚の記念撮影をされる方々への希望や注意を伺ひました

折角一生に 一度の華かな

寫眞を撮られると申しますのに宴會前に急いでとつてくれなどといつて急がれる方があります、結婚式は皆さん方が吉日を選んで擧行され時間も大抵同時刻になり時としては一度に幾組も參られる事がありますが前以て通知して下さればこちらでも幾組も重なつて永い時間待つていたゞかないやうに取計らふことができるのですから前もつて寫眞館の方へ通知される事は大へん便宜だと思ひます、お客樣に先づ希望したい事は安心してこちらに任せておしまひになることです、時には不安な顏をしてゐられるのですが

寫眞は其人の 氣持ちが撮る

のですから不安がられますとその心配は顏に現れるものです、氣品ある凛刺とした氣持で居ていたゞきたいのです次にはお化粧のことですが最近では美容師の方が一緒について參られるのでお顏のなほしなどするに大へん便利なのですが白粉も濃淡によつて折角の晴れのお顏も變にうつるのです、で美容師もよく馴れた方は寫眞師とすべてを打合はされますから大へんうまく寫眞が撮れるのですが、美しくするつもりでつけた白粉も餘り濃くつけすぎたため寫眞にはすつかり本人とは變つた顏ができることがあります、また厚化粧はいけないと紅だけをつけられる方がありますが、これなどもやはりその人によつて違ふので、例へば眼の肉づきの惡い方とか、やせた肉づきの方などが紅だけ塗りましたら寫眞ではきつく撮れるのです、要は

本人の顏が 平常と變らぬ

やうに又よく見えるやうにするのが最善の方法です、次に「つのかくし」の事ですが「つのかくし」を用ひる事は花嫁らしい感がして大へんよいものですが、神社などで撮影される場合強い風のため變な恰好に形が變り、幾度も直さうとしても意のやうにならない時は却つて取り去つた方がよいのです、花嫁の大部分は「つのかくし」できまるのです、この「つのかくし」も色は薄桃色がいゝのです、それは純白ですと白はレンズに早く感じ易いため顏がレンズに未だ感じないうちに「つのかくし」だけ早く感じそのために大切な顏の方がボヤッとしてひきたゝないことになります、他に注意して戴きたい事は白粉はいけないと早合點して赤味のものを用ひてそれに眞白の「つのかくし」をして寫眞に撮りますと出來上つた顏は薄黑く折角の

別嬪さんも 臺なしになる

といふわけです。また折角美容師に手入れをして貰つてゐましても寫眞屋へ來るまでに乘物の乘り降りや風などのためにつのかくしの形が變りますので、寫眞師として技術の方面から見て善惡があるのですからその樣な時にはこちらに任せていたゞきたいと思ひます責任上そのまゝ寫眞は撮されないので手入れをいたしますが、最近は寫眞撮影に相當時間がとられる事を理解して下さいますから無理な急ぎ立てをなさる方も少いやうですが、大へん急がれる場合などは初めから相談して下さいましたらこちらでも時間を詰めてしかも好結果が得られると思ひます花嫁の式服が黑紋付の場合、腰紐の赤いのは黑くうつりますから黑の時はとき色が好ましいのです

序に新郞の 服裝ですが

燕尾服、タキシード、フロックコートなどを召した時は手袋は白を用ひますがモーニングの場合は鼠色を用ひます、燕尾服、タキシードは白の蝶ネクタイで、モーニングの時は普通の結んでよいのです、また洋服を着用してる方で扇子を持たれる方が時としてありますが和服の場合を除いては要らないのです

秋向の魚介料理三種

鯖の鹽燒

▲材料＝鯖二百匁、青菜三百匁、醬油五勺、砂糖、食鹽少量

▲調理＝鯖はよく洗つて二枚に卸し一人一切宛として適宜に切り青菜はよく水洗ひして熱湯に鹽を少し入れてざつと茹で冷水にさらして堅く絞つて小さく切つて置きます、鯖を串にさし鹽をパラパラとふりかけ焦さぬやうに注意して火で兩面から燒き、青菜は醬油と砂糖で調味してこれを鯖の横に盛合せます

卯の花汁

▲材料＝卯の花一合、剝身三十匁、青葱五十匁、味噌五十匁、味の素少量

▲調理＝剝身はよく洗ひ葱は斜に小さく切ります、味噌を七合の水に溶し鍋に入れて卯の花を加へて煮立てます沸騰したら剝身葱味の素を入れて今一度沸騰させ熱いうちに頂きます

魚の照燒

▲材料＝生魚二百匁、馬鈴薯二百五十匁、大根百匁、醬油五勺、味淋五勺、味の素少量

▲調理＝生魚は一人一切宛の切身とし、味淋と醬油を混ぜた中に三時間浸して置き串にさして兩面から燒きそのつけておいた醬油を沸騰させ葛粉を少し加へてトロリとさせたものを刷毛でぬつて照りを出します馬鈴薯は皮は剝き一寸角位に切り軟かく茹で、鹽をふりかけて溫かいうちに魚に添へて供します

牛肉の調理 硬軟によつてかへる

▼…牛肉を調理する場合には硬い部分と軟かい部分によつてそれぞれその調理法を變へた方がよいのです、例へば下等の肉で軟かいものは燒きますと肉もしまり味もよくなりますし、首のあたりの硬い肉は長時間煮ることによつて軟かく食べられます、肉類を水に浸しますと肉の含んでゐる蛋白質の一種のアルブミンといふものとエキス分鑛物質等が水に溶けて出ます、これに漸次熱を加へますと六十度前後になると蛋白質が凝固し、八十度前後になると肉の結締組織や骨の中からゼラチンが溶けて出て來ます、しかし若し急に高い熱を與へますと外側の蛋白質が凝固して内部の養分が外に出るのを防いでしまひます、ですからその目的によつて調理法を選ぶ事もまた大切です

▼…例へば肉汁をとる場合や、シチューのやうにその汁をおいしく食べやうとする場合には冷水から肉を入れて徐々に加熱して一度沸騰しましたらトロ火にして九十度前後の熱で長く煮るやうにします、かうしますと硬い肉も軟かくなつて汁と一しよにおいしく食べられます、また蒸燒き肉のやうに肉そのものを主とした料理ならば前と反對に最初から高熱を加へて表面の蛋白質を凝固させ、内部の養分や美味しい汁を外に出さない方法をとればいゝのです

秋晴れに……市中所見

大連神明高女の 大々的バザー

愈よ廿五、七の兩日にひらく 同窓會と校友會が協力して

大連神明高女の同窓會と校友會ではかれてから同窓會の事業費と校友會の活動資金をうるために今秋大々的にバザーを開く計畫を立て今年五月頃から着々その準備にかゝつてゐましたが、このほどバザーに出品する同窓生や生徒の製作品も

九分通り

出來上りましたのでいよ／＼來る廿五日と廿七日の兩日同校に於てバザーを開くことになりました、生徒側の作品は四、五年生の一部が裁縫や手藝の先生方の指導の下に製作したのですが特別にバザーのために材料を選んだといふのでなく、教授細目に基いて實用を主とした子供服、ベビー服、テーブル掛、セーター、エプロンなど極一般向のもので、從つて値段も出來るだけやすくしたいと學校側の希望です、一方同窓生の方はこれも時節柄實用を主としたものですがクッション、卓子かけ、センターピース、蓄音器かけ、ピアノかけ、草履、手提袋など美しいフランス刺繍を應用した

高級品が

多いさうです、これ等の製作品の總數一千點を超えるでせうがこの外に理科の池上先生の指導をうけて特別研究生一同が大分前から苦心をして拵へたベルツ水、乳白フード、煉白粉、水白粉、過酸化水素入クリーム、ヘチマコロン等の化粧品もごくやすい價格で當日バザーに出る筈で「あり合せの瓶を集めて詰めたのですから體裁はあまりよくありませんが品質は斷然いゝ筈です」といふ先生方の保證付の化粧品ですなほバザー當日には講堂で

學藝會の

催しがあります國語劇、支那劇、英語劇、音樂劇各學科研究發表と出演者は目下猛練習中ですから當日はきつと素晴らしい出來榮を見せることでせうあの阿里山の生蕃異風を取扱つた音樂劇など定めし大喝采を博する事だらうと學校中の評判です、尚當日は四、五年生の手になる菓子お辨當、壽司、紅茶、サンドウイッチなどの賣店も出る筈で、廿六日の中の休みもこの準備にあてられることになつてゐます

バザーといへば滅茶苦茶に高いものと世間一般にきめられてゐるやうですが決して市價より高いやうなことはしないつもりです、殊に在校生の製作品などはバザーに出すといふだけで生徒にとつては一つの奬勵ですし、又見に來ていたゞく方にこの位のものはやれるのだといふ事を知つて頂くだけでも無駄ではありませんから出來るだけ

安くして

なるべく多數の方に買つて頂きたいと思ひます學校ですから無制限に誰にも入場させるといふ譯には行きませんがなるべく廣い範圍に入場券を出して學藝會もバザーも共に見て頂きたいと思つてゐますはじめての試みですがどうか皆さんの御後援で盛會に終らせたい希望です、利益金は全部校友會と同窓會の收入とするつもりでと村井校長は語りました

夜の桑港で 白裝束の男が何やら？信號

これはまた變つた商賣 自動車の修繕屋

最近アメリカから歸朝した人の話に、或晩サンフランシスコの町で自動車を走らせてゐると、オートバイに乘つた白裝束の人が正面からやつて來て何やら手を擧げて信號をするので、これはテッキリ交通巡査だなと思つてなほよく見ると、そのオートバイは

◆…三つの 電燈をつけてきら／＼と道路一ぱいを照しながら來る自動車毎に何やら信號をしてゐます、その人の服裝は眞白のポケットの澤山ついた洋服に飛行帽みたいなのをかぶつて交通巡査とは全然ちがつた扮裝でした、あとで聞くとこれは自動車のヘッドライト修繕屋で、ヘッドライトの目つかちになつたのや投射の方向の藪にらみになつたのや、其他色々調子の惡いところをなほす商賣で、往來で自動車に行き合ふごとに修繕の御用はありませんかとの挨拶を信號でやるのださうです、現在この商賣をしてゐるのは桑港で四人ほどあり、みな衆人の

◆…注視の 的になるやうな一種異樣ないでたちで街路を流してゐます、もしこの修繕屋を利用するならばフロントのグラスでも球でも直ぐその場で適當に修繕もすれば交換もしてくれるし、おまけに修繕費もごく低廉で一般から大へんよろこばれてゐるとのことで、いかにも多數の自動車が後から後から疾驅するアメリカの町にふさはしい新商賣ではありませんか

眞空管なしの X光線發射裝置

X光線といへば必ず眞空管がつきものとなつてゐましたが最近眞空管を用ひずにX光線を發射する裝置が發明されました、卽ち高い電壓の電流をマグネシユームや明礬や酸化第一水銀や、其の他高い電氣抵抗をもつてゐる物質の中を通過させますと極めて弱いX光線が出るといふ事がわかつて、これを利用して簡單な發生裝置をしたものであります、現在未だ研究時代であり實用に供せられるまでには進んでゐませんが、早晩この裝置による透光力の大きなX光線が工業上、醫學上その他實際に役立てられるやうになるでせう、そして若しそれが實現される曉にはあの複雜で高價で、取扱ひに面倒な眞空管は全然顧みられなくなるかもしれません

改造社版特選名著 半價

定價プラス送料が本の今日

全滿文化

半價圖書目錄 各書店にて進呈

政治・法律

著(譯)者名	書名	定價	特價
高柳賢三著	現代法律思想の研究	四・八〇	二・四〇
阪內務事務官 三宅司法書記官著	增補 普通選擧法要綱	・六〇	・三〇
廣濱嘉雄著	私法學序說	三・〇〇	一・五〇
末川博著	ソヴィエト・ロシヤの民法と勞働法	二・五〇	一・二五
「プラウダ」紙所載 近藤榮藏譯	露國共產黨「內訌」錄	一・五〇	・七五
奈良正路著	市町村法律必携	三・〇〇	一・五〇
イエー・ベー・パシュカーニス著 山之內一郎譯	法の一般理論とマルキシズム	一・八〇	・九〇

經濟・社會

著(譯)者名	書名	定價	特價
社會思想社編	社會科學大辭典	一五・〇〇	七・五〇
河上肇著	第二貧乏物語	・三〇	・一五
福田德三著	社會運動と勞銀制度	二・五〇	一・二五
口田康信著	國家思想の研究	二・〇〇	一・〇〇
本庄榮治郎著	近世封建社會の研究	二・〇〇	一・〇〇
高橋龜吉著	資本主義末期の研究	二・五〇	一・二五
ルイス・フィッシャー著 荒畑寒村譯	石油帝國主義	一・五〇	・七五
黑正巖著	封建社會の統制と鬪爭	三・五〇	一・七五
吉田英雄著	日本社會經濟編年史	八・〇〇	四・〇〇
野村兼太郎著	英國資本主義成立史	四・五〇	二・二五
ブハーリン原著 富士辰馬譯	世界經濟論	二・〇〇	一・〇〇
持地六三郎著	日本殖民地經濟論	二・八〇	一・四〇
堀江歸一著	國際經濟總論	三・三〇	一・六五
堀江歸一著	金貨本位制の興廢	一・〇〇	・五〇
堀江歸一著	英國預金銀行論	一・〇〇	・五〇
山口正太郎著	中世寺院法と經濟思想	一・五〇	・七五
福田德三著	唯物史觀經濟史出立點の再吟味	二・五〇	一・二五
奥村愼次著	現代英國經濟研究	一・五〇	・七五
高平隆雄著	英米投資銀行と投資證劵	二・五〇	一・二五
ミハレフスキー著 荒川實藏譯	經濟學入門	一・五〇	・七五
本庄榮治郎著	日本交通史の研究	三・五〇	一・七五
本庄榮治郎編	明治維新經濟史研究	五・〇〇	二・五〇
本庄榮治郎著	改訂增補 西陣研究	三・五〇	一・七五
猪俣津南雄著	現代日本研究	二・八〇	一・四〇
澤村康著	中歐諸國の土地制度及土地政策	五・〇〇	二・五〇
武藤山治著	經濟小言	・八〇	・四〇
ボナア著 堀・吉田共譯	マルサスと彼の業績	四・五〇	二・二五
高橋龜吉著	明治大正產業發達史	六・〇〇	三・〇〇
長野朗著	支那革命史	一・〇〇	・五〇
カール・ディーム著 山內正瞭・伊藤久秋共譯	社會問題二十五講	二・五〇	一・二五
後藤武男著	新聞企業時代	一・二〇	・六〇

勞働・農村

著(譯)者名	書名	定價	特價
渡邊一郎著	勞働問題原理	二・〇〇	一・〇〇
松岡駒吉著	野田大勞働爭議	一・〇〇	・五〇
河田嗣郎著	農村問題と對策	二・〇〇	一・〇〇
河西太一郎著	農業問題研究	二・五〇	一・二五
W・リープクネヒト著 河西太一郎譯	土地問題論	一・五〇	・七五
小野武夫著	日本農民史語彙	三・五〇	一・七五
小野武夫著	維新農民蜂起譚	四・五〇	二・二五
中澤辨次郎著	農村問題講話	一・八〇	・九〇

哲學・宗教・科學

著(譯)者名	書名	定價	特價
ウンターマン著 森喜一譯	哲學思想の史的考察	二・〇〇	一・〇〇
鶴田義富著	實驗哲學研究	五・〇〇	二・五〇
関寛之著	學校兒童心理學	二・七〇	一・三五
ブルガコフ著 島野三郎譯	經濟哲學	二・五〇	一・二五
清原貞雄著	日本道德論	四・五〇	二・二五
佐藤繁彥著	體驗宗教の研究	二・〇〇	一・〇〇
竹內義雄著	老子の研究	三・五〇	一・七五
ニュウシャム・コルト著 長尾正人譯	遺傳學概論	一・八〇	・九〇
駒井卓著	生物學叢談	二・五〇	一・二五

文藝

著(譯)者名	書名	定價	特價
水野廣德著	戰影	二・八〇	一・四〇
平林たい子著	殴る	一・五〇	・七五
岩藤雪夫著	鐵	一・五〇	・七五
前田河廣一郎著	惡漢と風景	一・二〇	・六〇
龍膽寺雄著	アパートの女達と僕と	二・〇〇	一・〇〇
谷讓次著	もだん・でかめろん	一・二〇	・六〇
谷讓次著	テキサス無宿	一・五〇	・七五
犬養健著	南京六月祭	二・〇〇	一・〇〇
眞山青果著	江藤新平	一・二〇	・六〇
森田草平著	吉良家の人々 四十八人目	一・五〇	・七五
麻生久著	濁流に泳ぐ	一・〇〇	・五〇
今東光著	愛染地獄	二・五〇	一・二五
江戶川亂步著	孤島の鬼	一・〇〇	・五〇
前田河廣一郎著	支那	二・五〇	一・二五
葛西善藏著	葛西善藏全集(壹卷)	二・五〇	一・二五
葛西善藏著	葛西善藏全集(貳卷)	二・五〇	一・二五
葛西善藏著	葛西善藏全集(參卷)	二・五〇	一・二五
葛西善藏著	葛西善藏全集(四卷)	二・五〇	一・二五
葛西善藏著	葛西善藏全集(五卷)	二・五〇	一・二五

新選名作集

著者	書名	定價	特價
菊池寛著	新選菊池寛集	一・〇〇	・五〇
前田河廣一郎著	新選前田河廣一郎集	一・〇〇	・五〇
前田河廣一郎著	新選前田河廣一郎集(續篇)	一・〇〇	・五〇
永井荷風著	新選永井荷風集	一・〇〇	・五〇
藤森成吉著	新選藤森成吉集	一・〇〇	・五〇
北原白秋著	新選北原白秋集詩歌篇	一・〇〇	・五〇
北原白秋著	新選北原白秋集散文篇	一・〇〇	・五〇
吉田絃二郎著	新選吉田絃二郎集續篇	一・〇〇	・五〇
森鷗外著	新選森鷗外集	一・〇〇	・五〇
横光利一著	新選横光利一集	一・〇〇	・五〇
長田幹彥著	新選長田幹彥集	一・〇〇	・五〇
岡本綺堂著	新選岡本綺堂集	一・〇〇	・五〇
小山內薰著	新選小山內薰集	一・〇〇	・五〇
久保田万太郎著	新選久保田万太郎集	一・〇〇	・五〇
宇野浩二著	新選宇野浩二集	一・〇〇	・五〇
里見弴著	新選里見弴集	一・〇〇	・五〇
近松秋江著	新選近松秋江集	一・〇〇	・五〇
豐島與志雄著	新選豐島與志雄集	一・〇〇	・五〇
夏目漱石著	新選夏目漱石集	一・〇〇	・五〇
山本有三著	新選山本有三集	一・〇〇	・五〇
久米正雄著	新選久米正雄集	一・〇〇	・五〇
室生犀星著	新選室生犀星集	一・〇〇	・五〇
德田秋聲著	新選德田秋聲集	一・〇〇	・五〇
相馬泰三著	新選相馬泰三集	一・〇〇	・五〇
島崎藤村著	新選島崎藤村集	一・〇〇	・五〇
西條八十著	新選西條八十集	一・〇〇	・五〇
宇野千代著	新選宇野千代集	一・〇〇	・五〇
岸田國士著	新選岸田國士集	一・〇〇	・五〇
佐藤春夫著	新選佐藤春夫集	一・〇〇	・五〇
池谷信三郎著	新選池谷信三郎集	一・〇〇	・五〇
大町桂月著	新選大町桂月集	一・〇〇	・五〇
武者小路實篤著	新選武者小路實篤集	一・〇〇	・五〇
佐佐木茂索著	新選佐佐木茂索集	一・〇〇	・五〇
片岡鐵兵著	新選片岡鐵兵集	一・〇〇	・五〇
金子洋文著	新選金子洋文集	一・〇〇	・五〇

新鋭文學叢書

著者	書名	定價	特價
久野豐彥著	ボール紙の皇帝萬歲	・三〇	・一五
中村正常著	隕石の寢床	・三〇	・一五
井伏鱒二著	なつかしき現實	・三〇	・一五
藤澤桓夫著	傷だらけの歌	・三〇	・一五
武田麟太郎著	反逆の呂律	・三〇	・一五
立野信之著	情報	・三〇	・一五
黑島傳治著	浮動する地價	・三〇	・一五
平林たい子著	耕地	・三〇	・一五
岩藤雪夫著	屍の海	・三〇	・一五
中本たか子著	鬪ひ	・三〇	・一五
岡田禎子著	正子とその職業	・三〇	・一五
淺川いれ子著	研究會挿話	・三〇	・一五
芹澤光治良著	ブルジョア	・三〇	・一五
堀辰雄著	不器用な天使	・三〇	・一五

戯曲

著者	書名	定價	特價
正宗白鳥	安土の春	一・三〇	・六五

歷史・傳記（人物評傳・自傳）

著(譯)者名	書名	定價	特價
ストロング著 淡德三郎譯	ボローヂン脫出記	一・〇〇	・五〇
笠間杲雄譯	禁行ドストイエフスキイ書簡集	一・五〇	・七五
寒川鼠骨著	寒川鼠骨集	一・五〇	・七五
堺利彥著	野外劇の一幕	一・五〇	・七五
武者小路實篤著	筆の向くまゝ	一・一〇	・五五
河東碧梧桐著	二重生活	一・二〇	・六〇
ボッフォード著 竹林熊彥譯	西洋古代史概說	三・五〇	一・七五
改造社編	大正大震火災史	一五・〇〇	七・五〇
ピシャラ・ナハス著 高瀬毅譯	ツタンカーメンの生涯と時代	一・八〇	・九〇
村松梢風著	近世名匠列傳	二・三〇	一・一五
大杉榮著	自敍傳	二・〇〇	一・〇〇
幸田露伴著	蒲生氏鄕・平將門	二・〇〇	一・〇〇
幸田露伴著	賴朝・爲朝	二・〇〇	一・〇〇
柳澤健著	ジャン・ジョレス	一・五〇	・七五
堺利彥著	堺利彥傳	一・九〇	・九五
有川治助著	ヘンリー・フォード——人及びその事業	一・二〇	・六〇
横瀬夜雨著	天狗騷ぎ	三・五〇	一・七五
夏目鏡子述 松岡讓筆錄	漱石の思ひ出	二・〇〇	一・〇〇
加藤三郎譯補	ハーバート・フーヴァー大統領となるまで	一・〇〇	・五〇
吉田孤羊著	啄木を繞る人々	一・〇〇	・五〇
有川治助著	ジョン・ワナメーカ	一・五〇	・七五
加藤三郎譯補	マーシャル・フィールド	一・五〇	・七五
南洲神社五十年奉讃會編	西鄕南洲先生傳	一・五〇	・七五
山路愛山著	勝海舟	一・五〇	・七五

童話・運動

著者	書名	定價	特價
佐藤春夫著	蝗の大旅行	三・五〇	一・七五
芥川龍之介著	三つの寶	五・〇〇	二・五〇
平井左門著	山岳スキー	二・五〇	一・二五

牧水全集（全十二卷）

定價一冊壹圓五十錢（四六判上製）　特價 ・七五

卷	內容	特價
第一卷	歌集(一)	・七五
第二卷	歌集(二)	・七五
第三卷	歌集(三)	・七五
第四卷	紀行文(一)	・七五
第五卷	紀行文(二)・夫人宛書簡	・七五
第六卷	隨筆・小品(一)	・七五
第七卷	隨筆・小品(二)・小說	・七五
第八卷	歌論・歌話(一)	・七五
第九卷	歌論・歌話(二)・長詩・童謠	・七五
第十卷	雜篇	・七五
第十一卷	書簡(一)	・七五
第十二卷	書簡(二)・日記・年譜	・七五

小酒井不木全集（全十七卷）

定價一冊壹圓（四六判上製）　特價 ・五〇

卷	內容	特價
第一卷	殺人論及毒と毒殺	・五〇
第二卷	犯罪文學研究・西洋探偵譚	・五〇
第三卷	探偵小說短篇集	・五〇
第四卷	探偵小說長篇集	・五〇
第五卷	鬪病術及學者氣質	・五〇
第六卷	生命神祕論及不木軒隨筆	・五〇
第七卷	醫談・女談	・五〇
第八卷	病間錄及日記	・五〇
第九卷	探偵小說中篇集	・五〇
第十卷	趣味の探偵談	・五〇
第十一卷	三面座談及[illegible]	・五〇
第十二卷	文學隨筆及書簡	・五〇
第十三卷	探偵小說短篇集	・五〇
第十四卷	探偵小說集	・五〇
第十五卷	[illegible]錄及斷片	・五〇

飜譯

原著者・譯者	番號・書名	特價
(英國スティヴンスン) 野尻清彥譯	18 寶島他二篇	・二五
(瑞西ヅーセ) 小酒井不木譯	19 スペードのキング 四枚のクラブ	・二五
(米國プローチー)(佛國ミュルゼ) 森岩雄譯	20 ステラ・ダラス ラ・ボエーム	・二五
(英國ドイル) 延原謙譯	21 シャロック・ホームス	・二五
(英國ホープ) 寺田鼎譯	22 ゼンダ城の虜	・二五
(英國オルツイ) 松本泰譯	23 紅蘩蔞	・二五
(英國ウェルズ)(佛國ヴェルヌ) 木村信兒譯	24 宇宙戰爭 海底旅行	・二五
(支那羅貫中) 佐藤春夫譯	25 平妖傳	・二五
(佛國ガボリオー) 田中早苗譯	26 ルコックの探偵 河畔の悲劇	・二五
(米國サバチニ) 小田律譯	27 スカラムッシュ	・二五
(英國ハガード) 平林初之輔譯	28 洞窟の女王 ソロモン王の寶窟	・二五
(佛國ベルネエド) 高橋邦太郎譯	29 海の義賊他一篇	・二五
(米國ポオ)(獨逸ホフマン) 江戶川亂步譯	30 ポオ。ホフマン集	・二五
(英國タフレイル) 福永恭助譯	31 三等水兵マルチン	・二五
(米國ゲール) 野口米次郎譯	32 幻島ロマンス	・二五
(英國エリオット) 賀川豐彥譯	33 ロモラ	・二五
(歐米諸家) 東健而譯	34 世界滑稽名作集	・二五
(歐米諸家) 岡本綺堂譯	35 世界怪談名作集	・二五
(歐米諸家) 松本泰譯	36 世界怪奇探偵事實譚	・二五
(英國ベネット) 平田禿木譯	37 グランド・バビロン・ホテル	・二五
(支那施耐庵) 笹川臨風譯	38 水滸傳	・二五
(英國ケイン) 戶川秋骨譯	39 永遠の都	・二五
(英國デフォー)(佛國ヴェルヌ) 白石實三譯	40 ロビンソン・クルーソー 十五少年	・二五
(英國ハーディ) 廣津和郎譯	41 テス	・二五
(英國ディッケンス) 名原廣三郎譯	42 二都物語	・二五
(西班牙イバニエス) 鈴木厚譯	43 血と砂	・二五
(佛國メリメエ) 宇高伸一譯	44 カルメン。コロンバ	・二五
(英國リットン) 小池寬次譯	45 ポムペイ最後の日	・二五
(英國バアネット) 佐々木茂索譯	46 小公子。小公女	・二五
(米國カートン) 尾崎士郎譯	47 あの山越えて	・二五
(佛國[illegible])(英國[illegible]) 大木篤夫譯	48 赤・頸衣物語 ピムリコの博士	・二五
(英國オルチイ) 淺野玄府譯	49 闇を縫ふ男	・二五
(英國スウィフト) 鈴木彥次郎譯	50 ガリヴァーの旅	・二五
(波蘭シエンキエヰッチ) 森田草平譯	51 十字軍の騎士	・二五
(米國サバチニ) 小田律譯	52 シーホーク	・二五
(米國マッカレー) 和氣律次郎譯	53 黑星	・二五
(英國ユーゴー) 松本泰譯	54 ノートルダムの傴僂男	・二五
(英國ハッチンソン) 木村毅譯	55 冬來なば	・二五
(波蘭センキウヰッチ) 直木三十五譯	56 クオ・バディス	・二五
(佛國ファレール) 高橋邦太郎譯	57 ラ・バタイユ	・二五
(レーン原) 森田草平譯	58 千一夜物語[illegible]	・二五

智識の殿堂!!
改造社の大寶庫開かる
見よ!!この破天荒の大壯擧

良書を安價に！　これ吾社のモットーである。「圓本」の嚆矢たる「現代日本文學全集」百頁十錢の「改造文庫」をはじめ、幾多の全集類、幾百の單行本皆この標榜の實現である。最近數年に於ける我國讀書層の急速な增大、從つて我國文化の著しき向上發展に就ては、吾社聊か貢献し得た事を誇さしめ、且つは從來多大の御支援を蒙れる全滿洲讀書界諸賢の御愛顧に酬ゆるため、「全滿特選名著半價大提供」の壯擧を敢行する。提供の圖書數百種は御覽の通り一粒選りの名著。時將に秋凉、燈影机上に澄む讀書の好季。敢て全滿洲讀者諸賢にこの壯擧を告ぐ。

特價期間　十月十五日より　十一月十日まで

大提供

大サービス

かならず定價の半價で買へる

この好機を逸する勿れ

期間後は斷然定價に復す

全滿各地書店にて即賣す

主催　**改造社**

後援　滿洲日報社・滿洲書籍商組合

文學・評論・文明批評・研究

著者	書名	定價	特價
有島武郎著	愛する人々へ	三・〇〇	一・三〇
吉江喬松著	近代文明と藝術	二・〇〇	一・〇〇
里見弴著	文藝管見	一・二〇	・六〇
觀佛文學會編	ゆかり	三・五〇	一・七五
村岡典嗣著	吉利支丹文學抄	三・五〇	一・七五
太宰施門著	ロマンチク時代	二・〇〇	一・〇〇
菊池寛著	文藝當座帳	一・五〇	・七五
新村出校註	文祿舊譯天草本伊曾保物語	三・〇〇	一・五〇
昇曙夢著	革命後のロシヤ文學	二・〇〇	一・〇〇
佐藤春夫著	文藝一夕話	一・八〇	・九〇
高野辰之著	日本演劇の研究（第二集）	五・〇〇	二・五〇
室伏高信著	大衆時代の解剖―文明の沒落第三篇―	一・〇〇	・五〇
江見水蔭著	硯友社と紅葉	一・五〇	・七五
賀川豐彦著	空中征服	一・〇〇	・五〇
成瀬無極著	疾風怒濤時代と現代獨逸文學	二・五〇	一・二五
谷崎潤一郎著	饒舌錄	一・二〇	・六〇
正宗白鳥著	現代文藝評論	二・五〇	一・二五
北原白秋著	綠の觸角	二・五〇	一・二五
勝本正晃著	文藝と法律	二・八〇	一・四〇
志賀直哉・里見弴・佐藤春夫・梅原龍三郎・岸田劉生共著	十年	九・〇〇	四・五〇
藏原惟人著	藝術と無產階級	一・二〇	・六〇
中野重治著	藝術に關する走り書的覺え書	一・二〇	・六〇
松本亦太郎著	諸民族の藝術	七・〇〇	三・五〇

小說

著者	書名	定價	特價
志賀直哉著	[illegible]々	二・五〇	一・二五
武者小路實篤著	第三の隱者の運命	一・九〇	・九五
藤森成吉著	惱み笑ふ	一・三〇	・六五
藤森成吉著	故郷	一・五〇	・七五
廣津和郎著	秋の一夜	一・六〇	・八〇
田中貢太郎著	蛇精	一・九〇	・九五
片岡鐵兵著	綱の上の少女	二・〇〇	一・〇〇
志賀直哉著	山科の記憶	一・五〇	・七五
吉田絃二郎著	旅人	一・八〇	・九〇
中河與一著	恐ろしき私	一・八〇	・九〇
久米正雄著	木靴	二・〇〇	一・〇〇
瀧井孝作著	無限抱擁	二・〇〇	一・〇〇
武者小路實篤著	母と子	二・〇〇	一・〇〇
有島生馬著	海村	二・五〇	一・二五
眞山青果著	盲魚	一・八〇	・九〇
中條百合子著	伸子	二・五〇	一・二五
佐々木茂索著	南京の皿	二・三〇	一・一五
黑島傳治著	橇	二・〇〇	一・〇〇
山川亮著	世紀の假面	一・二〇	・六〇
德田秋聲著	過ぎ行く日	一・八〇	・九〇
水上瀧太郎著	果樹	二・〇〇	一・〇〇
國枝史郎著	劍俠受難	一・〇〇	・五〇
田中貢太郎著	奇談全集（現代篇）	一・五〇	・七五
田中貢太郎著	奇談全集（歴史篇）	一・五〇	・七五
泉鏡花著	昭和新集	二・八〇	一・四〇
野上彌生子著	海神丸其他	一・三〇	・六五
佐藤春夫著	窓展く	二・〇〇	一・〇〇
細井和喜藏著	奴隷	二・〇〇	一・〇〇
葛西善藏著	哀しき父	一・〇〇	・五〇
里見弴著	[illegible]	二・三〇	一・一五
柳原燁子著	則天武后	一・六〇	・八〇
細田民樹著	或兵卒の記錄	二・五〇	一・二五
泉鏡花著	番町夜講	二・〇〇	一・〇〇
谷崎潤一郎著	赤い屋根	二・〇〇	一・〇〇
大佛次郎著	赤穗浪士（上卷）	一・五〇	・七五
大佛次郎著	赤穗浪士（中卷）	一・五〇	・七五
大佛次郎著	赤穗浪士（下卷）	一・五〇	・七五
大佛次郎著	ごろつき船（上）	一・八〇	・九〇
大佛次郎著	ごろつき船（下）	二・〇〇	一・〇〇
大佛次郎著	からす組（前）	一・五〇	・七五
大佛次郎著	からす組（後）	一・五〇	・七五
大佛次郎著	由比正雪（前篇）	一・五〇	・七五
大佛次郎著	由比正雪（中篇）	一・五〇	・七五
谷崎潤一郎著	蓼喰ふ蟲	二・五〇	一・二五
宮地嘉六著	愛の十字街	一・五〇	・七五
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小山内薫著	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昇曙夢著	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡本綺堂著	江戸ッ子の死	一・八〇	・九〇
藤森成吉著	何が彼女をそうさせたか？	・五〇	・二五
廣津和郎著	生きて行く	一・五〇	・七五
眞山青果著	風小僧次郎吉・桃中軒雲右衛門	一・八〇	・九〇
池谷信三郎著	橋・おらんだ人形	一・八〇	・九〇
山本有三著	西鄕と大久保	一・三〇	・七五
武者小路實篤著	日蓮	一・二〇	・六〇
倉田百三著	恥以上	二・〇〇	一・〇〇

飜譯（小說・戲曲）

著者・譯者	書名	定價	特價
イバニエス著　鈴木厚譯	血と砂	二・六〇	一・三〇
ジョルジュ・サンド著　田沼利男譯	鬼火の踊り	一・八〇	・九〇
ビルドラック著　鈴木春子譯	みつけもの	一・五〇	・七五
リベヂンスキイ著　池谷信三郎譯	一週間	一・八〇	・九〇
トマス・ハーディ著　内多精一譯	運命のヂユード	三・二〇	一・六〇
アプトン・シンクレア著　前田河廣一郎譯	義人ジミー	二・〇〇	一・〇〇
フイルソン・ヤング著　村上常太郎譯	クリッペン事件	二・〇〇	一・〇〇
ベ・ロマショーフ著　昇曙夢譯	空氣饅頭	一・二〇	・六〇
アプトン・シンクレア著　前田河廣一郎譯	ボストン（上）	一・五〇	・七五
アプトン・シンクレア著　前田河廣一郎譯	ボストン（下）	一・五〇	・七五
エミル・ゾラ著　三上於菟吉譯	ゾラ叢書　獸人	二・〇〇	一・〇〇
エミル・ゾラ著　松本泰譯	ゾラ叢書　アベ・ムウレの罪	二・〇〇	一・〇〇
モオリス・ルブラン著　佐佐木茂索譯	アルセエヌ・リユパン	一・五〇	・七五
ヴァン・ダイン著　武田晃譯	僧正殺人事件	一・五〇	・七五
アンリイ・バルビユス著　武林夢想庵譯	耶蘇	一・〇〇	・五〇

詩歌

著者	書名	定價	特價
與謝野寛・與謝野晶子共著	霧島の歌	一・八〇	・九〇
岡本かの子著	わが最終歌集	二・五〇	一・二五
深尾須磨子著	牝鷄の視野	二・〇〇	一・〇〇

現代代表自選歌集

著者	書名	定價	特價
北原白秋著	花壓	一・八〇	・九〇
與謝野晶子著	人間往來	一・八〇	・九〇
窪田空穗著	鏡の木	一・八〇	・九〇
前田夕暮著	原生林	一・八〇	・九〇
土岐善麿著	空を仰ぐ	一・八〇	・九〇

隨筆・紀行

著者	書名	定價	特價
若山牧水著	樹木とその葉	二・〇〇	一・〇〇
新村出著	琅玕記	二・五〇	一・二五
野口米次郎著	坐る人間の評論	二・〇〇	一・〇〇
富田碎花・下店靜市編	深仙八十一話	三・〇〇	一・五〇
岸田國士著	言葉・言葉・言葉	一・八〇	・九〇
幸田露伴著	龍姿蛇姿	二・五〇	一・二五
土肥慶造著	鴨軒游戲	二・五〇	一・二五
藤原義江著	からたちの實	一・八〇	・九〇
有島武郎著	最後の日記	二・〇〇	一・〇〇
堺利彥著	當なし行興	[illegible]	[illegible]
野口源三郎著	オリンピアへの旅	二・五〇	一・二五
河合榮治郎著	在歐通信	二・〇〇	一・〇〇
室生犀星著	天馬の脚	二・五〇	一・二五
土岐善麿著	外遊心境	二・五〇	一・二五
吉田絃二郎著	島の紀行	一・五〇	・七五
古泉千樫著	隨縁鈔	二・八〇	一・四〇
板垣鷹穗著	美術史論集　表現と背景	三・八〇	一・九〇
深尾須磨子著	侯爵の服	二・〇〇	一・〇〇

日本探偵小說全集（全二十册）

定價一册五十錢（菊半截上製）

篇	書名	特價
第一篇	小酒井不木集	・二五
第二篇	森下雨村集	・二五
第三篇	江戸川亂歩集	・二五
第四篇	甲賀三郎集	・二五
第五篇	谷崎潤一郎集	・二五
第六篇	岡本綺堂集	・二五
第七篇	松本泰集	・二五
第八篇	[illegible]藤[illegible]緒集	・二五
第九篇	大下宇陀兒集	・二五
第十篇	橫溝正史集	・二五
第十一篇	夢野久作集	・二五
第十二篇	角田喜久雄集	・二五
第十三篇	水谷準集	・二五
第十四篇	平林初之輔集	・二五
第十五篇	山下利三郎・川田功集	・二五
第十六篇	久山秀子・濱尾四郎集	・二五
第十七篇	長谷川伸・山本禾太郎集	・二五
第十八篇	國枝史郎・渡邊溫集	・二五
第十九篇	牧逸馬・城昌幸集	・二五
第二十篇	佐藤春夫・芥川龍之介集	・二五

マルクス資本論　高畠素之譯（全五册）

定價（特製）一册壹圓（並製）一册八十錢

卷	書名	特價
第一卷第一册	資本の生產行程	特・五〇　並・四〇
第一卷第二册	資本の生產行程	特・五〇　並・四〇
第二卷	資本の流通行程	特・五〇　並・四〇
第三卷上卷	資本制生產の總行程	特・五〇　並・四〇
第三卷下卷	資本制生產の總行程	特・五〇　並・四〇

世界大衆文學全集（全六十八卷）

定價一册五十錢（菊半截上製）

番號	原作・譯者	書名	特價
1	（佛國デユマ）大佛次郎譯	鐵假面	・二五
2	（佛國マロー）菊池幽芳譯	家なき兒	・二五
3	（米國ヤン・ヘー）櫻井忠溫譯	前線十萬	・二五
4	（佛國ルブラン）保篠龍緒譯	アルセーヌ・ルパン	・二五
5	（佛國プレヴオ・小デユマ）久米正雄譯	椿姫・マノン・レスコオ	・二五
6	（佛國大デユマ）三上於菟吉譯	三銃士	・二五
7	（英國ケイン）菊池寛譯	放蕩息子	・二五
8	（英國フレッチャー）森下雨村譯	ダイヤモンド・カートライト事件	・二五
9	（英國ディッケンズ）馬場孤蝶譯	オリヴアー・ツウイスト	・二五
10	（米國トウエーン）佐々木邦譯	トウエーン名作集	・二五
11	（英國ホルラアン）木村毅譯	秘密第一號他一篇	・二五
12	（佛國シユー）武林無想庵譯	巴里の秘密	・二五
13	（米國ストウ）和氣律次郎譯	アンクル・トムス・ケビン	・二五
14	（歐米諸家）牧逸馬譯	英米新進作家集	・二五
15	（獨逸ハルボウ）秦豐吉譯	メトロポリス他一篇	・二五
16	（露國トルストイ）近松秋江譯	カチユウシヤ	・二五
17	（佛國ユーゴー）早坂二郎譯	九十三年	・二五
59	[illegible]	モープラ	・二五
60	（英國フリーマン）水野泰舜譯	ソーンダイク博士	・二五
61	（英國ブロンテ）遠藤壽子譯	ヂエイン・エア（上卷）	・二五
62	（英國ブロンテ）遠藤壽子譯	ヂエイン・エア（下卷）	・二五
63	（英國キングスレ）阿部知二譯	ウオタア・ベビ	・二五
64	（英國ラム）（英國マックスパテン）菊池重三郎譯	沙翁物語・ワグネル物語	・二五
65	（英國サンデス）千葉龜雄譯	女人出征	・二五
66	（支那[illegible]）田中貢太郎・[illegible]譯	聊齋志異	・二五
67	（支那[illegible]）弓館小鰐譯	西遊記	・二五
68	（馬琴）内田魯庵譯	八犬傳	[illegible]

子規全集（全十八册）

定價一册一圓（四六判上製）

卷	内容	特價
第一卷	俳句全集（一）	・五〇
第二卷	俳句全集（二）	・五〇
第三卷	俳句全集（三）	・五〇
第四卷	俳論及俳話（上）	・五〇
第五卷	俳論及俳話（下）	・五〇
第六卷	歌論歌話及評論	・五〇
第七卷	和歌新體詩	・五〇
第八卷	隨筆（上）	・五〇
第九卷	隨筆（下）	・五〇
第十卷	小說・紀行・小品	・五〇
第十一卷	少年時代創作集（上）	・五〇
第十二卷	少年時代創作集（下）	・五〇
第十三卷	編著（上）	・五〇
第十四卷	編著（下）	・五〇
第十五卷	書簡（上）	・五〇
第十六卷	書簡（下）	・五〇
第十七卷	評論・漢詩・日記	・五〇
第十八卷	年譜	・五〇

國木田獨歩全集（全八册）

定價一册壹圓五十錢（四六判上製）

卷	内容	特價
第一卷	武藏野、牛肉と馬鈴薯、巡査、少年の悲哀、酒中日記、外二十一篇	・七五
第二卷	運命論者、馬上の友、富岡先生、號外、外二十五篇	・七五
第三卷	竹の木戸、二老人、綠くづ（モウパツサン）騙術の妙、外二十三篇	・七五
第四卷	詩、獨歩吟、頭巾二つ、その他小品、海の樂、想出るまゝ、外數篇	・七五
第五卷	欺かざるの記（前篇）	・七五
第六卷	欺かざるの記（後篇）	・七五
第七卷	傳記及雜纂、フランクリンの少壯時代、友愛、吾が海軍水兵の頭外數篇	・七五
第八卷	病牀錄、書簡、年譜	・七五

日本地理大系（全十六册）

定價一册貳圓八拾錢（四六倍判上製）

卷	内容	特價
第一卷・第二卷	總論篇	一・四〇
第三卷	大東京篇	一・四〇
第四卷	關東篇	一・四〇
第五卷	奧羽篇	一・四〇
第六卷	中部篇上	一・四〇
第六卷B	中部篇下	一・四〇
第七卷	近畿篇	一・四〇
第八卷	中國・四國篇	一・四〇
第九卷	九州篇	一・四〇
第十卷	北海道・樺太篇	一・四〇
第十一卷	臺灣篇	一・四〇
第十二卷	朝鮮篇	一・四〇
別卷一	山岳篇	一・四〇
別卷二	滿洲・南洋篇	一・四〇
別卷三	海外發展地篇上	一・四〇
別卷四	海外發展地篇下	一・四〇

滿日各地版

安東軍民の努力で不法課税問題解決
十二日から統税問題も解決して永年の懸案一掃さる

【安東】不當課税に依つて終始苦められつゝあつた安東在住の邦人は事變突發と共に一切の不法課税排除に向つて徹底的に對策を講ずると共に軍部に對しても數次の陳情を爲したる爲め

軍部 も之等に就いて詳細研究を進めて居たが先づ第一次として附屬地境界にある税捐局出張所を撤去せしめて附屬地内外の通商を自由ならしめ次で護照發給手數料を廢止して安東奉天間の運輸取引を圓滿ならしめたるが最後に殘されたる代表的不法課税とも目されつゝあつた統税についても漸く合法的に改められる事となり日本側の承認せる綿糸布以外に對しては附屬地内外を問はず十二日以降一切の統税を徴收せざる事となつた、尚綿糸布に對しては既に日本側が承認せる

關係 あるを以て附屬地外に於ける該品に對する課税については國際信義の上より邦人側も之れが納入に應ずる事となり愈々協定が成立せるを以て之れに依つて永年の懸案となつて居た不法課税問題は一切の解決を見た譯である

安東の獨立 急轉直下實現か
加藤憲兵分隊長赴奉

鐵嶺自治會陣容を整ふ

【鐵嶺】……善政の下に困憊の支那側を救はんと準備を急いでゐる鐵嶺縣自治會では十三日愈々其陣容を整へ新政の第一歩を踏み出すことになつた新政府の首腦者左の如し

行政課 委員長兪樂慶、委員楊立堂、胡世興、楊喧
財政課 委員常部棟、孫群雲、林樹枝、傅文華
司法課 委員趙驛嵐、鄧士仁、鄭祿
保安課 委員張祖陰、石之璋、吳常安、于洋
秘書 劉天成(内政) 林樹枝(外事)

更に縣自治局各部の部長顔振れは左の如し

行政部長尹世怡(前政府第一科長)
財政部長楊暄(前財政局長)
司法部長趙驛嵐(前地方法院長)
教育部長鄧士仁(前教育局長)
警務部長張祖陰(前公安局長)
總務部長張彭齡(前第二科長)
監察部長孫群雲(前稅捐局長)

自治會本會議

【鐵嶺】首腦部の決定を見たる鐵嶺縣自治會では十三日午後一時より本會議を開催したるが先づ警務長張祖陰氏より公安局員に對し給料が渡らぬためこれが支給方法に就て委員の協議を求め更に奉天政府の送金なく囚人に對する食費も缺乏し過般稅務會より千餘元を借款し一時を糊塗したるも今やそれも盡きたり何等かの方法によつて支出されたしと内部の窮乏を愬へ日本側顧問も豫想外の窮狀に驚ろき縣政府の財政を調査したところ財政局に小票が七萬元有るのみで手のつけやうなく協議の結果何等かの方法で借款を起す事とした、尚縣費は從來月額三萬五千元を要したが新政府樹立と共に先づ事務の合理化を行ひ冗員を減じ必要なる人員はこれを優遇增給し大に能率を上げんとし十四日午後一時までに各部長は所屬部の豫算を編成提出する事に決定第一日の本會議を終つた

縣政府を廢して自治分會を組織
開原地方治安維持策 委員その他を決定

【開原】滿洲事變勃發以來他地に比し開原縣は割合平穩であつたが縣の主腦者たる縣長、公安局長の二人は數日前より逃走し無政府狀態となりたる爲め縣代表は松岡勝彦氏に治安維持に關し依頼するところありて松岡氏は十月十二日十九名を引連れて午後二時開原縣内縣政府に到着城民有力者と協議の結果從來の開原縣政府を廢し新に開原自治分會を組織し以て地方治安維持をなすべく決議し引續き自治會の組織方を圖りたるに滿場一致贊同を得て委員長及副委員長、委員、顧問を左記の如く任命さると同時に左の宣言文を發表した

委員長 王用賓(元蓋平縣長)
副委員長 趙幼樵(元江蘇縣長)
委員 康作民、曹錫甫、朱子青、王林知、趙治安、金子章、關仲三、羅化南、丁一青
顧問 森田一、久保清一郎(日本人)

宣言

本自治會は民衆福祉のために舊軍閥分制機關たる縣政府を廢止し中國傳統の自治制を復活する旨さし茲に宣言す

中華民國二十年十月十二日 開原自治分會

引續き自治會では自治會章程につき協議滿場一致左記條項を決議した

一、精神 至大無外
二、目的 合理組織を創設し人類の爲に公平安定の生活を圖る
三、方針 人民本位と地域單位を以て自ら働き人民自治を各地へ組織し人民の生存權を行使す
四、綱領
(イ)人民自各生存權及相互生存權の承認を保有す
(ロ)信教言論の自由と對人類全體負責を保有す
(ハ)人民平等自治參政權を保有す
(ニ)人民は卽日惡政府惡政との關係を斷絶すべし
(ホ)人民は中國の宗教的社會傳統を承認すべし
五、組織
(イ)本會は地域内居住人民を以て組織す
(ロ)九名を以て一小組と爲し小組長の名を以て其組に名づく
(ハ)九小組を以て一中組とし中組長の名を以て其組に名づく
(ニ)九中組を以て一大組と爲し大組長の名を以て其組に名づく
(ホ)大組以上を縣自治會と稱す
六、自治大綱
民國以來の軍事的惡制度を廢止し中國の傳統的家族制度を復興すべし
七、機關
(イ)縣自治會に執行委員會を設く
(ロ)縣執行委員會に自治局及び人民自治軍を設く
(ハ)自治聯合會に代表會を設く
八、執行委員會責務
(イ)大會の決議に從ふを原則とし生命權に關する一切の任を行使す
(ロ)自治軍を統帥す
(ハ)臨時に縣政務を代行せしむ(行政財政司法保安)
(ニ)大會の召集事務
(ホ)縣自治局は臨時縣政務一切の事項を執行
(ヘ)縣自治局は執行委員會に隷屬す
(ト)縣自治局は執務章程を組織し執行委員會此を定む
(チ)自治局内に行政部、財政部、司法部、教育部、警務部、總監察部、監察部を置く

撫順支那街治安維持策

【撫順】人口六萬を有する附屬地外支那街一帶の治安維持は十四日午前より撫順憲兵隊千金派遣隊鎌田隊長以下川本、武田、本田、島崎の各憲兵に守備隊員六名應援のもとになす事となつた而して元縣公署跡には「日本撫順憲兵隊」の表札が揭げられる事となつた、尚縣政府時代の「公安局」以下の警備機關は解體され新に「自衛警察隊」を設け縣下治安維持の總元締としこの自衛警察隊の下に差當り九分局を設け右憲兵分遣隊の支援をなさしむる事となつた、因に附屬地内撫順憲兵隊は當分閉鎖状態になつたのである、支那街一帶の警備を憲兵隊でやる事となつた經緯を探聞するに附屬地内は既に靜穩に歸した上警察、守備隊等もあり憲兵隊が留守にしても何等懸念ない事と既報の如く支那町警備に當つてゐた警察隊引揚後元公安隊員等を以て組織する「自警團」に守備隊より鐵砲二百五挺彈丸各三十發を與へ治安維持に當らしめてゐたがそれでも日本警察引揚後支那街一帶の住民が非常に不安を感ずる爲同地一帶居住邦人の懇請に從ひ前記憲兵隊がその任に當る事になつた如くである

本國の父兄から諭され歸國を思ひ止る留學生
『日本の治政に不平はない』

【金州】日支衝突……排日……排日貨等の事件に絡み極度に露骨となつた中國人内地留學生の歸國問題は當地よりの留學生にも波及して父兄宛頻々と歸國する旨の通知が來つゝある模樣であるが憂慮した父兄は日本の治政下に在つて絶對に安全である事を喜び、かゝる日本の治政下にあつて十二分に研鑽出來得る事を無上の幸福であると思はなければならない、決して敵視するが如き輕擧な振舞をするな、父兄等は絶對に日本を信頼してゐるのであるから安心して勉學を續けよ等の意味合の書信やら電報で極力歸國不要を諭してゐるが其の結果數十名の金州よりの留學生は今の處落付いてゐる

奉天票の收納拒絶
官公吏の俸給は全部現銀で支給 九日より安東で實施

【安東】奉天舊軍閥政府が喪失せるにも拘らず依然として奉天票は官公署の收入として取扱ひその反面の官公吏に對する給料支拂は奉天票に依つて爲されて居り支那官吏の生活上の苦腦は其の爲めに悲慘な状態に置かれて居たのであるが安東は日本軍部に於て官公署の會計を監督する事となつてより徐々に奉天票の收納を排斥させつゝあり今月の官公吏の給料支拂は一切現銀或は小洋票に依る事と同時に奉天票の收納は去る九日限り各官公署とも斷然拒絶する事となつた、之れに依つて最も浮び上つたのは支那官公吏でいづれも給料の現銀支給をうけ歡喜して居る

馬賊の一團自警團を襲撃す
團員一名射殺さる

【鞍山】鞍山附屬地南方遼陽縣長店舗の部落民は匪賊警戒の爲自警團を組織し日夜警戒して居たが十三日午前一時頃、自警團屯所裏手土壁を乘越え二十餘名の馬賊の一團が各自拳銃を所持して侵入し居合せた自警團十名に發砲したので交戰となり團員一名は遂に賊の爲め射殺され、賊は團員の所持した長銃七挺、彈丸三百發、モーゼル拳銃一挺、實砲四十發を強奪し團員二名を人質として連行、千山東方に向け逃走したが途中にて人質を放還し其儘逃走した右届け出に依り十三日午後鞍山署騎馬巡査十名及び守備隊騎馬兵は千山附近に警戒の爲め出動した

強盜犯人逮捕

【金州】去る十一日午後十一時頃就寢中の金州管内董家溝會石山屯一一四番戸呂世太宅を警察の者だが戸口調査に來たからと叩き起し矢庭に直徑約一寸の漁撈用繩を以て後手に縛り上げ恐怖の餘り幾所の中でふるへてゐた妻女の腕から銀腕輪二個と着てゐた蒲團上下二枚を強奪逃走の道すがら一時頃同屯の某家に同じく警察の者だからと言つて水を飲み剩つさへ巧言を以て同家の衣類物品六七點を詐取し悠々と逃走せる犯人ありとの通報に接した金州署では逸早く非常線を張ると共に同屯居住の盧樹桂(三〇)を犯人と睨み捜索中の處大連へ逃走の形跡明かとなり逮捕に向つた竹内金州署刑事及巡捕のため香爐礁附近徘徊中の處を十三日午後二時頃難なく逮捕された、金州署では此の外尚餘罪ある見込で目下嚴重取調中

日本の警官だと掠奪し廻る怪漢
撫順縣下に僞警官

【撫順】日本警察官也と詐稱各村落を乘馬で銃器を掠取し廻る怪漢—本月五日頃より十日位に撫順縣第七區拉古郷部落外附近七ケ村に撫順警察署李石寨派出所勤務巡捕徐連坡なりと稱し官衣佩劍モーゼル一號及び小型拳銃を所持乘馬で驅け廻り日本官憲の命なり銃器を……に來たさて官憲濫用威嚇各村自警團用の銃器を掠奪銃器不出の場合は現大洋三百元出せと強奪し廻つてゐた怪漢あるとの届出で十三日午前撫順署に達した、因に右の如き姓名の巡捕は撫順署に全くなく贋巡捕であると

昌圖縣に匪賊

【開原】十三日午後二時半頃昌圖縣城西方約二邦里の朝陽堡に約百五十名の匪賊團現はれ同地自衛團と交戰し同じく昌圖縣城西方約五邦里の亮中榔に約百五十名の匪賊現はれ自警團と交戰したが被害程度不明、昌圖縣城附近蓋子溝、朝陽堡、亮中榔等一帶に約五百名の匪賊橫行掠奪してゐるが或は錦州臨時政府と聯絡の下に治安擾亂を目的に橫行してゐるものとも觀らる

支那地主農民の被害も甚大
敗走兵の荒した跡

【撫順】縣下敗殘兵掠奪の跡調査のため背後地踏査に向ひたる撫順署倉田警部補一隊の第一情報が十三日午前撫順署に達した同一行の十二日調査したる「孤家子」「連刀灣」「大東溝」「下黃舍屯」一帶各部落約四百戸の支那農家地主等は悉く兵匪の爲掠奪され多いのは一戸で現金貴金屬その他約金千四五百圓少いので金三百圓平均六百圓位被害總額二十餘萬圓に上ると云ふ新事實が發見された、殊に同附近支那部落民の兵匪を恨む事は甚だしく日本官憲と見るや全部落擧て歡迎種々の便宜を計つてくれるとの事である、尚前記各部落鮮農の被害額は前記支那居住民に比し極めて少ないその理由は鮮農は數に於て中國農夫より少なくと何れも一年暮しの貧乏小作で家財悉くを掠奪されてもその金額は大したものにならぬ事と敗兵至るときくや逸早く附屬地へ逃げた等の爲であると

法庫縣の馬賊

【鐵嶺】法庫縣下鄧家荒地(法庫門を距る七十支里)には約五百名の馬賊蟠居し頻りに附近を荒し機を見て縣城を衝かんとする風説あり縣公安隊は十二日二百餘の討伐隊を急行せしめ同夜七時同部落で遭遇激戰の結果賊は死傷十二、負傷者二十名を遺棄逃走し討伐隊には死者一、負傷二名を出したのみなるが同縣下には各所に優勢馬賊蟠居して縣城を襲撃せんと虎視耽々たるものあり縣城は物々しい防備を固めて居ると

三百名の集團

【鐵嶺】去る十一日朝昌圖縣下金家屯に馬賊敗兵聯合の二百五十名が來襲し同地を遠方より包圍して商務會に對し現大洋十萬元、長銃百挺、彈丸一萬發、阿片五百兩を強要したるが翌十二日には更に馬賊頭目双勝、金龍其他の一隊三百名が加はり若し要求に應ぜざれば一擧に襲擊すべしと脅迫中であると因に右賊團の大半は敗兵らしく何れも軍服を着し軍銃を所持すると

清河上流地方の被害

【鐵嶺】十三日鐵嶺に避難して來た鮮農李某の語るところによれば開原縣清河の上流に住み水田を經營し部落も鮮農十五戸四十名が居住してゐたが數日前多數の敗殘兵が襲來し支那地主と共に鮮人を悉く戸外に引出し山中に連行して一纏めに射殺し家屋は家財を掠奪して放火十五戸を全滅せしめ李外二三名は幸ひ虎口を逃れて鐵嶺に避難したが他の者は前記の手段によつて全部虐殺されたと

採炭所に六人組敗兵

【撫順】便衣の敗殘兵六名が突如十三日午前一時撫順新市街をほど遠からぬ東鄕採炭所把頭(華工の親方)韓迎春(三七)方を襲ひ四名は外部で見張をなし二名は表戸を破壞侵入家人八名に拳銃を突付け威嚇目隱しし現金六十一圓八十九錢現大洋三十五元外衣類五點金換算八十三圓八十九錢總計金百四十五圓七十八錢を掠奪悠々引揚げた、急報に接した撫順署では普通の強盜と異り事件を重大視し非常召集をなし非番員五十餘名の武裝隊を以て拂曉五時まで各要所々々に張込み捜査したるも遂に逸した

軍隊の保護で鮮農引揚ぐ

【營口】田莊臺居住の鮮人中婦女子のみは海城その他に引揚げを了し目下作物の收穫期であるので男子のみは殘留したが依然不安狀態であるので去る十一日瓦房店守備隊の一部は同地に出動し保護に任じた匪賊は我軍の來れるを聞き四散したるも軍隊引揚後は又復不安に陷るの處あるので荒川領事は軍隊の保護下に引揚げを命じ軍隊は引揚げ鮮人が農作物及家財道具を片付け運搬來營するを保護し歸營した

トラック一臺に積切れぬ排日文
四平街憲兵隊の捜査

【四平街】支那全國に亙つて昨今極端なる排日、抗日ポスターを發行隨所に貼付、撒布し益々人心を煽動せんとする傾向濃厚となつて來たので各地日本憲兵隊では之等のポスター其の他の押收に努めて居るが尚憲兵隊でも數日前より各方面、各機關に向つて鋭意探査嚴重なる家宅搜索の結果當地のみでも各方面より沒收したる驚くべき排日ポスター、同宣言文書排日教材資料その他遼寧省より送附し來れる排日指令及ポスター等にてその數量は一臺のトラックに滿載しきれない程に上つた

宣傳ビラ配布

【安東】十一日午前十一時より飛行隊偵察機二機は安東、鳳凰城、寛甸、輯安、通化各縣下一帶に亙り最低空飛行をなし鮮支兩民とも安心して其の業に服する樣宣傳ビラ數萬枚を散布したが之れに依り不安に戰きつゝあつた鮮支兩民は漸く意を安んじ各業に服する事が出來る譯で其の效果絶大なるものありと謂はれて居る

マラソン慰問

【普蘭店】出動軍隊慰問の爲單身マラソンにて十日旅順をスタートした土倉郁夫君は十一日午後六時無事當地着玉谷驛長宅に一泊翌十二日午前八時より各方面を慰訪九時半官民多數見送りの裡に民政署前より出發した

青年聯盟會議

【奉天】本年度の青年聯盟會議は十七日撫順に於て開催されるが十八日は正午九十名の議員が奉天に參集し時局懇談會を開催し引續き母國派遣代表の演説會を開く由

四平街
慰問品に感謝

四平街市民擧つて當地守備隊並其の他に多數の慰問品を贈りし事は既報の如くなるも是等赤誠溢るゝ市民に對し當地守備中隊長齋藤中村は左記の如く十三日一般市民に宜しく御傳言を乞ふ旨の禮狀を寄せた

謹啓、過般は市民の誠意ある御慰問品を御惠與下され我等將士一同は誠に感激に不堪候、實は早速御禮申述ぶ可く筈の處御承知の通り十月一日四平街に轉じてより同三日變電所附近における戰死事件之れが手續、同五日は虹牛哨附近における戰鬪戰死並に負傷等更に七日鷲樹方面における匪賊掃蕩に出動九日歸隊十一日は佐藤、高橋兩上等兵の葬儀告別式と云ふが如く非常に多忙且つ混雜を極め遂に今日まで延引致候段何卒不惡御思召被下度候、貴官より市民一同に宜敷く御傳への程不肖齋藤二郎一同を代表し厚く御禮申述候也

昭和六年十月十三日
獨立歩兵第五大隊第一中隊長
陸軍歩兵大尉 齋藤二郎
四平街地方事務所長殿

兩勇士の遺骨

當守備隊所屬故佐藤富雄上等兵、同高橋菊次郎上等兵兩勇士の告別式は去る十一日當守備隊營庭に於て嚴修されしも右兩氏の遺骨は内務班長及び親友二名護送の下に十五日午前十時三十分發列車にて大連經由郷里(青森、秋田)に向ふ事となつた尚同列車には公主嶺第一大隊三十有餘名の戰死者の遺骨も通過する筈

開原
郵便局の業績

開原郵便局の九月中の事業成績は左の通り

一、郵便の部

	引受	配達
特殊	八四	七〇七
小包	一五	一、〇四三

二、爲替貯金の部

	受入	拂渡
爲替	二、三八、三六	八、〇二一、一六
貯金	三、一八六、四三	八、四三二、八一
振替	三、九七四、三三	二、一三三、〇八

三、保險年金の部

保險	一八〇四、六〇	一〇二〇
年金	一	一

鐵嶺
按摩料金値下

當地では從來按摩の料金を四十錢と定められてゐたが時節柄値下げ希望の聲があり警察でもこれを認めて十錢値下げ今後は三十錢にしたと

奉天
地方委員選擧

時局のため延期されてゐた滿鐵地方委員選擧は愈々十一月五日に行はれることになり奉天に於てもその準備を急いでゐるが公費納め締切日九月廿八日の成績によると全市有權者が邦人三千七百五十六名支那人六百廿一名、外人百五十八名でその中滯納者邦人六百八十一名、支那人百卅八名、外人九十四名、合計九百十四名の多數に及び實際の有權者は三千六百廿一名である之がため立候補者の數によつては相當の混戰を見るであらう尚町内會推薦の人物は廿日頃發表される模樣である

小兒保險制度

從來十二歳以下の小兒には保險的保護が與へてなかつたが今回郵便局に於て初めて簡易保險の一部として小兒保險が實施せられたこの制度で保護せられるのは滿三歳以上で目的は無事成長した曉結婚、入學、就業等に當つて種々經濟的需要を補はしめ或は小兒が死亡した場合扶養者の蒙る醫師の診察代それに葬祭費等の損失を補ふさいふのである尚保險料は五十錢、一圓で加入は簡易保險同樣至極簡單である

臨時種痘施行

奉天署では左の日割で臨時種痘を施行すると

▲廿四日、卅一日兩日加茂町、浪速通、隅田町各派出所管内(本署に於て)
▲廿六日、十一月二日兩日奉天驛、宮島町、千代田通り、日吉町、芳野通各派出所管内(同上)
▲廿七日、十一月四日紅梅町、平安通り、青葉町、末廣町、渾河各派出所管内(彌生小學校にて)
▲廿八日、十一月五日文官屯、虎石臺、新城子各派出所管内(新城子驛構内にて)
▲廿九日、十一月六日陳相屯、蘇家屯、奥家屯各派出所管内(蘇家屯滿鐵倶樂部に於て)

時間は毎日午前九時から午後四時まで

毛糸編物講習

主婦の友の毛糸編物展覽會並に同講習會は奉天高女同窓會、奉天滿鐵家事講習所後援の下に來る廿五日から二日間奉天高女講堂に於て無料で開催するが講師は東都における斯道の大家々藝製作品奬勵會柴田たけ子女史が出張指導する由

安東
市行政委員會

安東市行政委員會は十三日午後二時から市商會に於て第一回委員會を開き今後の市政方針に對して種々協議する處あつたが日本側新聞社などへも商工會議所を通じて出席を求めた

鞍山
軍隊等を慰問

鞍山時局委員會にては第六大隊出征將士留守宅二十六戸に菓子箱を贈り慰問したが、十三日は時局發生以來、日夜警備に苦心しつゝある鞍山守備第三大隊東海林中隊及び鞍山署、憲兵分遣隊、衛戍病院等にそれぞれ清酒一樽を寄贈し其の勞を犒つた

市場會社披露

鞍山市場會社にては資金一萬五千圓を投じて新築中なりし魚菜小賣市場が愈々消防隊横に出來上り去る一日より開業したので十三日正午から市内の各家庭の婦連を午後四時から主なる官民多數を招待し市場横の空地で披露宴を催した

金州
鄕軍の射擊會

帝國在鄕軍人會金州分會では來る十八日午前九時より第十六回定時總會を兼ねて金州城西門外三崎屯射擊場に於て秋季射擊大會を開催すると

會吏員研究會

金州管内の各會では左の日取により會吏員の事務研究會を開始した
△十四日馬家屯會△十六日玉皇頂會△二十一日老虎山會△二十三日閻家樓會

旅順
選手推戴式

來る十七日擧行さる都市對抗驛傳リレー選手推戴式は十三日午後二時から旅順市役所に於て開催市會議員町總代其他各方面後援者多數參會拍手裡に選手はユニホーム姿凛々しく入場永山市長(後援會長)より一場の挨拶を述べ三澤監督より選手として

岡澤旦、上倉謙一、河野萬治、上倉仲一、眞砂藤、長倉春吉、柳澤忠次郎(不參)

を紹介選手を代表して岡澤旦氏答辭を述べたる後三澤マネージャより從來の經過報告あり再び拍手裡に散會した

編物の講習會

曩に大連本社に於て後援非常な好評を博した在來の手編みその他の方法と異りドンナ初心者でも巧劣なくすぐ覺えられる最新式S式高速度手編物講習會が今回旅順で開催される事となつた講師は佐久間進一郎、同佐子夫人、船川里子女史で十六日から三日間は新市街第二小學校、舊市街は十九日から三日間青葉町龍心寺に於て毎日午前九時から午後三時迄旅順高等女學校同窓會主催、關東廳學務課後援で開催し會費八十錢で當日持參材料は持合持參又は會場で實費で分與する、尚舊市街方面は兩三日中に決定する由で當日道具は一式無料で貸與するが希望者へは三圓五十錢であると趣味と實益を兼ねた有益な好機會を逸せず切に參加をお勸めする

黃金臺

在鄕軍人旅順分會では十三日午後七時から偕行社において理事會を開催警備團今後の行動、時局に關する分會行事の件等につき種々打合せを遂げ同九時過ぎ散會した

◇

三重縣教育視察團一行十名は十三日午前九時十分着列車にて來旅各所を見學即日離旅

◇

松林町二ノ二土木課勤務德永良一は渡滿の際船中で懇意になつた氏名不詳の日本人年齡二十二歳位の男が十二日突然來旅就職口を依頼したが良一が洗面中洋服から金七圓餘を窃取し逃亡した

御めでた

▲月見町五 研谷春雄氏長女陽子孃二十三日出生
▲桃園町二五 永井義通氏長男滿君一日同上
▲春日町 桓吉秀雄氏二女照子孃二十五日同上

追悼

▲千歳町五ノ二 色川大助氏妻ヨウ(五二)十一日死亡

市中の噂

來る十七日の都市對抗驛傳リレーは旅順市として是非第一着の榮光を獲得せねばならぬ、地の理を得た旅順市としては遮二無二頑張る事だ ▲選手の意氣は全く斃れて後止むの一大悲壯な決心を持つてゐるから此上の勝味は市民の後援である當日は町内旗は勿論全市民小旗を振つて選手ないやが上にも聲援する事である ▲此催しは明年、明後年更に來るべき神宮祭當日は全滿の都市は無論、遠く母國の韋駄天連強豪者の參加を見るとさ想へば將來は「聖地旅順」の名聲にも及ぶ……天の時、地の利、人の和は正に此日の市民が持つべき秋?

沿線往來

▲河相關東廳外事課長 十二日來奉
▲中谷警務局長 十二日歸旅
▲大谷旅順要塞司令官 十二日歸旅
▲橋本參謀長 十三日來奉
▲金井滿鐵衛生課長 同上
▲松島同農務課長 同上
▲大島高精氏(陸軍省囑託) 同上
▲土肥滿鐵總務部庶務課長 十三日長春へ
▲民政黨代議士一行四名 十三日長春へ
▲阿比留醫大幹事 十三日大連より歸奉

鋭利な兇器で滅多斬り 身重の人妻慘殺さる
昨日午後二時頃土木課官舍で 犯人は居直强盜か

十四日午後三時ごろ市內惠比須町百五十六番地關東廳土木課大連出張所官舍附近遊戲中の子供達が『佐藤の伯母さんが殺されてゐる』と騷ぎ出したので近所の人が駈つけて見ると土木課出張所契約係佐藤重夫（三〇）方の階下六疊の間に姙娠七ケ月の妻女いそ（二三）が頭部四ケ所、心臟から肺部にかけ六ケ所、鋭利なナイフ樣の兇器で突き刺され、むごたらしい容姿を血海の中に仰向けに打倒れ、あたりは鮮血迸しり屋內がひどく荒らされてゐるのに驚き、所轄小崗子署に急報した、同署から三浦署長、猪股司法主任以下、大連檢察局から池內檢察官急行、兇行現場の檢證を行つた、犯人は未だ日支人とも判明しないが兇行手口から見て前犯者の居直强盜の所爲と見られてゐる【寫眞は被害者】

兇行後手當り次第に 簞笥から金品物色 被害者が隣家に行つた隙に忍び込んで居直る

慘事の當日被害者いそは早朝夫を役所に送り出し姙娠の身重で洗濯を終へ午後一時半ごろ隣家の福島力松方を訪れ「一仕事濟んだから雜誌を貸して頂戴」と妻女に「キング」を借り受けすぐ自宅に歸つたまでは判明してゐるが其後樣子に就いては附近で物音一つ聞いたものもなく、あれだけの慘劇が巧に手早に行はれたものらしい、司法當局の觀測では被害者が福島方へ雜誌を借りに行つた留守中、附近で窺つてゐた

犯人 が兇器（裏口から侵入した形跡はない）から忍び入り金品を物色中、五分と經たぬうちに被害者が歸つて來たのに驚き矢庭に居直つて所持せるナイフで滅茶々々に突き刺したものらしい、被害者の後頭部に犯人の爪で掻いた擦過傷が殘されてゐる點は被害者が相當抵抗せるを物語るものである、兇行時刻は附近の人が駈つけた時未だ

温味 があつたところから見て午後二時すぎと推定されてゐる、犯人は被害者が絕命せるを見澄まして大膽にも簞笥、茶簞笥、机の抽出など手當り次第に金品を物色し（贓品は目下取調中）午後三時前後ゆうゆうく同家を逃げ出したものらしい、なほ犯人は簞笥の下部から引き出してゐる點、指紋を多く殘してゐない點、殺し方が餘り殘虐である點から見て前科者の

所爲 と見られ、所轄小崗子署では大連署の應援を得、全市に亘つて前科者の足取りを虱潰しに取調べてゐる

雜誌を貸した 隣家福島氏談

慘劇の直前被害者いそが雜誌キングを借りに訪れた隣家の福島力松氏妻女は語る

午後一時半ごろでした奥さん（被害者）が來られてお仕事が一段落ついたから何か讀物を貸して下さいといはれたので二階から「キング」をもつて來てお貸したら、有難うといつてすぐお歸りになりました、其後物音一つ聞えず、こんな恐ろしい出來事があらうとは夢にも知りませんでした

慘劇を 知らぬ隣家

また慘劇を聞いて最初に駈つけた左隣の稻見氏妻女は

奥さんは非常に氣立の優しい方で、夫婦間も至つて圓滿でしたから人に恨みを受けるやうなことは絕對になく强盜の仕業と思ひますが壁一重より隔てゝ居らぬ私方では慘劇を少しも知りませんでした

たゞ斷腸の思ひ 被害者の夫佐藤氏談

被害者いその母親の父從姉に當る伏見臺八番地宮崎あさ（五〇）さんは急を聞いて駈つけたが、檢證のため屋內に入らず、戶口で泣きながら語る

いそは一昨年七月佐藤と結婚して郷里大分縣から大連に參りました、昨夜私が訪れた時も、おなかの正月には赤坊が生れるから用意をせねばならぬと、生れる子供の着物やオムツをたくさん作つてゐました、今はそれが全く無駄になり、お腹の子供までが遂にこの世の光を見ずに死んでいつたかと思ふと腸を斷られるやうな思ひが至します

出産の用意も無駄になつた 親類の悲しみ

と氣の毒さうに語つた

悲報を聞いて駈つけた近親者や同僚は池內檢察官等の檢視が終ると共に後片づけや屋內整理に忙殺されてゐる中を被害者の夫佐藤氏は突然のこの慘事に呆然とした面持で語る

私は今朝は平常通り八時に出勤し妻は晝間近所にも遊びに行つたそうで何等變つたこともなかつたのにこの騷ぎです子供が近く生れて來るのを私は最近夢にまで描いて樂しみにして居つたのを、こうして母親と共になくしたと思へば斷腸の思ひで殘念でたまりません

犯人は支那人 確證を摑む 小崗子署俄然緊張す

犯人は日本人か支那人か市內各署では兩說に分れてその何れかの確證を得るに必死となつてゐたところ搜査本部の小崗子署では同日午後十時に至り何等かの確證を得たものゝ如く俄然緊張し事件發生と同時に管內各所に配置されてゐた署員を再び本署に召集して猪股司法主任より詳細なる訓示があつた後同十時半より第二段の活動に移つたが最早同署では動かすことの出來ない確證を得たものゝ如く犯人は支那人と見込みをつけ全力を同方面に注ぎ逮捕は時間の問題であると力んで居る

目星つかず 犯人は五里霧中 有力な容疑者と見られる 前日訪れた流し床屋

犯人の手掛りは目下のところ少しもつかず五里霧中の裡に搜査を續けてゐるが兇行前日午前三時ごろ四十歲前後の日本人流し理髮屋が附近の官舍街を訪れ被害者いそもその床屋に顏を剃らせたがその際件の床屋は同じ官舍の土木課雇員小金丸庄造氏とは同縣の長崎であると親しく話込み

年を取つてゐるから店で使つては呉れずそれかといつて資本がないから開業することも出來ませんのでこうして流し床屋を致いてゐるのですと愚痴つた事實を小崗子署刑事が聞込み俄然緊張有力な容疑者として同人の行方を搜査中である、右につき小金丸方では語る

その床屋が犯人であるかどうかは勿論知りませんし、果して奥さん（被害者のこと）が顏を剃らせられたかどうかも知りませんが私方と同じ長崎縣といふので暫く話し込んでゐましたがその際金がないから店を出すことも出來ぬと愚痴を言つてゐました年は四十歲前後、鼻の高い眉の濃い目のパッチリとした人でした

明治神宮と多摩御陵御參拜 皇后陛下照宮樣御同伴

【東京十四日發】皇后陛下には十四日午前九時四十五分宮城御出門照宮樣御同伴にて明治神宮に御參拜後、原宿驛から東淺川に向はせられ午前十一時四十五分同驛御着多摩御陵に御參拜遊ばされ午後一時五十五分東淺川驛御發車三時五分原宿驛御着還啓あらせられた

慘劇の家 ×印が兇行の部屋

敗兵を挾擊包圍し 遂ひに發見し交戰 巨流河沿岸一帶を横行する 五千の敗兵を討伐

夕刊既報の如く十三日午前支那敗殘兵の爲め山口騎兵軍曹、藤井騎兵上等兵が戰死したので軍司令部ではこれが討伐を決意し偵察の結果巨流河の東北方沙家窩棚より北寧線に沿ふて巨流河一帶に約五千の敗殘兵横行しつゝありとの報に接して本庄關東軍司令官は支那敗殘兵の討伐命令を下した、右によつて軍部では五個大隊の兵を十三日夜皇姑屯より三個列車に分乘せしめて現場に急行さした、我軍は興隆店驛に下車して沙家窩棚東方一帶に散開して、これより先に發せる一個中隊と聯絡をとり十四日夜明けより支那敗殘兵を挾擊、包圍狀態にして前進中、午前十時ごろ約二、三百名の敗殘兵が巨流河と沙家窩棚の中間にゐるを發見し直に攻擊を開始し目下交戰中であるが我軍はこれを既に殲滅したものと思はる【奉天電話】

遼河を涉り四散

沙河窩棚を中心に決行された兵匪二百名に對する我軍の討伐は十四日午後一時まで飛行機隊と協力して繼續され包圍された兵匪は遼河に壓迫され遂に河に飛び込み淺瀨を利用して西北方に四散した、兵匪遺棄死體五、馬五頭で數頭の馬を獲得した、なほ兵匪の一團は頭に青天白日旗並に義勇軍の旗を押立て、居たところから見て彼等兵匪も官兵が指揮して居たことが明白に窺ひ知られる【奉天電話】

女四名が支那人數名の爲めに虐殺された事判明犯人は逃走した

また北寧線 襲擊さる 警乘兵を武解

十三日夜北寧線高山子附近に敗殘兵數百名現はれ第百六列車を威嚇のうへ停車せしめ警乘の護路軍五十名の武裝解除を行ひ、列車を襲擊して乘客の所持品を一物も殘らず掠奪した、なほ五十歲位の支那

出獄同盟で 支那の暴虐宣傳 日本軍に感謝する同胞

吉林、敦化の兩地の支那監獄內に不法監禁の憂目を見てゐた同胞約百五十名は今回の事變のため我軍の入城により解放された、解放された同胞はそれ〲間島方面に歸つたが出獄同盟を組織し吉林及び敦化に於ける日本軍の正々堂々たる行動、日本軍より受けた恩惠、文化的行爲を感謝すると共に支那官憲の暴虐行爲及び非文明的一般施設を中外に訴へることゝなつた【奉天電話】

齊々哈爾の 邦人全部引揚げ 支那兵各所に裝彈し 形勢俄かに急轉危險

【ハルビン特電十四日發】齊々哈爾方面の冷靜なる空氣急轉し領事館を殘し約六十名の邦人全部引揚げに決した支那兵は各所に爆彈を裝し危險極まりなし邦人五百名も引揚げた同地方今や戰鬪を待ちつゝあり

哈市西方でも 同胞虐殺さる

【ハルビン十四日發】ハルビン西方百二十七キロの地點で同胞兇

飛行機で救出 華興公司農場の邦人

大倉組華興公司農場從事員救出のため、十月十四日午前六時ガソリンを滿載し鄭家屯飛行場を離陸せる旅客機は婦女子十名（內子供四名）を救出し午前九時鄭家屯に到着した、婦女子は稍や疲勞してゐるため鄭家屯公所に休養中である、また正午到着した飛行機にて第二回避難者七名を載せ鄭家屯飛行場に到着した、なほ十名救出のため同地に向つた【鄭家屯電話】

人老婆はこれに應じなかつたので一途に慘殺された【奉天電話】

一人當り四個づゝ 慰問袋の寄贈

今回の日支衝突事件に關し派遣の軍隊並に警官に對し各方面より慰問袋の寄贈があり今なほ續々發送されつゝあるが關東軍司令部並に關東廳警務局の調査によれば七日現在まで配給された慰問袋は（慰問金も全部慰問袋に代へて）軍隊警官ともに各人當り四個でなほ戰死者の遺族弔意に對しては單に二十圓の寄贈者一名あつたのみであると

青島で邦人慘殺さる 排日會員の仕業か

【青島十三日發】市外鐘紡工場附近の酒商小林要（四七）は今朝十時頃支那人に慘殺された、排日會員の仕業らしい

裝甲車と 飛機掩護 瀋海線初發車

瀋海線は愈々十五日から開通するが瀋海驛發時刻は午前七時半と十一時半の二回で第一回は同列車の先頭に裝甲車をつけ護衛兵を便乘せしめ飛行機の掩護の下に出發することになつた【奉天電話】

人氣スター總出演

松竹日活のピカ一連が集つて秘語珍話續出！時ならぬ花を咲かす、「映畫女優大座談會」は講談俱樂部十一月號で目下素晴らしい大評判

二A對一で 立敎勝つ 對帝大一回戰

【東京十四日發】帝立第一回戰は本日午後二時三十分帝大先攻にて開始されたが結局二A對一で立敎勝つ閉戰午後四時二十五分スコアー左の如し

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
立大	1	0	0	0	0	0	0	0	1A	2A
帝大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

けふから半價提供 「改造社」の全滿文化サービス 讀者階級で大喜び

全滿讀書階級への決定的奉仕として「改造社」が滿洲書籍組合及び本社後援の下に、いよ〱本日から「全滿文化サービス」による出版圖書の半額特價賣出しを

發表 するや、各層に亘る讀書階級は一同齊しく驚異の眼を瞠り、再びこれを渴仰禮讃してその破天荒な壯擧を偉とした、殊に「改造社」は我國における最も進歩的、文化的な言論機關として織て開かれざりし秘庫を潔く開放して、その最善のサービス提供を行ふのであるから、これに

反響 して捲き起る讀書群の議論もさこそと想像される、就中同社が現日本の代表的出版界において異常の地歩を占めるに至つた圓本、全集ものゝ粹までを含む各種各樣の書籍を網羅してゐる、このサービス賣出しに際して全滿の書籍店では「改造社」の出版物を特價を以て取扱ふことは、滿洲を以て

嚆矢 とすることを深く念頭において逸早くその賣行きを豫想し、店頭に堆高く築くほど特價本を準備して顧客を待つてゐるが發表するや既に豫約購買の申込殺到してその盛況ぶりに今更の如く一驚した有樣である

謹告

十二日午後一時頃當店外部入口の天井が剝落したことに就ていろ〱なが噂が傳はりましたがほんの僅かのことで早速修理の上其の當日より何等變りなく營業は續けて居りますから皆樣御安心下さいまして何卒御來店下さいます樣お待ち申して居ります

浪速町三丁目 喫茶うさぎ 電話七九八二番

慰藉料二千圓 氷滑場の訴訟

第一審で原告の敗訴となつた大正十五年十二月四日營口旭公園スケート場に於て同地小學女生徒五名が氷中に墜落溺死した慰藉料請求に關する原告側鈴木定二、同タミ（控訴代理人澁田辯護人）被控訴側南滿洲鐵道株式會社（被控訴人代理寺島辯護人）の民事公判は十四日旅順覆審部に於て筒井裁判長

南支排日氣勢情勢 各地とも益々惡化

【上海十三日發】南支一帶の排日風潮は益々惡化し各地狀況左の如し

沙市 邦人は皆日清汽船ハルクに移り陸との交通を絕つため橋を撤去す

宜昌 領事館、居留民共日清汽船信陽丸に避難す

重慶 領事館は支那暴民の射擊を受け危險、十五日發日清汽船で領事以下は當地以西各地領事居留民等と漢口へ引揚げる

漢口 邦人工場泰安紡績は二、三日中に閉鎖の已むなきに至る反日會は餓ゑたる豺狼の如く日貨といはず支那貨といはず掠奪し昨日邦人二名民衆に毆はれ負傷す

鎭江 昨日支那學生數百名は邦人經營大井醫院を襲ひ投石破壞し軍艦梯の食料品運搬を妨害す

福州 共和大學生百五十餘名領事館を襲擊し市內には「日本人を殺せ」と書いた不穩ビラが隙間なく貼られてゐる

汕頭 日本南京を占領すとの諸言飛び形勢漸々惡化す

シエパード展覽會

大連シエパード俱樂部では來る十七日午前十時より中央公園野球場にて同俱樂部主催の下に第四回シエパード展覽會を開催することゝなつた

より原判決を取消し原告の勝訴となつて滿鐵は二千圓の慰藉料を支拂ふ事となつた

けふの日講堂

滿洲技術協會にては十五日午後四時半から滿日講堂において前鐵道省技師大谷資利氏の火災と防災器械、器具の發達と接手についての講演會及びこれに關する映寫を催す入場無料

安樂椅子

この前蛇島の學術調査隊が生捕つて來た四五十匹の蛇達は今では電園で仲よく暮してゐるが昨今すゞ風が立つたのですつかり元氣が無くなつて何をやつても食はふとしない、穴が戀しくなつたと見える。

……◇……

處でこの蛇の毒がどんなものかは學者連中を集めてゐたが誰も試しに嚙まれて見やうとは云はないので試驗のしやうがない處からこの間鼠で試して見た。

……◇……

生きた鼠をなげてやつた處いきなり嚙みついたと思つたら放した、鼠は二三度きり〱舞ひをしてぱつたり斃れてしまつた、すると斃れた鼠の心臟が異常な激しい鼓動を打ち出したと思つたらぱつたり止まつてしまつた、そして悠々見屆けてから呑み始めた、その時間がたつた十二分

……◇……

蛇取りの名人岡田トウルマン君が算盤を以てすらく〱と計算し始めたのを見れば鼠の長さ二寸で十二分なら僕の丈が五尺十二寸（六尺二寸のこと）で五時間十分、これぢやまご〱してると鱗も見られないぞ。

曙の鐘 (79)

倉田潮 作　河野想多 畫

大都會の暗黑面（九）

春木は池袋丸山の木田良子の家を訪れて行つた。

あけみが會社へ電話をかけると木田良子の居所はすぐ解つた。春木は良子に逢へばお冬のことは、さもなくばお冬のたえ子を連れてひそんでゐる家は直解るだらうと考へてゐるのだつた。

池袋で電車をおりると、もう薄暗くなつて、驛前には緣日でもあるらしく、露店がちらばらに軒を並べてゐた。

電話で聞いて來た道すじを辿つて、春木は立敎大學の前をぬけ、野中の一軒家に訪れる家を突きとめた。トタンぶきの小さな家で、表札には木田良子と云ふ名と並んで、松木靜男と記されてある。

春木が建てつけの惡い格子戸を開くと、中から良子より五つ六つも若いルバシカを着た青年が出て來て來意を問ふた。春木は格子戸のなかに佇んだまま、良子に逢ひたいと思つて來たと答へた。

「何か用事があるのですか」

その青年は疑はしげに問ひかへした。春木は慌たゞしく、言葉もしどろもどろに、

「良子さんに逢へば、お冬さんの宿所が解るだらうと思つて來たのです」

「ああ、お冬さんのことで……さうですか」と青年は初めて疑ひが解けたやうに笑つた「良子は今湯に行つてますが、直ぐ戻りますから、まあ御あがんなさい」

「いや、急いでゐますから……」

と春木は緣にこしかけて、良子の歸つて來るのを待つた。

入口の格子戸を距てゝ見る視野は何處もかしこも草原だつた。秋の虫が騷がしいほど鳴いてゐた。秋の明るい月が澄んだ空にあがつて來た。

良子は容易に歸つて來なかつた。

春木は仕方なく松木と世間話しを始めた。松木は不景氣の話しから地方の小作爭議の實狀を語り出した。千葉や埼玉の小作爭議の現狀に非常に詳しくて、或はその爭議へ實際運動に行つて來たのではないかと思はれるやうなところもあつた。

そこへ洗ひざらひの簡單服をつけた良子が、女工風の二人の若い娘と一人の職工ていの男をつれて湯から戻つて來た。彼女は初め思ひ出せない風であつたが。

「ああ、春木さんだわよ」と例のせつかちな調子で、驚きの聲をあげた「さ、何卒こちらへ、こちらへ」

「さうしてゐられないのですよ。僕はあなたの從妹のお冬さんのさきを——居所を聞き度いと思つて來たのですが」

「あゝ、あのお冬、剛太郎の妾の……。さうですか。あゝ、申遲れましたが、このルバシカが私の現在の同せい者、松木靜雄ですよ。何卒よろしく。それからこの男の方は製線爭議の時にやられた——これは秘密ですがね——大島洋太といふ私達の同志なのよ。それからこの女の方は築地の工場爭議の犧牲者の、矢張り同志なのよ。さ、おあがんなさい、春木さん」

SOW.　Kono rupashica ga watashi no genzai no Dōseisha yo.

良子が勞働運動に加はつてゐるその噂は前にも聞いたことがあつたが、

「さうしてはゐられないんです。お冬さんの居どころを……」

「あゝ、さう〱、お冬の番地は……。お冬に番地なんかありやしないわよ。お冬には母も父も兄弟もなく、從つて家もありやしないんだわ。彼の女はまだ現段階の誤つた機構を知らない女奴隷、さうだわ、奴隷だわ。あの剛太郎に肉をうつて生きてゐる恥しらずの奴隷だわ。私、あの女のことを言ふのも恥かしいわよ。春木さん、おあがんなさい」

「あがつてはゐられないのですよ」

「でも鳥渡おあがんなさいよ。私あなたにしみ〴〵と現代社會の實狀について、しみ〴〵と話して見たいと思つてゐたのですわ。もし御同感を得られるなら吾々の同志になつて頂きたいと思つてゐたんですのよ。鳥渡、鳥渡、おあがり下さいな。春木さん」

滿日臨時碁戰

二段 泉善治氏　初段 井上太市氏

●六一ヌの八　○六二リの九　●六三ニの十五　○六四への十四
●六五ホの十三　○六六ホの十二　●六七への十三　○六八への十二
●六九ホの九　○七〇ホの八　●七一トの九　○七二トの八
●七三トの十二　○七四トの十三　●七五への十四　○七六ニの十二
●七七ニの十一　○七八への十五　●七九トの十四　○八〇ホの十五

▲岩本六段講評　黑六十三、六十五の絶向は無理である（い）に飛で打たば充分の碁勢である

—【4】—

新刊紹介

▲最新植物學中卷（三好學著）曩に出版せる最新植物學の中卷である、本書は第一篇植物體に於ける力の代謝（發芽生長及器官形成、植物の運動）第二編植物の抵抗性病害及畸態（植物の抵抗及病害、植物の畸態）第三篇植物の生態（植物の生殖、植物相互並に動植物相互の關係、植物の進化）術語索引人名索引等を收錄したものである、菊判堂々八一六頁に及び天金背皮の美本である（價九圓、東京市神田區通神保町九番地富山房）

▲ソウエート評論（十月號）漁業問題特輯號、日露漁業問題の所在と彼我の態度（川上俊彦）北洋漁業を視察して（上田森治）極東ロシヤの產業五ケ年計畫と日ソ經濟關係（上田半治郎）政權擁護者としてのソウエート軍（有馬寬）價三十五錢、東京市麴町區丸の内三ノ二日露貿易通信社

▲モーター（第二一六號）價五十錢 東京市赤坂區溜池町卅二番地極東書院

▲聯珠の友（十月號）價三十錢、東京市外日暮里町金杉七七二聯珠之友社

▲代數（富山房編輯部）下卷、開方より級、對數、利息及び年金までを收めてある、自學自習受驗參考のために力を注ぎたる本書は研究事項より例題に移り特に目立つところは記述の範圍を必要の最小限度に止め、聯絡統一等である（價一圓三十錢、東京市神田區通神保町九番地富山房）

▲國民世界地理下卷（藤田元春著）本書は第五篇ヨーロッパ洲、第六篇北アメリカ洲、第七篇南アメリカ洲及び索引より成り圖版多數を揭げ記述は平明詳細、極めて興趣に富むのみならず、地理汎論について も歐米の名著を涉獵し主要なるものは至極分り易く歸納的に述べてゐるので不知不識のうちに理解記憶せしむる長所がある、さもかく以上の諸點において國民世界地理として稀に見る最新の良書である（五九五頁、東京市神田區通神保町富山房發行、定價二圓二十錢）

▲キング（十一月號）山本英輔大將縱橫談、新島讓先生を懷ふ（堀良一）老小使の見た歷代首相の官邸生活（市川太郎）北太平洋の決死隊（水村洋々）時代小說、天晴れ啞將軍（白井喬二）牢獄の花嫁（吉川英治）現代小說、心の日月（菊池寬）日夜は明くる（久米正雄）特別讀物（五篇）上杉謙信と漁夫（菊池寬）浪人天下一（中内蝶二）桐畑の怪（小林一三）番神吳風（小澤得二）長樂寺の新太郎（子母澤寬）その他特輯大附錄として「現代農家の繁榮策」青年男女の重大問題座談會等々、秋の娛樂讀物を滿載してゐる（定價五十錢、講談社發行）

▲叢誌（十月號）日蓮主義敵兵唱導雜誌（價五十錢、東京下谷鶯谷天業民報社）

▲講談俱樂部（十一月號）勸太郎月の唄は大衆作家の巨匠長谷川伸の作でこの名戲曲は蘭然面白い、都督獄、靑春淚多し、虹の歌、鐵の花嶺、清水の次郞長、滿願城、王冠等の連載續物、舞踊界の明星高田せい子が今日の名聲を博するまでの血淚物語など總てが面白い、價五十錢大日本雄辯會講談社

▲富士（十一月號）唐人お吉と攘夷郡（眞山靑果）はいよ〱最高潮に達し小林佐兵衞實傳は俄然局面轉換して俠奴さすらひの卷となり惜しい所で續きとなつてゐる、戀無情時雨しら菊（小島政二郎）は新載物、恩習櫃の改心、戰線の天使、名工柿右衞門、恩愛流轉二十年、菊花の謎等はいづれも大衆物の逸品、現代の航空時代を察してオフセット刷で現代航空界の寵兒たちを寫眞入りで懇切に說明してゐる價五十錢、同右發行

▲文藝俱樂部（十一月號）太江戶奇智變態考（夢想兵衞）エロ・グロ取交ぜ五話からなり、天保赤門黨（士師淸二）假面（佐々木俊郞）諸國捕物帳（細田六福）等の連載物は益々佳境に乘つて來た、危機一髮深夜の悲喜劇はナンセンス的な五篇を以て固め或る不良少年の告白（赤村金治郞）は子持つ親の見遁し難いところ價五十錢、東京日本橋本石町博文館

▲ナップ（十月號）スターリンの演說とラップの任務（上田進）藝術的方法についての感想（谷本淸）プロレタリア文化聯盟の結成へ（中野重治）價三十五錢、東京市外落合町上落合四六〇全日本無產者藝術團體協議會

▲新朝□（十月號）價三十錢、東京市芝區田村町十一海外研究會

▲幼年俱樂部（十一月號）幼年者にとつて唯一の友幼年俱樂部の內容は依然として豐富な物語を滿載してゐる、柴のかざり玉（橫澤千秋）赤ちやんのお寺（西條八十）雷神丸（巖谷小波）熊が降つて來た話（小島政二郎）等（價四十錢、東京市本鄕大日本雄辯會講談社）

けふの放送

大連 JQAK

十月十五日

▲午前六時三十分　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲童話「夢を賣る店」日本童話協會々員竹田幸雄
▲管絃樂獨奏三重奏「管絃樂マリタナ」（ワラッエ作）ヤマトホテル管絃樂團、ヴアイオリン獨奏「悲しき歌」（チヤイコウスキー作）岩崎寬、ピアノ三重奏「アタジオパセチツク」（ベエトーヴエン作）ピアノ佐野正策、セロスカルスキー、ヴアイオリン岩崎寬、トランペット獨奏「年の流れ」（ビーバン作）川上義彥
▲浪花節「不破數右衞門」吉川晴雲
▲筑前琵琶「高山彥九郞」法命山水島旭山
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

十月十五日午後六時三十分
▲座談會「早慶戰」泉谷祐勝、河野安通志、押川淸、櫻井彌一郞、高濱德一、島田、中野武二▲連續講談「鍋屋政談伊勢の初旅」（第三席）神田伯龍

國民政府の膝下南京で 居留邦人死に直面す
本日後邦人殺害の民衆運動に 全部引揚げを決議

【南京特電十三日發】南京在留居留民は昨夜居留民大會開催の結果、左の理由で領事館に陸海軍兩武官を除きその他全部引揚げをなす旨を決議し本日居留民代表、領事、武官の聯合協議會を開き引揚に關する一切の手續きを定める事になつた
一、中央大學生を主體とする對日觀の民衆運動は日を經るに從つて愈々露骨となり、軍警の面前において公然民衆に向つて『**十四日以後は日本人を見つけ次第殺害せよ**』と煽動するも、**國民政府當局にこれが取締の能力なく居留民の生命は國民政府の所在地においてすら白日の下極度の危險に晒されてゐる**、その他國民政府は不法にも日本人宛の一切の郵便物を沒收し居り新聞紙の如きは二個年間に亘り連續沒收し再三の官憲を通しての抗議にも反省する處なく又新聞記者に對しても各機關への出入を一切禁止する等殊に電信電話の使用を停止しその報道の任務を妨害に努め居れり其他軍警は全然保護の能力なきその事實を指摘してゐる

排日宣戰を布告し 邦人に逮捕令
信陽の官民と反日會

【漢口十三日發】河南信陽の軍隊官民學生は反日會と共同し排日宣戰を布告し居留邦人西崎俊雄氏の逮捕令を出し學生團は十一日西崎氏の宅を襲ひ氏は辛くも逃れて當地に引揚げて來た、信陽教育局は『**日本人を鏖殺せねば我等は殺さるべし**』と布告し同地に在る邦人四名の生死は憂慮されてゐる

各地在留人の意見を聽く
けふ貴院視察團第二班來連 團長の大河内子語る

貴族院議員の滿鮮支那視察團のうち大河内輝耕子爵を團長とする第二班は去る六日青島に上陸、それより濟南北平を經て

天津 經由十四日早朝入港の天潮丸にて來連した、一行は滿蒙恒久性問題につき少壯派の重きをなしてゐた土岐章子爵をはじめ元警視總監赤池濃氏前鐵道次官青木周三氏、渡邊汀男爵、中村純九郎氏、八田嘉明氏、山崎亀吉氏外同行二名にて元氣すこぶる旺盛で一行を代表し大河内團長は語る

六日に青島につきそれより濟南北平、天津と廻つて來たもので此の旅行は事變の勃發以前より計畫されてゐたもので偶々支那滿洲へ歩くのに最も好い

機會に 遭遇したのだ、二班に分けたのは別に意味のある譯でなく餘り大人數になるのを避けた爲である、今度は視察と云ふよりむしろこの機會にその土地々々に在留邦人の意見を出來得る限り聞いたが、非常に好い參考になつた、幸ひ支那側官憲の彈壓が徹底したものか私達の歩いた方面は目に餘る樣な排日も無かつたが、在留邦人はよく辛抱してゐてくれる、支那側の宣傳上手には些か日本側でも常に機先を制せられ勝だが、正々堂々と肚をしめてゆつくりやつた方が結果は勝利だ、何にあんな嫉妬的な

惡宣傳 が何時までも信じられるものか、聞くところによると外交畑と軍部の意見が一致してゐない樣な事が云はれてゐるがそれは一部の宣傳であつて實際は一定した方針のもとに國際信義に基き輿論の赴くまゝにやつてゐるのだから安心して政府に任せられると思ふ、要するに國民は一致して支那側に妙な口實を與へる事の無い樣にやつて貰ひたい、聯立内閣說初耳?だいづれにしても國民の輿論がさうであつたら例へ聯立であらうが

民政で あらうが政友だらうが決して間違ひは起きないと信じる、上陸してからは直ちに星ケ浦ヤマトホテルに小憩、豫定のプログラム通り廻る氣だ、聞けば十七日には勇士の遺骨が送られるそうだが是非見送りたいものだ

鐵道問題を充分調査
青木周三氏談

前鐵道次官青木周三氏は語る
自分は純然たる鐵道畑のもので政治の話は拔きにしたい、今度一緒になつたのは滿蒙問題中最も重要なのは滿鐵問題であると云ふ關係からその調査のために

支那側の激烈な宣傳に驚く
赤池濃氏談

元警視總監赤池濃氏は語る
聯立内閣說は贊成だ、重大な時機の時は擧國一致對外的に當らねば駄目だ、その意味で輿論がもしそうなればそして輿論がそう支持するなれば當然そうした歩み方をするのが眞實だ、ズツと歩いて見ての感想は表面は實に平靜の樣だが内部的には大きな爆彈を抱いてゐる樣な氣がした、これから先の形勢の變化は注意すべきものと考へる、到るところで排日ポスターを見このポスターに示された激烈な宣傳言句に啞然としたものだ、支那の形勢を少しでも早く知りたいと思つて青島に上陸山東各地の邦人の意見をいかんなく聞けたが要するに支那側は民衆の事件を起す事をおそれてゐるが支那側でも北平の市長の如き雙十節には我々を招じ意見の交換を行つた程眞劍に考へてゐる人もゐる

來たものだ、滿洲の鐵道に對しては新聞や報告なぞでその重要性を知つてゐるがこうやつて調査に來たのは初めてだ、要するに自分の專門の方の研究が主になつてゐる鐵道諸問題の解決には全く好機だと思ふこの機會を逃がしては駄目だ

支那側の錯覺から
土岐章子談

滿鐵幹部の恒久性につき堂々の論を吐いた土岐章子は理解ある態度で語る
自分は一行とは違つた意味で今迄の自分の考へてゐた支那を土臺として出來るだけ調査して來た、濟南では韓復榘氏にも會つたし、北平では湯爾和氏にも面會した、そしてこちらの

意見も 述べ支那側の意見も聞いたのだが、要するに支那側は今迄通りの定石的な見方で日本に對抗してゐるらしい、換言すれば日本に對する錯覺がまだコビリついて離れないのだ、定石通りの方針で今度は日本側がその手に乘らなかつたものでその點にまだ支那は氣がついてゐないやうで、今度の事變なぞは全く國際公法當然の處置で錦州問題を問題にする方がその無智を暴露してゐるやうなもので日本側は全く正々堂々國際公法に基いてやつてゐるので、この點に關して新聞その他

輿論を 代表するものは強調して貰ひたい、聯立内閣說を今聞いたがこれは自分達は以前から考へてゐたものでこうなれば政黨政派を超越して國民は一體になつて外に打つからねばならぬものぢやなからうか、何んな内閣でもよろしい輿論を背景にしたものでないと駄目だ、それに内地の人は餘りに滿洲を知らなさすぎる、滿蒙における我が權益の根幹をなしてゐる滿鐵に對しても政變每に首腦者が變るので眞實に滿洲を知つてゐる人は少いその意味で自分は滿鐵幹部の

恒久性 を叫けんだのだ、國際聯盟がしきりに口を出すやうだがこれなぞは全く支那側の例の惡宣傳が利いてゐるものだがこちらで正々堂々とやつたら決して間違ひはないと信ずる

傅氏大連引揚げ
上海財界の巨頭歸滬

さきに上海商務總會長として且招商局汽船會社長その他上海財界に重きをなす傅宗耀氏は數年來一家をあげて來連星ケ浦に靜かな日を送つてゐたが今回支那要路の人々の懇請もだし難く一と先づ上海に歸る事となり十四日出帆長春丸にて夫人をはじめ一行十六名を引具して出發した、氏はサロンにて語る

大連に來てもう四年半になります、その間時折天津に出掛けたりしてゐますから今更珍らしい顏でもありません、蔣介石氏から歸還命令が出て歸るんかと仰言るのですか、違ひます、全く最近自分の身體の調子が惡いので靜養に歸るのでそれに何時までもこちらにゐると色々支障を來す事もありますからまあ一ケ月もしたらまた歸つて來るつもりで、取敢す留守居を殘して引揚げます、蔣介石一派の南京政府を浙江財閥が見切りをつけたなんて說もありますが自分は全然知りません從つて浙江、南京政府を見捨て、廣東政府との間に手を握るなんて事も全然知りません、自分が歸つたとしても蔣介石氏には會ひません無論私のやうな一商人に蔣氏が面會するやうな事もないでせう、抗日會の連中は親日派のものを可なり迫害してゐるさうですが、その事についても自分には何と云つてよいか意見はありません【寫眞はけふ上海へ歸つた傅氏】

軍司令官北行

本庄軍司令官は長春方面における我が軍隊慰問のため十四日午前七時發列車にて北行した【奉天電話】

遼河左岸で奪戰し 我兵二名戰死
敗殘兵六百名を擊退

十三日宮崎騎兵小隊は隊長以下十七名遼河左岸を行進中午前九時三十分紅荷崗子附近で**約六百名の敗殘兵に遭遇し射擊を受けたので**直にこれを擊退すべく交戰約一時間半敵は八名を斃し負傷者約四五十名を出したので敵は負傷者を收容しつゝ死體を棄て東北方に遁走した、この交戰において**山口騎兵軍曹、藤井上等兵は戰死し**午後六時十分奉天へ送還し衞戍病院へ收容した【奉天電話】

奉天で便衣隊狙擊

鈴木二等主計は皇姑屯操縱所附近において十三日夜三名の便衣隊に狙擊され膝に貫通銃創を受け衞戍病院に收容された【奉天電話】

各地に兵匪横行
危險な遼河沿岸一帶

敗殘兵は馬賊と連絡し各地に出沒横行しつゝあるが、十三日通江口北方約六七里の地點に兵匪約一千名と三民軍の腕章をつけてゐる義勇軍とが通江口にめがけて殺到しつゝあり、また滿洲子東北方鄭家屯附近に約一千名の兵匪現はれ目下抗日といふ旗を押し立て遼中縣を攻擊すると稱して進行中である、營口北方八河子附近にも九少を頭目とする馬賊と官兵と合同した約八百名の賊團がいたるところに掠奪を行ひなほ同地の商務會に對し三萬元を持參せよと強迫した【奉天電話】

は何時支那暴兵暴民の襲擊を受けるかも知れずと我守備隊兵營内に避難收容方願ひ出でた、目下同地には日本軍百三十名がゐる

山海關邦人は 避難願出

【天津十三日發】山海關居留邦人

母國の輿論を 大いに喚起
内地主要都市を遊說して けふ青聯代表歸る

母國の國論統一のため去る九月二十八日出帆のばいかる丸で第二回母國訪問遊說の途に上つた滿洲青年聯盟代表一行十五名は、内地各地に於て愛國の熱誠を繰び、十四日入港のうらる丸で無事歸連したが、埠頭には聯盟幹部始め多數官民出迎へ、手にく旭日の聯盟旗を振りかざして壯圖の成功を祝した一行は埠頭上陸と同時に萬歲を三唱し、直に大連神社、忠靈塔に參拜したが、團長格の岡田猛馬氏は語る

去る九月二十八日出發以來、我々一行は殆んど母國の全主要都市を訪問して遊說し、又各種團の代表者に主張を傳へ國論統一のために出來得る限りの努力を續けて來ましたが、この間に於ける我々の論點は聯盟としての主義主張を述べると云ふことよりも今回の日支事變を中心として、今後の對策を如何にすべきか、そしてこの點に就て日本國民は如何なる覺悟を要するか、同時に在滿邦人は如何に深刻に此の點を考へてゐるか、と云ふ點に論旨を置き、各班歩調を揃へて内地の同胞に叫びかけて來ました、我々は貧しい努力ではありますが、決して無駄でなかつたことを確信してゐます、政界始め一般大衆は勿論、大阪の實業界にまでも相當根強い輿論を喚起して來たつもりです、左傾團體の如きも殆んど現在では影を潜めてゐるやうに思はれ、我々が使命を果す上に何等障害もありませんでした、殊に壇上における伊藤氏の卒倒、美阪氏の割腹は在滿邦人の悲壯なる愛國思想の現はれとして非常なショックを與へました、なほ今回の遊說に於て痛感したことは今後の日本には在鄕軍人の團結が非常な努力として現はれて來るであらうと云ふことでした【寫眞は歸連した青聯代表一行】

元氣で歸つた青聯代表

虐殺同胞の追悼會
相愛會主催で

【東京特電十四日發】滿蒙に移住せる二百萬の同胞が最近支那官民の壓迫を受け多數虐殺されたに對し大日本相愛會では全國支部に檄を飛ばし代表者を上京せしめ來る十五日芝增上寺に虐殺同胞追悼會を行ふ事となつた

印度經由で バ孃訪日
獨女流飛行家

【東京十四日發】ドイツ女流飛行家エリ・バインホルン孃は本月中旬ドイツ發印度經由日本に飛來するに就き十三日航空許可を航空局に願ひ出た、航空局では近くコース指定の上許可する筈である

けふエ孃離京

【東京特電十四日發】獨逸の女鳥人エッツドルフ孃は本日午前十時二十四分羽田國際飛行場を出發し大阪に向つた、同地に暫く滯在、同地方の秋色を賞し上海印度經由歸國の途に就く筈である

エ孃飛來延期 獨逸女流飛行家エッツドルフ孃は既報の如く十四日新義州を經て天津へ行く豫定であつたが、二十三日大阪發二十四、五日頃關東州沿岸を經て天津に行くことに變更された

東京地方 大暴風雨
家屋浸水倒潰

【東京十四日發】十三日は早曉から内地一帶に亘り大暴風雨襲來し東京地方は午後九時頃から十四日午前二時頃まで最も猛威を逞しうし市内外の河川氾濫し市内外に亘り浸水家屋約六萬戶を出した外地盤濱潰所各所に起り家屋の倒潰事故數件死者數名を出した、なほ東京を中心とする省線私鐵の列車電車も一時運轉不能となつた

岡内校長ら取調べ
校舍崩壞事件

池内檢察官は十四日午前八時半羽衣高女、大連語學校長岡内半藏氏を檢察局に招致し、正午迄約三時間に亘つて取調を行つたが、取調の内容は羽衣高女燒失當時より新校舍の崩壞に至るまでの經過を詳細に聽取したもので、同校々舍燒失により保險會社より受領して保險金の支途より校舍新築に至る經路、殊に今井組に指名請負を爲さしめた點、その契約内容、工事仕樣書の内容等、今回の事件の核心に觸れた問題と見られてゐるが、池内檢察官は午後一時から再び岡内校長及び關係者を檢察局に招致し取調を開始した

發掘作業終る
職業別遭難者

大連羽衣女學校崩壞現場の發掘作業は十三日午後二時過ぎ終了したが、所轄小崗子署にてこの崩壞によつて重傷及び死亡したもの、職業別その他調査をなしたところによると左の通りである

重傷者　大工五名▲苦力一名▲左官四名▲鳶二名

死亡者　鳶職市内伏見町一八七張惠水(二五)外二名▲人夫北崗子一六王世壽(一七)外二名▲左官職市内近江町田文煥(三三)外七名▲塗工市内得勝街六九謝鴻雲(二九)外一名▲煖房工市内王陽街四〇二謝守田(三五)外一名▲大工職市内雲井町李善美(四〇)外一名

山東から逆戻り
大連がよい

日支事變以來小崗子方面居住の支那人は大擧して郷里山東に引揚げつゝあるとのことで小崗子署では去る十九日より本月八日までの間における管内居住民の輸出移動について調査したところによると日支人合せて輸入千四百八十名に對して輸出千五百四十九名で差引六十九名の輸出が多かつたのみで事變の影響によつて移動した者は殆ど無かつたところへ、去る九日以來の流言蜚語に脅かされて同日以來約五十戶二百五十名が山東に引揚げたがその内の三名が昨夕再び山東より引返して來たが彼等の語るところによると山東に歸つても職業はなく匪賊が横行して危險この上もなく安住することは出來ず治安が完全して職業がある大連の方が良く先に歸つた二百五十名の連中もボツ〳〵歸つて來るだらうと

慰靈祭と滿鐵

獨立守備隊第一大隊及鐵嶺第五大隊兵四十名の戰歿者遺骨は十五日午後八時大連驛着、十六日午前十時うらる丸にて歸還するにつき滿鐵からは十六日午前八時から各理事、次長埠頭構内慰靈祭に參拜する、その他一般社員も同時刻まで自由參拜すると

美坂代表慰問

金井青年聯盟理事長代理中西顧問

語學檢定試驗

九月九日施行された滿鐵の第十回語學檢定、俄試驗合格者(露語及び華語の分)左の通り決定した
華語特等二十二名、一等六十九名、二等百五十六名、三等四百五十九名、四等二百三十四名▲露語特等三名、一等十二名、二等十八名、三等、五十七名

三十里堡で電話の交換開始

三十里堡附近は林檎で有名な三十里堡附近は果樹園の完備と共に最近著るしき發展を示し現在設備の電話取扱所なるに郵便取扱所のみでは廟取引上ここに不便なので同地在住民から遞信局に對し電話交換業務の開始を請願中であつたが遞信局ではこれを諒とし差向き來る十月二十一日より普蘭店郵便局の出張所を同地に設置し郵便および電話業務を取扱はしむ事となつた、これによつて同地の電話加入者は十名以上に達する見込みである

中等校職員の庭球リーグ戰

山本運動具店では本社後援の下に來る十八日午前九時より滿鐵テニスコートに於て大連各地に居る全大連中等學校職員の對校式庭球リーグ戰を擧行することゝなつた、出場數は一校五組で試合方法はポイントゲームである

金具取付中に惡店員の盜み

市内櫻町四四番地三井物產社員川宮次氏方では去る十一日午前時ごろ二階の机下に置いたオペバツクの中から現金百十圓紛失してゐるので大連署に屆出た、その結果紛失時刻ごろ市内伊勢町川方のカーテンの金具取付中の商店員前料一犯奥村一雄(二)が隙を見て竊取し飲食はぬ顏で歸り寢臺の下に隱匿してゐたことが發覺、奥村は十四日午前大連署澁藤刑事に逮捕された

哀れな一家へ

十三日午後三時ごろ十七、八歲の學生風の男が市内濱町伊藤黑店へ曩に本紙に既報した市内西街支那宿徳順棧へ止宿中の哀れな一家有馬滿高方へ子供用のネル着物を注文し配達を依頼したので同吳服店でも更にネル二丈を添て十四日小崗子署を通じて寄贈して來た

小兒保險好績

滿洲内各局に於ける小兒保險の成績は日一日と良好に向ひ十月一日より十日まで(實際取扱ひは九日を除き九日間)の累計二千四百二十五口に達したと

商業學院開校式

大連基督教青年會經營の大連商業學院は關東廳の認可を得たので十四日午後七時より同會館に於て開校式を行ふと

訂正 十四日付夕刊記載うち奥秦店員脫落の記事中、賀々美築事務所請負工事とあるは川口の誤につき訂正

天氣豫報

十五日

北西の風(晴)

各地溫度

	十四日午前十一時	最高
大連	一八、八	二一、[illegible]
旅順	一九、六	二〇、[illegible]
營口	一九、四	二〇、[illegible]
奉天	一五、七	二一、[illegible]
長春	一二、〇	二〇、[illegible]

滿潮（午前零時五分　午後零時二十五分）
干潮（午前六時三十五分　午後六時二十分）

けふの小洋相場 金百圓は二二三四圓三五錢

暗流阿修羅

生田蝶介 作
挿畫 藤井耕遶

月夜の夢（七）

「どうも彼奴に相違ない」

どういふものか意次はすぐさう思つた。

腹臣の出口杢太夫を呼んで、高田山の黄檗寮を探らした。そして佐々木周太郎も探して連れて來るやうに命じた。

意次はひどく怒つてゐた。そして、ひどく寂しかつた。じりじりと胸が焦げるやうないらいらした氣もちになつてゐた。目の前がまつ暗になるやうな氣がした。

が、杢太夫にいひつけた時は、案外平氣な顔をしてゐた。

杢太夫は、しかし、何もかも、大よそのみ込んでゐた。

意次は柳營にゐても一日むつつりしてゐた。氣もちが沈んで、時々目鏡が曇つた。何も手につかなかつた。

何時になく、ぼんやり考へ込んでゐたりした。

（それとも、逃げて行つたのだらうか）

どうも新左衛門がさらつて行つたやうに思はれるけれど。

（年はとりたくないものだ）

何にしても心ぼそいおもひがあとからあとから、意次をさびしがらせた。

此頃に、このやうに思ひなしたことはなかつた。

天下のこと何一つ、わが意のまゝだ、さまで心が碎く、彈つてゐた意次とは、このことあつてからは思はれないほど衰へてゐた。

その夜さ、その翌日さ、杢太夫からは何の消息がなかつた。

さ、竹代丸が、その夕方から、何となく元氣がなく、床につかれた。

「このやうなご氣分でござるか」

意次は退出しかけてゐたが、大奥のお居間にこの若君を見舞つた。お佐意も、お紅も、お貞も、皆お枕頭に見舞つてゐた。

意次が、かう云つて腰をさげて…あげた時、お紅は、ちらさ彼の…を見た。何か瞳が云つてゐた。

「ついいましがたまで、御元氣で…お馬遊びに餘念無うおいでとござ…いましたが」

お貞の方が云つた。

「うむ」

…老人は、頷いて、また、…

こどみになつて竹代丸の顔をのぞいた。

竹代丸は、當年七歳、さすがは氣品のあるお顔立。

もさく白いお顔が、蒼ざめてじつと目をつぶつてゐる。腰元が代る代る、白布を水に濕してはその額にのせてゐる。

「うゝむ」

波のやうな呼吸で、時々、かすかに唸つてゐる容子である。

意次は手をのばして胸さ、腋の下を觸れて見た。腋の下にはじつとり汗が熱かつた。

「これは、ひどいお熱だ。醫者は誰を召された」

「不井殿がお詰めでございます」

「お徳殿か」

「はい」

「おゝ、其所においでか」

屏風のかげで、お徳は調劑中であつた。

「お見立ては如何でござる」

「暑氣にお中りになつたのでございます」

「お、どうやら、上なつかはれる御容子でござる」

腰元共は、早速塗り盥を用意した。

「お、それは」

お徳は、枕頭に走りよつて、若君のお背中をさすりながら、御容子を見てゐた。

若君は、重湯のやうな黄味をふくんだ液をがつさ吐いた。

キネマと演藝

松竹キネマ上半期六分配當

昭和六年度上半期決算に對する松竹キネマ重役會は八日午前松竹本社に於て開催され同期利益金處分…利益金は四十八萬五千餘圓で從來の例にならへば優に七分以上の配當を可能ならしめる譯であるが、會社の内容を充實すると同時に來期に於ける邦畫トーキー製作に繼續のために從來十五萬圓の消却金を今回は特に廿萬圓としてこれを固定消却金として控除して六分の配當をなすことに決定したこの利益金は約一割一分に相當し前期の一割二分四厘に比して一分四厘の減少であるが現今の不況時に際しては相當の成績をあげたものと言はねばならない

いよいよ今夜限

本社主催の『嗚呼中村大尉』

盛況好評裡に二日間日延べした大日活における本社主催の「嗚呼中村大尉」はいよいよ今夜限りであるから見落しのないやうに本紙刷込み優待券を利用してこの滿洲事變映畫を觀覽されたい

沿線各地の上映日割

旅順を振出し

本社主催で去る八日から大日活に上映、連日盛況を呈し好評を博した新興キネマ現代劇特作品中野英治主演「嗚呼中村大尉」は今夜を以て終るが、同映畫は引續き十六日まで晝間三日間學生デーに上映し、十六日夜から十八日晝間まで旅順昭和園にて上映し、廿日から廿六日まで奉天の奉天館にて公開、更に撫順、長春、四平街、鞍山をはじめ沿線各主要都市に上映することに決定した

蜂の話

大日活は十五六日を期興行をして十七日から問題のイデオロギー映畫「彼女をこのまゝ殺してよいのか」を上映▲また常盤座でも上映權問題で有名になつたワーナーの「特急黒ダイヤ」を今日から上映▲同時に後篇が期待された「しかも彼等は行く」を三十錢の大衆興行で續映する▲滿蒙館が向ひの中央館より非常口が一つ多いから、そこに借家を建てたいと、保安係へ正式に申込んださうか▲また小競合が始まつたらしいが、事實さすれば非常口で慘々いぢめられた大日活だつて文句があらうし、表面化すれば相當五月蠅い問題になるだらうと見られてゐる

しかも彼等は行く

下村千秋原作、溝口健二監督、梅村蓉子主演の日活現代劇文藝特作品篇後で、女主人公篤子が上京後の受難を描き出してゐる【常盤座上映中】

夜目遠目

大連の藝妓の出入を禁止された快樂のダンスホール、その後もいらぬ御世介されて靴のまゝホールに上げては登樓客と見なせぬさか雨羅の角をつゝかれて、ダンス客は靴を脱いであがつて、またホー…で依然物凄く繁昌してゐる

それを白眼視し作らホールが作りたくて堪らぬ連中が大分あるらしい、大連も女給場のホールを待ち兼ねて作りたいし、作れば他の連中から白眼視されそうだと尻込みしてゐる筋もある

また西檢のダンス熱も相變らずで…トップを切つて…

ペーブメント

エロ女給がランデブウ失敗の一寸時代めいた噂がまことしやかに傳はつてゐる、場所は西公園町の某旅館で、奉天から來た宿泊人が夜の徒然にカフエーに出かけて連れて歸つたエロ女給とランデブーの最中、飛込んで來たエロ女給の亭主、現場を押さへて、女房の女給を丸裸にして縛り上げ、その前でチビリチビリと一杯やり出したさいふのである、いさゝか講談めいた濡れ場の變態的描寫で眉つばものではあるが、まだ揉めてゐるから現場を見に行かうと誘はれた人があるといふから滿更嘘でもなささうである、エロ女給に引掛かつて亭主が飛び出して來たとは凡そイットのない話ではあるが、果して獨身の女給がどれだけゐるか、バレたら最後亭主乘込みはこの頃の女給身邊風景である、イットなしで女給を可愛がつたところ、亭主の就職口を依頼されたといふ話はよく聞くところだ

(大正八年十二月十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

昭和六年十月十五日　滿洲日報　(木曜日)　第九千百四十七號　(一)

發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 木村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

干渉は斷乎拒否
首相、外相閣議で言明
重臣會議開催說否定

【東京特電十三日發】十三日閣議席上滿洲問題に就き聯盟及び米國その他第三國が干渉的容喙をなした場合如何なる態度を執るかとの質問に幣原外相は萬一他國が干渉がましき行動に出づることがあれば政府は斷乎としてこれを拒否する決心だと述べ、若槻首相も同樣強硬な態度を示した、また若槻首相が重臣を訪問して滿洲事變を中心とする現下の重大政局につき種々說明諒解を求めたのは難局打開のための重臣會議開催の豫備行動と見做す者あるが首相今回の行動は決して重臣會議の豫備行動ではなく政局擔當者としてこの未曾有の重大難局に直面し單に國家の重臣に報告諒解を求めたに過ぎないと云ふことに意見一致し重臣會議開催說を否定した

山海關迄の地帶は我滿鐵附屬地外側
陸相等の意見一致

【東京十三日發】南陸相は十三日の閣議終了後參謀本部に金谷總長を訪問閣議の經過其の他を報告したる後錦州山海關方面における情勢につき懇談を遂げ山海關迄は滿鐵附屬地外側に屬し鐵道守備上必要と認むる場合は直ちに軍事偵察をなし今回の如き偵察用飛行機に敵對行爲を執る場合は自衞上これと應戰するも已むを得ぬと認める又山海關以西においても日本軍居留民等に暴虐を加ふる場合は適宜の處置を執るに意見一致し其の旨直に北支駐屯軍司令官香椎少將宛訓電を發した

擧國一致內閣一蹴
民政黨總務會の意嚮

【東京特電十三日發】若槻首相は重臣方面を歷訪し滿洲事變の眞相を說明し諒解を得つゝあるが之を中心として民政黨は十三日午後二時三十分本部に總務會を開き賴母木總務以下出席各員より

一、首相の重臣歷訪內容

二、擧國一致內閣說に對する政府首腦部及び黨幹部の意見如何

を質問賴母木總務より

一、首相は滿洲事變を重大視しこの經過を重臣、政黨總裁、貴族院議長に說明諒解を求めた以外意味はない

二、擧國一致內閣說は國民多數の信賴をうけ居る現內閣が執らざるところである

と擧國一致內閣の無意味なるを述べ午後四時三十分散會した尙地方黨員にも右の旨を通知不安一掃に努め一致して現內閣を支持することゝなつた

日本軍の撤退前は交渉には應ぜぬ
國民政府聲明書發表

【南京十三日發】國民政府は日支現下の時局に關し十三日聲明書を發表した其の內容は直接交渉の要求を否定し日本軍が撤退して九月十八日前の狀態に復舊せぬ限り支那政府は如何なる交渉にも應ぜぬと主張してゐる內容左の如し

日本軍の撤退延期、錦州爆擊事件は總て國際聯盟に對する挑戰である、日本は直接交渉に依り支那を屈服せしめ滿洲に於ける自己團體の勢力下で作られたる地方官憲と勝手に解決を圖らんとする

滿洲事變に關し中外に聲明す (四)
滿鐵社員會發表

五、森林事業壓迫

支那は森林法其他に依つて吉林を外人に擲下ぐること、森林を擔保として借款することを禁止し、以て日本人が條約によりて得たる森林事業に從事するの權利を實際に封じた、其爲め我が數個の會社は其事業を中止せざるべからざるに至り、辛うじて存立するものと雖も官憲の妨害、不當課税等の爲め經營困難に陷つてゐる

六、鮮農壓迫

日本の滿洲經營以來、禍亂を避けて渡來する支那人の多きは別項記載の如くであるが、同時に朝鮮人は國境を越えて主として北滿各地に移住し來り、支那人が捨てゝ顧みざりし沼澤地荒蕪地の開墾に從事した、由來北方支那人は水田を作る術を知らぬ、北滿一千萬町歩の水田は悉く鮮人努力の結果である支那人は鮮人が開墾に從事しつゝある間只その努力を傍觀し、美田拓けて漸く收穫を見るに至るや忽ち壓迫し搾取し沒收する、慘狀見るに堪へざるものあり彼の如きの

横暴非道天人倶に宥さざる處であり、現に對支交渉の主要事項の一をなすものである

七、鑛業壓迫

撫順に於ける石炭採掘權は日本が露國より引繼ぎ爾來八千萬圓の資本と近代技術の粹とを盡して努力經營し來り、在滿各國人の生活に工業にあらゆる福祉を齎したものである、而してその輸出税は協定によつて明示されてあるに拘らず支那は一方的に之が二倍半の增額を行ひ、又日本の技術者の心血を灑ぎたる研究の結果たるオイルセール事業の奪還をさへ企てた、これ他人の辛々辛苦の果實を手を濡らさずして横奪せんとする支那の常套手段の一である、其他滿鐵沿線に於ける鑛山經營を日支合辦と

すべきことは日支協約の定むる所であるが、奉天省政府は省內鑛業悉く支那官民合同經營とするの布告を發し、且從來の合辦經營に對しては壓迫、條約に規定せる未着手の鑛業に對しては不許可を以て臨みつゝある

八、以上の條約違反に對して日本が抗議をなすや支那は或は之を無視し、或は官許の排日貨を以て之を牽制し、未だ曾て之を解決せんとするの誠意を示したことがない斯くて奉天總領事館に山積する諸懸案三百餘件は徒らに支那官民の侮日的態度を助長するとにのみ役立つた、支那に「百年黃河の清むを待つ」とて不可能に期待をかける迂愚を諷する諺があるが日本が平和的に諸懸案の解決をなさんとするは畢竟共れに類するものなる

支那の排日は何故に斯く狂暴を極むるか

凡そ近時の支那官民の常軌を逸したる言動の如きは文明國間に於て又友好國間に於て許容さるべきものとは斷じて考へ得ざる處、支那が何故に我國に對して斯の如き暴戾無慚なる挑戰的態度に出でたるか、吾人の解するに苦む處である思ふに歐洲大戰以來日本の國際的地步艱難なるものあり、日支間の問題に對する列國の輿論動もすれば公正を缺ぎ、國際會議に於て日本が支那の主張の前に讓歩せしめられたる一再にして止まらざる、之れ支那の以て乘ずべしとなしたる所にして弊を夫にもて日本の機

略を叫び、外に對しては同情すべき被壓迫者の役割を演じ、內に於ては日本の犧牲に於て民衆の排外感情を鼓舞し、斯くてその注意を外に向けて軍閥政權の專制政治に對する國民の批判を回避し且は反對勢力を牽制したるもの、之が蔣張兩軍閥の合作にかゝる苦肉の陰謀なることは火を睹るよりも瞭かである、而して所謂革命政權確立の成功と、支那に對する列國協調の破綻とが彼等をして愈々增長せしめ、日本に對する正當なる判斷を滿蒙に對する正しき認識を失はしめ、終に狂暴言語に絕するに至らしめた、此の狂暴は支那軍閥の眼の前から日本が消え失せぬ限り止まぬかに見える、それと同時に何人が第二の日本の役割を演ずるであらうかを世界は考へねばならぬ

直接交渉無くして撤兵は出來ぬ
芳澤日本代表が强調

【東京特電十四日發】ジユネーヴ來電、芳澤大使は聯盟緊急理事會において居留民保護の必要を力說した後、單に一片の空論を以て紛糾せる本問題を解決する事は出來ぬ、宜しく事態の實情に鑑み過去の經驗を基礎として實際的解決を與へることこそ聯盟の使命である、と日本の立場を堂々と闡明し一般に多大の感興を與へた、理事會で斯くの如く一國の痛切な利害及び國策を遠慮なく吐露したのは之を以て嚆矢とする、支那代表施肇基氏の結論は外國軍が領土を占領してゐる間は直接交渉は到底不可能であるからこそ支那政府は總てを聯盟に委せたのであるといふにあつたが我芳澤大使は之に答へて直接交渉なくして軍隊の撤退を行ふは不可能である先づ交渉の基礎を作る第一歩の相談、即ち事變に關する總ての點に就ての交渉でなくて取敢ず撤兵を可能ならしむる豫備交渉だけでも是非必要であると應酬した

さしてゐる、日本は既得權益確保の保證、排日運動の即時停止を要求してゐるが支那政府の態度は國際聯盟規約侵略行爲に對する制裁條項の適用を理事會に要求するに變りない、支那政府は日本軍の即時完全なる撤退、張學良軍の奉天歸還を絕對的先決條件とし責任は一切日本側に於て負ひ損害額を決定して賠償を要求す、平和を愛好する支那政府は再三聲明せる如く聯盟規約に依り解決せんとす、今や和平解決は本日の理事會に於ける日本の態度如何に掛つてゐる、若し日本軍が滿洲に於ける事態を九月十八日前に復舊せざる限り如何なる解決案も斷じてこれを考慮せざることを玆に聲明す

戰爭行爲に出でぬ公式保障を要求
聯盟の處理方式案

【東京特電十三日發】ジユネーヴ發電によれば正午よりの聯盟理事會に先だち滿洲事變を討議すべき英、獨、佛、伊、西班牙五國特別委員會は本日午前十時開會され佛外相ブリアン氏の提案に成る日支問題處理の方式案を審議中だがその內容は左の如きものと解される

聯盟理事會は日本政府に今後滿洲において何等の戰爭行爲を起さゞる旨の公式保障を求む

首相、犬養總裁會見內容

【東京十三日發】今朝の若槻首相と犬養政友會總裁の會見に於て左の重要な意見交換が行はれた

犬養總裁　交渉の相手如何

若槻首相　原則として中央政府を相手方とする方針であるが問題如何に依つては地方勢力を相手とすることもある

總裁　本問題の結末をどうつけるつもりか

首相　治安維持の見込みが附けば撤兵するつもりである、而してこの際滿蒙問題の根本的解決をなす考へである

相は閣議散會後若槻首相と會見滿洲警備並に長江沿岸の海軍行動を報告對策を協議した

大綱協定せぬ限り斷じて撤兵しない
貴院招待會で若槻首相言明

【東京十日發】若槻首相は十四日午前十時首相官邸に貴族院各派交涉會員を招待し若槻首相より滿洲事變發生以來の經過、對國際聯盟對米關係等の照會往復內容、政府の態度等につき說明し對外關係、金州事件の眞相、支那各地の排日貨狀況等につき出席者と若槻首相との間に質疑應答あり正午散會したが、若槻首相は挨拶において撤兵時期の問題につき國民政府は接收委員を任命して速かに我撤兵を要求してゐるが無條件撤兵は再び九月十八日の狀況に復せしむるに過ぎぬから日支間に大綱だけでも決定出來ぬ限り無條件撤兵は斷じてせぬ方針であると述べた

樞府本會議

【東京十三日發】樞府定例本會議は十四日午前十時天皇陛下の親臨を仰いで開會

一、日本、トルコ國間通商航海條約批准の件

を滿場一致可決し十時四十分陛下入御後幣原外相、南陸相は顧問官の質問に就き滿洲事變その後の情勢を報告回答した

陸海兩相協議

【東京十三日發】南陸相、安保海

余は下野などせぬ
張學良氏外人記者に語る

【北平十三日發】張學良氏は昨日外人記者團との會見に於て左の如く語つた

余の下野說は誤傳で現下危急の際不可能のことである、余は國際聯盟に委ねて正義の勝利を期待してゐる、滿洲の獨立運動は日本が思ふ儘になる政府を樹立せんために教唆してゐるもので省民の意志でない、開原地方で鮮人が虐殺されたとの說は知らぬが事實とせば其の責任は占領者たる日本側にある

聯盟に支那國情を實地調査せしめよ
政府部內に意見有力

【東京十四日發】國際聯盟理事會再開後の空氣は支那側の誇張された宣傳が日支關係の特殊性に暗い聯盟をしてその面目上からしても何等の容喙的行動に出づる惧れ絕無といへないので、最近政府部內に聯盟當局をして錯誤に陷らしめざるやう積極的提案をなしては如何との議が起り幣原外相の考慮を求むるに至つた、即ち聯盟をして支那を解せしむるため聯盟に支那國狀調査委員の派遣を求め滿洲の實狀のみならず支那本部における內政の實狀殊に支那が近年々中行事的に國內戰爭を行ひ國際間の戰爭以上の慘劇を繰返すと共にその飛沫は在支列國民に及び列國民の生命財產及び既得權益を蹂躪しつゝある事實の調査を求めしめんとするもので聯盟においては右提案も已むを得ずと認められてゐる

總兵數七個師

北寧線遼河、山海關間の支那軍の兵力は第八、第九、第十二、第十九、第二十の步兵五個旅、砲兵

騎兵各一旅、海防練軍二個營で總兵數七ケ師團に相當する【奉天電話】

莫大なる科學兵器を發見

事件突發直後我が軍は直に支那側奉天の重要軍器格納庫を差押へ調査を行つた結果、北大營北側にある倉庫內に莫大なる科學兵器を發見した、その主なるものは左の如くである

リベリツト(毒瓦斯彈)四十五瓦乃至百五十瓦入り八本、催淚性四十本、空瓶三十二本(これは石友三軍討伐の際使用した形跡がある)野砲科學彈六千六百四十發、投下燃燒彈一千百二十發、發煙彈百二十發その他【奉天電話】

錦州の商民災厄を免る

錦州における一般商人殊に商務會は同地駐屯の張學良軍隊に巨額の軍用金調達を强請され金策に惱んでゐたが去る八日わが軍飛行機が溝幇子、義州、打虎山方面に移動したので商民は災厄を免れ大いに喜んでゐると【奉天電話】

首相、德川議長山本男を訪問

【東京十三日發】若槻首相は午後二時半官邸を出で德川貴族院議長を訪ひ滿洲事變に對する報告をなして諒解を求め次で三時半山本達雄男を私邸に訪問同樣報告をなし懇談の後四時半辭去した

內田總裁園公を訪問

【大阪特電十三日發】東上の途入洛した內田滿鐵總裁は今朝九時四十分淸風莊に園公を訪問し約二時間に亘り滿洲事件の眞相を詳細報告十一時半辭去した

園公近く上京

【東京十三日發】京都の淸風莊に在る西園寺公は時局極めて重大なるに鑑み近く上京することになつたので京都に公を訪問する筈だつた淸浦伯は公の上京を待つて訪問することゝなつた

重臣の意見
時局を注視

【東京特電十三日發】時局重大に鑑み若槻首相十二日來山本、淸浦兩伯、犬養總裁、高橋是淸氏、德等の質問あり、幣原外相、南陸相よりそれぞれ答辯する處があつた

樞府事變說明聽取

【東京十四日發】樞府本會議は日土條約可決後政府の滿洲事變說明報告を聽取し質疑を行つて午後零時半散會したが先づ幣原外相より錦州事件に關する國際聯盟並に支那政府に對して發した政府の通牒回答の內容及びその他の交渉經過につき說明し、南陸相は錦州事件發生の事情軍の配置今後の對策等につき說明した後、江木、鎌田各顧問官より

一、關東軍司令官の發した聲明が陸軍省と十分打ち合せなかりしは遺憾である

一、錦州空中襲擊事件は人道上甚だ遺憾の點もあつたやうに思ふ

一、軍部と外務省との不統一を來せるは延いて列國の誤解を招く惧れがある

一、錦州事件は聯盟の誤解を招く原因となつた政府は宜ろしくこの誤解を一掃するに努むべきである

川貴族院議長、山本達雄男等を訪問時局の經過を報告したが重臣の一致せる意見は此際積極的意見をなさず時局を注視し更に國家の危殆に陷らんとする場合に適宜の方法を講ぜんとするもの、如し

聯盟の態度不可解
一露人の談

日本軍飛行機の錦州爆擊について一ロシア人は左の如く語つた

露支紛爭の際ソヴエート飛行機はハイラル、滿洲里に爆彈を投下したのと同じ狀態である、その際國際聯盟が問題にせず今次の日本軍飛行機の錦州爆擊を國際聯盟が問題にするとは不思議である【奉天電話】

王以哲軍の入關に警告

【東京十三日發】目下山海關、秦皇島方面に駐屯する我部隊に對し支那軍が攻擊的態度に出づる危險あるので幣原外相は十二日夜北平にある矢野參事官に訓電し張學良氏に口頭を以て

錦州より引揚中の王以哲軍等が我部隊に對し攻勢に出る如き場合は天津駐屯軍の出動を見容易ならぬ事態を惹き起す虞れあるを以て充分注意され度い

との警告を發せしめた

王以哲軍昨日北平に到着

【北平十三日發】王以哲軍の一隊約五百名は本日午後當地着のまゝ市內に入らず南口方面に向ひ目下平津在留邦人は同軍の行動に注意中である

王旅長の募兵
應募者無し

錦州方面より歸つて來た某支那人の談によれば、王以哲は目下錦州に在つて二千名の部下を擁してゐるが、その部下の兵士達の話を綜合すると

一、事變當夜北大營に於て殆んど抵抗を試みたが敵せずして敗走した、十日程露宿のみで本月七日やつと錦州に着いた

二、我等は王以哲と共に六日錦州に到着した

三、旅長王以哲は目下騎兵を募集中であるが應募者は一人もない

四、敗殘兵は二、三十名宛纏まる者ある故近く多數となるであらう、その際には應募者もあることだらう【奉天電話】

排日ポスター

【上海特電十三日發】一時穩となつた排日ポスターは再び張られ激增し其の文句も過激となつてゐる

セ將軍愈よ北滿で活躍
張海鵬氏と諒解成立

セミヨノフ氏は事變以來來奉して何等か畫策中であつたが去る十二日洮南に張海鵬氏を訪問して或諒解を遂げ十四日朝歸奉した、右は白系露人を率ゐて北滿一帶に活躍するものと推測される【奉天電話】

對日戰十日延期
張學良氏部下に宣言

張學良氏は十三日次の如く部下の軍隊に宣言した

十四日に行はれる國際聯盟會議の結果によつて日本と戰を交へる筈であつたが十日後に延期し二十四日を期して之を行ふ【奉天電話】

わが軍の偵察機に敗走兵の一齊射擊
わが軍の損傷は多大

十三日午前九時わが偵察機三機が新民府西方の敗殘兵及び土匪の情勢探査のため打虎山附近に差掛かるや武裝兵を滿載した約三十輛連結の軍用列車を認めた、該列車は錦州方面に進みつゝあつたがわが飛行機を見るや機關銃、小銃を以て無慮數萬發の猛射を浴せた、このため各飛行機は多大の損傷を受け一機の如きは數十發の彈痕を殘し搭乘の偵察將校沿中尉は外套の背部に銃創を受け同乘の

帶の地圖は彈痕だらけとなつた、わが飛行機は之に應戰して二個の爆彈を投下して正午歸還した【奉天電話】

家庭

華やかな

一生一度の 結婚記念寫眞

何うしたら美しく撮れる？

寫眞屋さんはこんな希望を

十月から十一月にかけての婚禮シーズンになりますと、お見合ひの寫眞だ、それ家庭生活へのスタートを切る華やかな結婚記念撮影だとあつてドコの寫眞屋さんも多忙を極めますが、市内西廣場に寫眞館を經營してゐる土田寛一さんに結婚の記念撮影をされる方々への希望や注意を伺ひました

折角一生に 一度の華かな寫眞を撮られると申しますのに宴會前に急いでさつてくれなどといつて急がれる方があります、結婚式は皆さん方が吉日を選んで擧行され時間も大抵同時刻になり時としては一度に幾組も參られる事がありますが前以て通知して下さればこちらでも幾組も重なつて永い時間待つていたゞかないやうに取計られるとができるのですから前もつて寫眞館の方へ通知される事は大へん便宜だと思ひます、お客樣に先づ希望したい事は安心してこちらに任せておしまひになることです、時には不安な顔をしてゐられるのですが

寫眞は其人の 氣持ちが撮るのですから不安がられますとその心配は顔に現れるものです、氣品ある溌剌とした氣持で居ていたゞきたいのです次にはお化粧のことですが最近では美容師の方が一緒について參られるのでお顔のなほしなどするに大へん便利なのですが白粉も濃淡によつて折角の晴れのお顔も變にうつるのです、で美容師もよく馴れた方は寫眞師とすべて打合はされますから大へんうまく寫眞が撮れるのですが、美しくするつもりでつけた白粉も餘り濃くつけすぎたため寫眞にはすつかり本人とは變つた顔ができることがあります、また厚化粧はいけないと紅だけをつけられる方がありますが、これなどもやはりその人によつて違ふので、例へば眼の肉づきの惡い方とか、やせた肉づきの方などが紅だけ塗りましたら寫眞ではきつく撮れるのです、要は

本人の顔が 平常と變らぬやうに又よく見えるやうにするのが最善の方法です、次に「つのかくし」の事ですが「つのかくし」を用ひる事は花嫁らしい感がして大へんよいものですが、神社などで撮影される場合強い風のため變な恰好に形が變り、幾度元の形に直さうとしても意のやうにならない時は却つて取り去つた方がよいのです、花嫁の大部分は「つのかくし」できまるのです、この「つのかくし」も色は薄桃色がいゝのです、それは純白ですと白はレンズに早く感じ易いため顔がレンズに未だ感じないうちに「つのかくし」だけ早く感じそのために大切な顔の方がボヤツとしてひきたゝないことになります、他に注意して貰ひたい事は白粉はいけないと早合點して赤味のものを用ひてそれに眞白の「つのかくし」をして寫眞に撮りますと出來上つた顔は薄黑く折角の

別嬪さんも 臺なしになるといふわけです、また折角美容師に手入れをして貰つてゐましても寫眞屋へ來るまでに乘物の乘り降りや風などのためにつのかくしの形が變りますので、寫眞師としては責任上そのまゝ寫眞は撮されないので手入れをいたしますが、寫眞技術の方面から見て善惡があるのですからその樣な時にはこちらに任せていたゞきたいと思ひます最近は寫眞撮影に相當時間がさられる事を理解して下さいますから無理な急ぎ立てをなさる方も少いやうですが、大へん急がれる場合などは初めから相談して下さいましたらこちらでも時間を詰めてしかも好結果が得られると思ひます花嫁の式服が黒紋付の場合、腰紐の赤いのは黒くうつりますから黒の時はさき色が好ましいのです、

序に新郎の 服裝ですが燕尾服、タキシード、フロックコートなどを召した時は手袋は白を用ひますがモーニングの場合は鼠色を用ひます、燕尾服、タキシードは白の蝶ネクタイで、モーニングの時は普通のを結んでよいのです、また洋服を着用してる方で扇子を持たれる方が時としてありますが和服の場合を除いては要らないのです

秋向の魚介料理三種

鯖の鹽燒

▲材料＝鯖二百匁、青菜三百匁、醤油五勺、砂糖、食鹽少量

▲調理＝鯖はよく洗つて二枚に卸し一人一切宛として適宜に切り、青菜はよく水洗ひして熱湯に鹽を少し入れてざつと茹で冷水にさらして堅く絞つて小さく切つて置きます、鯖を串にさし鹽をパラパラとふりかけ焦さぬやうに注意して火で兩面から燒き、青菜は醤油と砂糖で調味してこれを鯖の横に盛合せます

卯の花汁

▲材料＝卯の花一合、剝身三十匁、青葱五十匁、味噌五十匁、味の素少量

▲調理＝剝身はよく洗ひ葱は斜に小さく切ります、味噌を七合の水に溶し鍋に入れて卯の花を加へて煮立てます沸騰したら剝身葱味の素を入れて今一度沸騰させ熱いうちに頂きます

魚の照燒

▲材料＝生魚二百匁、馬鈴薯二百五十匁、大根百匁、醤油五勺、味淋五勺、味の素少量

▲調理＝生魚は一人一切宛の切身とし、味淋と醤油を混ぜた中に三時間浸して置き串にさして兩面から燒きそのつけておいた醤油を沸騰させ葛粉を少し加へてトロリとさせたものを刷毛でぬつて照りを出します馬鈴薯は皮は剝き一寸角位に切り軟かく茹で、鹽をふりかけて溫かいうちに魚に添へて供します

牛肉の調理

硬軟によつてかへる

▼…牛肉を調理する場合には硬い部分と軟かい部分によつてそれぞれその調理法を變へた方がよいのです、例へば下等の肉で軟かいものは燒きますと肉もしまり味もよくなりますし、首のあたりの硬い肉は長時間煮ることによつて軟かく食べられます、肉類を水に浸しますと肉の含んでゐる蛋白質の一種のアルブミンといふものとエツキス分鑛物質等が水に溶けて出ます、これに漸次熱を加へますと六十度前後になると蛋白質が凝固し、八十度になると肉の結締組織や骨の中からセラチンが溶けて出て來ます、しかし若し急に高い熱を與へますと外側の蛋白質が凝固して内部の養分が外に出るのを防いでしまひます、ですからその目的によつて調理法を選ぶ事もまた大切です

▼…例へば肉汁をとる場合や、シチユーのやうにその汁をおいしく食べやうとする場合には冷水から肉を入れて徐々に加熱して一度沸騰しましたらトロ火にして九十度前後の熱で長く煮るやうにします、かうしますと硬い肉も軟かくなつて汁と一しよにおいしく食べられます、また蒸燒き肉のやうに肉そのものを主とした料理ならば前と反對に最初から高熱を加へて表面の蛋白質を凝固させ、内部の養分や美味しい汁を外に出さない方法をとればいゝのです

夜の桑港で― 白裝束の男が何やら？信號

これはまた變つた商賣 自動車の修繕屋

最近アメリカから歸朝した人の話に、或晩サンフランシスコの町で自動車を走らせてゐると、オートバイに乘つた白裝束の人が正面からやつて來て何やら手を擧げて信號をするので、これはテツキリ交通巡査だなと思つてなほよく見ると、そのオートバイは

◆…**三つの** 電燈をつけてきらくと道路一ぱいを照しながら來る自動車毎に何やら信號をしてゐます、その人の服裝は眞白のポケツトの澤山ついた洋服に飛行帽みたいなのをかぶつて交通巡査とは全然ちがつた扮裝でした、あとで聞くとこれは自動車のヘツドライト修繕屋で、ヘツドライトの目つかちになつたのや投射の方向の藪にらみになつたのや、其他色々調子の惡いところを直ほす商賣で、往來で自動車に行き合ふごとに修繕の御用はありませんかとの挨拶を信號でやるのださうです、現在この商賣をしてゐるのは桑港で四人ほどあり、みな衆人の

◆…**注視の** 的になるやうな一種異樣ないでたちで街路を流してゐます、もしこの修繕屋を利用するならばフロントのグラスでも球でも直ぐその場で適當に修繕すれば交換もしてくれるし、おまけに修繕費もごく低廉で一般からも大へんよろこばれてゐるとのことでいかにも多數の自動車が後から後から疾驅するアメリカの町にふさはしい新商賣ではありませんか

眞空管なしの X光線發射裝置

X光線といへば必ず眞空管がつき物となつてゐましたが最近眞空管を用ひずにX光線を發射する裝置が發明されました、卽ち高い電氣の電流をマグネシユームや明礬や酸化第一水銀や、其の他高い電氣抵抗をもつてゐる物質の中を通過させますと極めて弱いX光線が出るといふ事がわかつて、これを利用して簡單な發生裝置をしたものであります、現在未だ研究時代で實用に供せられるまでには進んでゐませんが、早晩この裝置による透光力の大きなX光線が工業上、醫學上その他實際に役立てられるやうになるでせう、そして若しそれが實現される曉にはあの複雜で高價で、取扱ひに面倒な眞空管は全然顧みられなくなるかもしれません

秋晴れに……市中所見

大連神明高女の大々的バザー

愈よ廿五、七の兩日にひらく 同窓會と校友會が協力して

大連神明高女の同窓會と校友會ではかねてから同窓會の事業資と校友會の活動資金をうるために今秋大々的にバザーを開く計畫を立て今年五月頃から着々その準備にかゝつてゐましたが、このほどバザーに出品する同窓生や生徒の製作品も

九分通り 出來上りましたのでいよく來る廿五日と廿七日の兩日同校に於てバザーを開くことになりました、生徒側の作品は四、五年生の一部が裁縫や手藝の先生方の指導の下に製作したので

高級品が 多いさうです、これ等の製作品の總數一千點を超すが特別にバザーのために材料を選んだといふのでなく、教授細目に基いて實用を主とした子供服、ベビー服、テーブル掛、セーター、エプロンなど極一般向のもので、從つて値段も出來るだけやすくしたいと學校側の希望です、一方同窓生の方はこれも時節柄實用を主としたものですがクツシヨン、卓子かけ、センターピース、蓄音器かけ、ピアノかけ、草履、手提袋など美しいフランス刺繍を應用した

えるでせうがこの外に理科の池上先生の指導をうけて特別研究生一同が大分前から苦心をして拵へたベルツ水、乳白フード、煉白粉、水白粉、過酸化水素入クリーム、ヘチマコロン等の化粧品もごくやすい價格で當日バザーに出る筈です「あり合せの瓶を集めて詰めたのですから體裁はあまりよくありませんが品質は斷然いゝ筈です」といふ先生方の保證付の化粧品です

學藝會の 催しがありますなほバザー當日には講堂で國語劇、支那劇、英語劇、音樂劇、各學科研究發表と出演者は目下猛練習中ですから當日はさつと素晴らしい出來榮を見せることでせう あの阿里山の生蕃舞踊を取扱つた音樂劇などは定めし大喝采を博する事だらうと學校中の評判です、尚當日は四、五年生の手になる菓子お辨當、壽司、紅茶、サンドウイツチなどの賣店も出る筈で、廿六日の中の休みもこの準備にあてられることになつてゐます

バザーといへば滅茶苦茶に高いものと世間一般にきめられてゐるやうですが決して市價より高いやうなことはしないつもりです、殊に在校生の製作品などはバザーに出すといふだけで生徒にとつては一つの獎勵ですし、又見に來ていたゞく方にこの位のものはやれるのだといふ事を知つて頂くだけでも無駄ではありませんから出來るだけ

安くして なるべく多數の方に買つて頂きたいと思ひます學校ですから無制限に誰にも入場させるといふ譯には行きませんがなるべく廣い範圍に入場券を出して學藝會もバザーも共に見て頂きたいと思つてゐますはじめての試みですがどうか皆さんの御後援で盛會に終らせたい希望です、利益金は全部校友會と同窓會の收入とするつもりですと村井校長は語りました

改造社版 特選名著 半價

定價スラブ送料の本が今日から

全滿文化

半價圖書目錄 各書店にて進呈

政治・法律

書名	著（譯）者名	定價	特價
現代法律思想の研究	高柳賢三著	四・八〇	二・四〇
增補 普通選擧法要綱	阪内務事務官 三宅司法書記官著	・六〇	・三〇
私法學序説	廣濱嘉雄著	三・〇〇	一・五〇
ソヴィエト・ロシヤの民法と勞働法	末川博著	二・五〇	一・二五
露國共産黨「内訌」錄	「プラウダ」紙所載 近藤榮藏譯編	一・五〇	・七五
市町村法律必携	奈良正路著	三・〇〇	一・五〇
法の一般理論とマルキシズム	イエー・ベー・パシュカーニス著 山之内一郎譯	一・八〇	・九〇

經濟・社會

書名	著（譯）者名	定價	特價
社會科學大辭典	社會思想社編	一五・〇〇	七・五〇
第二貧乏物語	河上肇著	一・五〇	・七五
社會運動と勞銀制度	福田徳三著	二・五〇	一・二五
國家思想の研究	口田康信著	二・〇〇	一・〇〇
近世封建社會の研究	本庄榮治郎著	二・〇〇	一・〇〇
資本主義末期の研究	高橋龜吉著	二・五〇	一・二五
石油帝國主義	ルイス・フィスシャー著 荒畑寒村譯	一・五〇	・七五
封建社會の統制と鬪爭	黒正巖著	三・五〇	一・七五
日本社會經濟編年史	吉田英雄著	八・〇〇	四・〇〇
英國資本主義成立史	野村兼太郎著	四・五〇	二・二五
世界經濟論	ブハーリン原著 富士辰馬譯	二・〇〇	一・〇〇
日本殖民地經濟論	持地六三郎著	二・八〇	一・四〇
國際經濟總論	堀江歸一著	三・二〇	一・六〇
金貨本位制の興廢	堀江歸一著	一・〇〇	・五〇
英國預金銀行論	堀江歸一著	一・〇〇	・五〇
中世寺院法と經濟思想	山口正太郎著	一・五〇	・七五
唯物史觀經濟史出立點の再吟味	福田徳三著	二・五〇	一・二五
現代英國經濟研究	奥村愼次著	一・五〇	・七五
英米投資銀行と證券投資	高平隆雄著	二・五〇	一・二五
經濟學入門	ミハレフスキー著 荒川實藏譯	一・五〇	・七五
日本交通史の研究	本庄榮治郎著	三・五〇	一・七五
明治維新經濟史研究	本庄榮治郎編	五・〇〇	二・五〇
改訂增解 西陣研究	本庄榮治郎著	三・五〇	一・七五
現代日本研究	猪俣津南雄著	二・八〇	一・四〇
中歐諸國の土地制度及土地政策	澤村康著	五・〇〇	二・五〇
經濟小言	武藤山治著	・八〇	・四〇
マルサスと彼の業績	ボナア著 堀・吉田共譯	四・五〇	二・二五
明治大正産業發達史	高橋龜吉著	六・〇〇	三・〇〇
支那革命史	長野朗著	一・〇〇	・五〇
社會問題二十五講	カール・ディーム著 山内正瞭 伊藤久秋共譯	二・五〇	一・二五
新聞企業時代	後藤武男著	一・二〇	・六〇

勞働・農村

書名	著（譯）者名	定價	特價
勞働問題原理	渡邊一郎著	二・〇〇	一・〇〇
野田大勞働爭議	松岡駒吉著	一・〇〇	・五〇
農村問題と對策	河田嗣郎著	二・〇〇	一・〇〇
農業問題研究	河西太一郎著	二・五〇	一・二五
土地問題論	W・リープクネヒト著 河西太一郎譯	一・五〇	・七五
日本農民史語彙	小野武夫著	三・五〇	一・七五
維新農民蜂起譚	小野武夫著	四・五〇	二・二五
農村問題講話	中澤辨次郎著	一・八〇	・九〇

哲學・宗教・科學

書名	著（譯）者名	定價	特價
哲學思想の史的考察	ウンターマン著 森喜一譯	二・〇〇	一・〇〇
實踐哲學研究	鶴田義宮著	五・〇〇	二・五〇
學校兒童心理學	關寛之著	二・七〇	一・三五
經濟哲學	ブルガコフ著 島野三郎譯	二・五〇	一・二五
日本道徳論	清原貞雄著	四・五〇	二・二五
體驗宗教の研究	佐藤繁彦著	二・〇〇	一・〇〇
老子の研究	竹内義雄著	三・五〇	一・七五
遺傳學概論	ホム・シー・コルター著 長尾正人譯	一・八〇	・九〇
生物學認識論	駒井卓著	二・五〇	一・二五
[illegible]	杉森孝次郎著	一・〇〇	・五〇

新選名作集

書名	著者名	定價	特價
戰影	水野廣徳著	二・八〇	一・四〇
殴る	平林たい子著	一・五〇	・七五
鐵	岩藤雪夫著	一・五〇	・七五
惡漢と風景	前田河廣一郎著	一・二〇	・六〇
アパートの女達と僕と	龍膽寺雄著	二・〇〇	一・〇〇
もだん・でかめろん	谷讓次著	一・二〇	・六〇
テキサス無宿	谷讓次著	一・五〇	・七五
南京六月祭	犬養健著	二・〇〇	一・〇〇
江藤新平	眞山青果著	一・二〇	・六〇
吉良家の人々 / 四十八人目	森田草平著	一・五〇	・七五
濁流に泳ぐ	麻生久著	一・〇〇	・五〇
愛染地獄	今東光著	二・五〇	一・二五
孤島の鬼	江戸川亂歩著	一・〇〇	・五〇
支那	前田河廣一郎著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（壹卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（貳卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（參卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（四卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（五卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
新選菊池寛集	菊池寛著	一・〇〇	・五〇
新選前田河廣一郎集	前田河廣一郎著	一・〇〇	・五〇
新選前田河廣一郎集（續篇）	前田河廣一郎著	一・〇〇	・五〇
新選永井荷風集	永井荷風著	一・〇〇	・五〇
新選藤森成吉集	藤森成吉著	一・〇〇	・五〇
新選北原白秋集詩歌篇	北原白秋著	一・〇〇	・五〇
新選北原白秋集散文篇	北原白秋著	一・〇〇	・五〇
新選吉田絃二郎集續篇	吉田絃二郎著	一・〇〇	・五〇
新選森鷗外集	森鷗外著	一・〇〇	・五〇
新選橫光利一集	橫光利一著	一・〇〇	・五〇
新選長田幹彦集	長田幹彦著	一・〇〇	・五〇
新選岡本綺堂集	岡本綺堂著	一・〇〇	・五〇
新選小山内薫集	小山内薫著	一・〇〇	・五〇
新選久保田万太郎集	久保田万太郎著	一・〇〇	・五〇
新選宇野浩二集	宇野浩二著	一・〇〇	・五〇
新選里見弴集	里見弴著	一・〇〇	・五〇
新選近松秋江集	近松秋江著	一・〇〇	・五〇
新選豐島與志雄集	豐島與志雄著	一・〇〇	・五〇
新選夏目漱石集	夏目漱石著	一・〇〇	・五〇
新選山本有三集	山本有三著	一・〇〇	・五〇
新選久米正雄集	久米正雄著	一・〇〇	・五〇
新選室生犀星集	室生犀星著	一・〇〇	・五〇
新選徳田秋聲集	徳田秋聲著	一・〇〇	・五〇
新選相馬泰三集	相馬泰三著	一・〇〇	・五〇
新選島崎藤村集	島崎藤村著	一・〇〇	・五〇
新選西條八十集	西條八十著	一・〇〇	・五〇
新選宇野千代集	宇野千代著	一・〇〇	・五〇
新選岸田國士集	岸田國士著	一・〇〇	・五〇
新選佐藤春夫集	佐藤春夫著	一・〇〇	・五〇
新選池谷信三郎集	池谷信三郎著	一・〇〇	・五〇
新選大町桂月集	大町桂月著	一・〇〇	・五〇
新選武者小路實篤集	武者小路實篤著	一・〇〇	・五〇
新選佐佐木茂索集	佐佐木茂索著	一・〇〇	・五〇
新選片岡鐵兵集	片岡鐵兵著	一・〇〇	・五〇
新選金子洋文集	金子洋文著	一・〇〇	・五〇

新銳文學叢書

書名	著者名	定價	特價
ボール紙の皇帝萬歲	久野豐彦著	・三〇	・一五
隕石の寢床	中村正常著	・三〇	・一五
なつかしき現實	井伏鱒二著	・三〇	・一五
傷だらけの歌	[illegible]澤汪夫著	・三〇	・一五
反逆の呂律	武田麟太郎著	・三〇	・一五
情報	立野信之著	・三〇	・一五
浮動する地價	黒島傳治著	・三〇	・一五
耕地	平林たい子著	・三〇	・一五
屍の海	岩藤雪夫著	・三〇	・一五
鬪ひ	中本たか子著	・三〇	・一五
正子とその職業	岡田禎子著	・三〇	・一五
研究會挿話	窪川いね子著	・三〇	・一五
ブルジョア	芹澤光治良著	・三〇	・一五
不器用な天使	堀辰雄著	・三〇	・一五

戲曲

書名	著者名	定價	特價
安土の春	正宗白鳥著	一・三〇	・六五
歡迎されぬ男	正宗白鳥著	一・三〇	・六五

歴史・傳記（人物評傳）

書名	著（譯）者名	定價	特價
ボローヂン脱出記	ストロング著 淡徳三郎譯	一・〇〇	・五〇
禁行ドストイエフスキイ書簡集	笠間杲雄譯	一・五〇	・七五
寒川鼠骨集	寒川鼠骨著	一・五〇	・七五
野外劇の一幕	堺利彦著	一・五〇	・七五
筆の向くまゝ	武者小路實篤著	一・〇〇	・五〇
二重生活	河東碧梧桐著	一・二〇	・六〇
西洋古代史概説	ボッフォード著 竹林熊彦譯	三・五〇	一・七五
大正大震火災史	改造社編	一五・〇〇	七・五〇
ツタンカーメンの生涯と時代	ピシャラ・ナハス著 高瀬毅譯	一・八〇	・九〇
近世名匠列傳	村松梢風著	二・三〇	一・一五
自敍傳	大杉榮著	二・〇〇	一・〇〇
蒲生氏郷 / 平將門	幸田露伴著	二・〇〇	一・〇〇
頼朝・爲朝	幸田露伴著	二・〇〇	一・〇〇
ジャン・ジョレス	柳澤健著	一・五〇	・七五
堺利彦傳	堺利彦著	一・九〇	・九五
ヘンリー・フォード——人及びその事業	有川治助著	一・二〇	・六〇
天狗騷ぎ	橫瀨夜雨著	三・五〇	一・七五
漱石の思ひ出	夏目鏡子述 松岡讓筆錄	二・〇〇	一・〇〇
ハーバート・フーヴァー大統領となるまで	加藤三郎譯補	一・〇〇	・五〇
啄木を繞る人々	吉田孤羊著	一・〇〇	・五〇
ジョン・ワナメーカ	有川治助著	一・五〇	・七五
マーシャル・フィールド	加藤三郎譯補	一・五〇	・七五
西鄕南洲先生傳	南洲神社五十年奉讚會編	一・五〇	・七五
勝海舟	山路愛山著	一・五〇	・七五

童話・運動

書名	著者名	定價	特價
蝗の大旅行	佐藤春夫著	三・五〇	一・七五
三つの寶	芥川龍之介著	五・〇〇	二・五〇
山岳スキー	平井左門著	二・五〇	一・二五

牧水全集（全十二卷）

定價一冊壹圓五十錢（四六判上製）

卷	内容	特價
第一卷	歌集	・七五
第二卷	歌集	・七五
第三卷	歌集	・七五
第四卷	紀行文	・七五
第五卷	紀行文・夫人宛書簡	・七五
第六卷	隨筆・小品	・七五
第七卷	小說	・七五
第八卷	歌論・歌話	・七五
第九卷	長歌・詩論・童話	・七五
第十卷	雜篇	・七五
第十一卷	書簡	・七五
第十二卷	書簡・日記・年譜	・七五

小酒井不木全集（全十七卷）

定價一冊壹圓（四六判上製）

卷	内容	特價
第一卷	殺人論及毒と毒殺	・五〇
第二卷	犯罪文學研究及西洋探偵譚	・五〇
第三卷	探偵小說短篇集	・五〇
第四卷	探偵小說長篇集	・五〇
第五卷	鬪病術及學者氣質	・五〇
第六卷	生命神秘論及不木軒隨筆	・五〇
第七卷	醫談・女談	・五〇
第八卷	病間錄及日記	・五〇
第九卷	探偵小說中篇集	・五〇
第十卷	趣味の探偵談	・五〇
第十一卷	三面座談及タナトプシス	・五〇
第十二卷	文學隨筆及書簡	・五〇
第十三卷	探偵小說短篇集	・五〇
第十四卷	探偵小說集	・五〇
第十五卷	鬪病餘錄及斷片	・五〇
第十六卷	[illegible]	・五〇

（世界文學）

番號・書名	原著者・譯者	特價
18 寶島他二篇	（英國スティヴンスン）野尻清彦譯	・三五
19 スペードのキング 四枚のクラブ	（瑞西ヅーゼ）小酒井不木譯	・三五
20 ステラ・ダラス / ラ・ボエーム	（米國プローチー）（佛國ミュルゼ）森岩雄譯	・三五
21 シャロック・ホームス	（英國ドイル）延原謙譯	・三五
22 ゼンダ城の虜	（英國ホープ）寺田鼎譯	・三五
23 紅葉	（英國オルツイ）松本泰譯	・三五
24 海底旅行 / 宇宙戰爭	（佛國ヴェルヌ）（英國ウエルズ）木村信兒譯	・三五
25 平妖傳	（支那羅貫中）佐藤春夫譯	・三五
26 ルコックの探偵 / 河畔の悲劇	（佛國ガボリオー）田中早苗譯	・三五
27 スカラムッシュ	（米國サバチニ）小田律譯	・三五
28 洞窟の女王 / ソロモン王の寶窟	（英國ハガード）平林初之輔譯	・三五
29 海の義賊他一篇	（佛國ベルネエド）高橋邦太郎譯	・三五
30 ポオ。ホフマン集	（米國ポオ）（獨逸ホフマン）江戸川亂歩譯	・三五
31 三等水兵マルチン	（英國タフレイル）福永恭助譯	・三五
32 幻島ロマンス	（米國ゲール）野口米次郎譯	・三五
33 ロモラ	（英國エリオット）賀川豐彦譯	・三五
34 世界滑稽名作集	（歐米諸家）東健而譯	・三五
35 世界怪談名作集	（歐米諸家）岡本綺堂譯	・三五
36 世界怪奇探偵事實譚	（歐米諸家）松本泰譯	・三五
37 グランド・バビロン・ホテル	（英國ベネット）平田禿木譯	・三五
38 水滸傳	（支那施耐庵）笹川臨風譯	・三五
39 永遠の都	（英國ケイン）戸川秋骨譯	・三五
40 ロビンソン・クルーソー / 十五少年	（英國デフォー）（佛國ヴェルヌ）白石實三譯	・三五
41 テス	（英國ハーディ）廣津和郎譯	・三五
42 二都物語	（英國ディッケンス）名原廣三郎譯	・三五
43 血と砂	（西班牙イバニエス）鈴木厚譯	・三五
44 カルメン。コロンバ	（佛國メリメー）宇高伸一譯	・三五
45 ポムペイ最後の日	（英國リットン）小池寛次譯	・三五
46 小公子。小公女	（英國バアネット）佐々木茂索譯	・三五
47 あの山越えて	（米國カートン）尾崎士郎譯	・三五
48 赤[illegible]衣物語 / ヒムリコの博士	（佛國ゴロオー）（英國キユウ）大木篤夫譯	・三五
49 闇を縫ふ男	（英國オルチイ）淺野玄府譯	・三五
50 ガリヴァーの旅	（英國スウイフト）鈴木彦次郎譯	・三五
51 十字軍の騎士	（波蘭シエンキキッチ）森田草平譯	・三五
52 シー・ホーク	（米國サバチニ）小田律譯	・三五
53 黒星	（米國マッカレー）和氣律次郎譯	・三五
54 ノートルダムの佝僂男	（英國ユーゴー）松本泰譯	・三五
55 冬來なば	（英國ハッチンソン）木村毅譯	・三五
56 クオ・バヂス	（波蘭センキウキッチ）直木三十五譯	・三五
57 ラ・バタイユ	（佛國ファレール）高橋邦太郎譯	・三五
58 千一夜物語（戀愛篇）	（レーン原）森田草平譯	・三五

智識の殿堂!!
改造社の大寶庫開かる
見よ!!この破天荒の大壯擧

良書を安價に！　これ吾社のモットーである。「圓本」の嚆矢たる「現代日本文學全集」百頁十錢の「改造文庫」をはじめ、幾多の全集類、幾百の單行本皆この標榜の實現である。最近數年に於ける我國讀書層の急速な增大、従つて我國文化の著しき向上發展に就ては、吾社聊か貢獻し得た事を誇とする。今回吾社はこの標榜を更に徹底せしめ、且つは從來多大の御支援を蒙れる全滿洲讀書界諸賢の御愛顧に酬ゆるため、「全滿特選名著半價大提供」の壯擧を敢行する。提供の圖書數百種は御覧の通り一粒選りの名著。時將に秋涼、燈影机上に澄む讀書の好季。敢て全滿洲讀者諸賢にこの壯擧を告ぐ。

特價期間　十月十五日より　十一月十日まで

滿日各地版

安東軍民の努力で不法課税問題解決
十二日から統税問題も解決して永年の懸案一掃さる

【安東】不當課税に依つて終始苦められつゝあつた安東在住の邦商は事變突發と共に一切の不法課税排除に向つて徹底的に對策を講ずると共に軍部に對しても數次の陳情を爲したる爲め

軍部 も之等に就いて詳細研究を進めて居たが先づ第一次として附屬地境界にある税捐局出張所を撤去せしめて附屬地内外の通商を自由ならしめ次で護照發給手數料を廢止して安東奥地間の商取引を圓滿ならしめたる最後に殘されたる代表的不法課税とも目されつゝあつた統税についても漸く合法的に改められる事となり日本側の承認せる綿糸布以外に對しては附屬地内外を問はず十二日以降一切の統税を徴收せざる事となつた、尚綿糸布に對しては既に日本側が承認せる

關係 あるを以て附屬地外に於ける該品に對する課税については國際信義の上より邦商側も之れが納入に應ずる事となり愈々協定が成立せるを以て之れに依つて永年の懸案となつて居た不法課税問題は一切の解決を見た譯である

安東の獨立急轉直下實現か
加藤憲兵分隊長赴奉

【安東】加藤安東憲兵分隊長は十一日朝赴奉したが同隊長今回の赴奉は安東の治安も漸く平靜となり最早何等の不安なく理想通りに恩威並び行はれる狀態となり加ふるに今回新たに維持委員會の成立を見たるを以て之等の要件を詳細報告すると共にこの後の治安上の打合せを爲す爲めと見られて居るが目下の安東には既に一種の獨立氣配を釀しつゝあつて之れに處する軍部の態度方針等の打合せが行はれるものと觀られ或は加藤分隊長歸安後は安東有志間に於て急轉直下獨立政府宣言に進展するにあらずやと見られてゐる

鐵嶺自治會陣容を整ふ

【鐵嶺】自治新政の機能を發揮し善政の下に困憊の支那側を救はんと準備を急いでゐる鐵嶺縣自治會では十三日愈々其陣容を整へ新政の第一歩を踏み出すことになつた新政府の首腦者左の如し

行政課 委員長俞榮慶、委員楊立堂、胡世興、楊喧
財政課 委員常部楝、孫祥雲、林樹枝、傅文華
司法課 委員趙碟嵐、鄧士仁、鄭祿
保安課 委員張祖蔭、石之璋、吳常安、于泮
秘書 劉天成(内政) 林樹枝(外事)

更に縣自治局各部の部長顔振れは左の如し

行政部長尹世怡(前政府第一科長)
財政部長楊喧(前財政局長)
司法部長趙碟嵐(前地方法院長)
教育部長鄧士仁(前教育局長)
警務部長張祖蔭(前公安局長)
總務部長張彭齡(前第二科長)
監察部長孫祥雲(前稅捐局長)

縣政府を廢して自治分會を組織
開原地方治安維持策 委員その他を決定

【開原】滿洲事變勃發以來他地に比し開原縣は割合平穩であつたが縣の主腦者たる縣長、公安局長の三人は數日前より逃走し無政府狀態となりたる爲め縣代表は松岡勝彥氏に治安維持に關し依賴するところあり松岡氏は十月十二日十九名を引連れて午後二時開原城内縣政府に到着城民有力者と協議の結果從來の開原縣政府を廢し新に開原自治分會を組織し以て地方治安維持をなすべく決議し引續き自治會の組織方を協りたる處滿場一致賛同を得て委員長及副委員長、委員、顧問を左記の如く任命さると同時に左の宣言文を發表した

委員長 王用賓(元蓋平縣長)
副委員長 趙幼儀(元江蘇縣長)
委員 康作民、曹錫甫、朱子青、王林如、趙治安、金子章、關仲三、羅北南、丁一青
顧問 森田一、久保清一郎(日本人)

宣言

本自治會は民衆福祉のために舊軍閥分制機關たる縣政府を廢止し中國傳統の自治制を復活する旨さし茲に宣言す

中華民國二十年十月十二日 開原自治分會

引續き自治會では自治會章程につき協議滿場一致左記條項を決議した

一、精神至大無外
二、目的 合理組織を創設し人類の爲に公平安定の生活を圖る
三、方針 人民本位と地域單位を以て自ら働き人民自治を各地へ組織し人民の生存權を行使す
四、綱領
(イ)人民自各生存權及相互生存權の承認を保有す
(ロ)信教言論の自由と對人類全體責任を保有す
(ハ)人民平等自治參政權を保有す
(ニ)人民は即日惡政府惡政との關係を斷絶すべし
(ホ)人民は中國の宗教的社會傳統を承認すべし
五、組織
(イ)本會は地域内居住人民を以て組織す
(ロ)九名を以て一小組と爲し小組長の名を以て其組に名づく
(ハ)九小組を以て一中組とし中[illegible]
[illegible]自治大綱[illegible]民國以來の軍事的惡制度を廢止し中國の傳統的家族制度を復興すべし
七、機關
(イ)縣自治會に執行委員會を設く
(ロ)縣執行委員會に自治局及び人民自治軍を設く
(ハ)自治聯合會に代表會を設く
八、執行委員會責務
(イ)大會の決議に從ふを原則とし生命權に關する一切の任を行使す
(ロ)自治軍を統帥す
(ハ)臨時に縣政務を代行せしむ(行政財政司法保安)
(ニ)大會の召集事務
(ホ)縣自治局は臨時縣政務一切の事項を執行
(ヘ)縣自治局は執行委員會に隷屬す
(ト)縣自治局は執務章程を組織し執行委員會此を定む
(チ)自治局内に行政部、財政部、司法部、教育部、警務部、總務部、監察部を置く

自治會本會議

【鐵嶺】首腦部の決定を見たる鐵嶺縣自治會では十三日午後一時より本會議を開催したるが先づ警務部長張祖蔭氏より公安局員に對し久しく給料不渡のためこれが支給方法に就て委員の協議を求め更に監獄より奉天政府の送金なく囚人に對する食費も缺乏し過般商務會より千餘元を借款し一時を糊塗したるも今やそれも盡きたり何等かの方法によつて支出されたしと内政窮乏を愬へ日本側顧問も豫想外の窮狀に驚ろき縣政府の財政を調査したところ財政局に奉票が七萬元有るのみで手のつけやうなく協議の結果何等かの方法で借款を起す事とした、尚縣費は從來月額三萬五千元を要したが新政府樹立と共に先づ事務の合理化を行ひ冗員を減少し必要なる人員はこれを優遇增給し大に能率を上げんとし十四日午後一時までに各部長は所屬部の豫算を編成提出する事に決定第一日の本會議を終つた

奉天票の收納拒絕
官公吏の俸給は全部現銀で支給 九日より安東で實施

【安東】奉天舊軍閥政府が喪失せるにも拘らず依然として奉天票は官公署の收入として取扱ひその反面の官公吏に對する給料支拂も奉天票に依つて爲されて居り支那官吏の生活上の苦腦は其の爲め悲慘な狀態に置かれて居たのであるが安東は日本軍部に於て官公署の會計を監督する事となつてより徐々に奉天票の收納を排斥させつゝあり今月の官公吏の給料支拂は一切現銀或は現大洋票に依ると同時に奉天票の收納は去る九日限り各官公署とも斷然拒絕する事となつた、之れに依つて最も浮び上つたのは支那官公吏でいづれも給料の現銀支給をうけ歡喜して居る

撫順支那街治安維持策

【撫順】人口六萬を有する附屬地[illegible]もさになす事となつた而して元縣公署跡には「日本撫順憲兵隊」の表札が掲げられる事となつた、尚縣政府時代の「公安局」以下の警備機關は解體され新に「自衞警察隊」を設け縣下治安維持の總元締さしこの自衞警察隊の下に差當り九分局を設け右憲兵分遣隊の支援をなさしむる事となつた、因に附屬地内撫順憲兵隊は當分閉鎖狀態になつたのである、支那街一帶の警備を憲兵隊でやる事となつた經緯を探聞するに附屬地内は既に靜穩に歸した上警察、守備隊等もあり憲兵隊が留守にしても何等懸念ない事と既報の如く支那町警備に當つてゐた警察隊引揚後元公安隊員等を以て組織する「自警團」に守備隊より鐵砲二百五挺彈丸各三十發を與へ治安維持に當らしめてゐたがそれでも日本警察引揚後支那街一帶の住民が非常に不安を感ずる爲同地一帶居住華人の懇請に從ひ前記憲兵隊がその任に當る事になつた如くである

本國の父兄から諭され歸國を思ひ止る留學生
『日本の治政に不平はない』

【金州】日支衝突……排日……排日貨等の事件に絡み極度に露骨さなつた中國人内地留學生の歸國問題は當地よりの留學生にも波及して父兄宛續々と歸國する旨の通知が來つゝある模樣であるが憂慮した父兄は日本の治政下に在つて絕對に安全である事を喜び、かゝる日本の治政下にあつて十二分に研鑽出來得る事を無上の幸福であると思はなければならない、決して敵視するが如き輕擧な振舞をするな、父兄等は絕對に日本を信賴してゐるのであるから安心して勉學を續けよ等の意味合の書信やら電報で極力歸國不要を諭してゐるが其の結果數十名の金州よりの留學生は今の處落付いてゐる

法庫縣の馬賊

【鐵嶺】法庫縣下嚴家荒地(法庫門を距る七十支里)には約五百名の馬賊蟠居し頻りに附近を荒し廻る風說あり縣公安隊は十二日二百餘の討伐隊を急行せしめ同夜七時同部落で遭遇激戰の結果賊は死體十二、負傷者二十名を遺棄逃走し討伐隊には死者一、負傷二名を出したのみなるが同縣下には各所に優勢馬賊蟠居して縣城を襲擊ぜんと虎視耽々たるものあり縣城は物々しい防備を固めて居るさ

支那地主農民の被害も甚大
敗走兵の荒した跡

【撫順】縣下敗殘兵掠奪の跡調査のため背後地踏査に向ひたる撫順署倉田警部補一隊の第一情報が十三日午前撫順署に達した同一行の十二日調査したる「孤家子」「連刀灣」「大東溝」「下黃舍屯」一帶各部落約四百戶の支那農家地主等は悉く兵匪の爲掠奪され多いのは一戶で現金貴金屬その他約金千四五百圓少いので金三百圓平均六百圓位被害總額二十餘萬圓に上ると云ふ新事實が發見された、爲に同附近支那部落民の兵匪を恨む事は甚だしく日本官憲と見るや全部落擧て歡迎種々の便宜を計つてくれるとの事である、尚前記各部落鮮農の被害額は前記支那居住民に比し極めて少ないその理由は鮮農は數に於て中國農夫より少ないと何れも一年暮しの貧乏小作で家財悉くを掠奪されてもその金額は大したものにならぬ事と敗兵至るときくや逸早く附屬地へ逃げた等の爲であるさ

三百名の集團

【鐵嶺】去る十一日朝昌圖縣下金家屯に馬賊敗兵聯合の二百五十名が來襲し同地を遠方より包圍して商務會に對し現大洋十萬元長銃百挺彈丸一萬發阿片五百兩を強要したるが翌十二日には更に馬賊頭目双勝金龍其他の一隊三百名が加はり若し要求に應ぜざれば一擧に襲擊すべしと脅迫中であると因に右賊團の大半は敗兵らしく何れも軍服を着し軍銃を所持するさ

清河上流地方の被害

【鐵嶺】十三日鐵嶺に避難して來た鮮農李某の語るところによれば李は開原縣清河の上流に住み水田を經營し部落も鮮農十五戶四十名が居住してゐたが數日前多數の敗殘兵が襲來し支那地主と共に鮮人を追悉く戶外に引出し山中に連行して一纏めに射殺し家屋は家財を掠奪して放火十五戶を全滅せしめ李外二三名は幸ひ虎口を逃れて鐵嶺に避難したが他の者は前記の手段によつて全部虐殺されたさ

軍隊の保護で鮮農引揚ぐ

【營口】田莊臺居住の鮮人中婦女子のみは海城その他に引揚げを了し目下作物の收穫期であるので男子のみは殘留したが依然不安狀態であるので去る十一日瓦房店守備隊の一部は同地に出動し保護に任じた匪賊は我軍の來れるを聞き四散したるも軍隊引揚後は又復不安に陷るの虞あるので荒川領事は軍隊の保護下に引揚げを命じ軍隊は引揚げ鮮人が農作物及家財道具を片付け運搬來營するを保護し歸營した

採炭所に六人組敗兵

【撫順】便衣の敗殘兵六名が突如十三日午前一時撫順新市街さほど遠からぬ東郷採炭所把頭(華工の親方)韓迎春(三九)方を襲ひ四名は外部で見張をなし二名は表戶を破壞侵入家人八名に拳銃を突付け威嚇目隱しし現金六十一圓八十九錢現大洋三十五元外衣類五點金換算八十三圓八十九錢總計金百四十五圓七十八錢を掠奪悠々引揚げた、急報に接した撫順署では普通の強盜と異り事件を重大視し非常召集をなし非番員五十餘名の武裝隊を以て拂曉五時まで各要所々に張込み搜査したるも遂に逸した

トラック一臺に積切れぬ排日文
四平街憲兵隊の搜查

【四平街】支那全國に亘つて昨今極端なる排日、抗日ポスターを發行隨所に貼付、撒布し益々人心を煽動せんとする傾向濃厚となつて來たので各地日本憲兵隊では是等のポスター其の他の押收に努めて居るが四平街憲兵隊でも數日前より各方面、各機關に向つて鋭意探査嚴重なる家宅搜索の結果當地のみでも各方面より押收したる隱匿埋藏せし排日ポスター、同宣言文書排日教材資料その他遼寧省より送附し來れる排日指令及ポスター等にてその數量は一臺のトラックにも滿載しきれない程に上つた

宣傳ビラ配布

【安東】十一日午前十一時より平壤飛行隊偵察機二機は安東、輯安、寬甸、鳳凰各縣下一帶に亘り最低空飛行をなし鮮支兩民とも安心して其の業に服する樣宣傳ビラ數萬枚を撒布したが之れに依り不安に戰きつゝあつた鮮支兩民は漸く意を安んじ各業に服する事が出來る譯で其の效果絕大なるものありと謂はれて居る

マラソン慰問

【普蘭店】出動軍隊慰問の爲單身マラソンにて十日旅順をスタートした土倉節夫君は十一日午後六時無事當地着玉谷驛長宅に一泊翌十二日午前八時より各方面を歷訪九時半官民多數見送りの裡に民政署前より出發した

青年聯盟會議

【奉天】本年度の青年聯盟會議は十七日撫順に於て開催されるが十八日は正午九十名の議員が來天に參集し時局懇談會を開催し引續き母國派遣代表の演說會を開く由

馬賊の一團自警團を襲擊す
團員一名射殺さる

【鞍山】鞍山附屬地南方遼陽縣長店舖の部落民は匪賊警戒の爲自警團を組織し日夜警戒して居たが十三日午前一時頃、自警團屯所裏手土壁を乘越え二十餘名の馬賊の一團が各自拳銃を所持して侵入し居合せた自警團十名に發砲したので交戰となり團員一名は遂に賊の爲め射殺され、賊は團員の所持した長銃七挺、彈丸三百發、モーゼル拳銃一挺、實砲四十發を強奪し團員二名を人質として連行、千山東方に向け逃走したが途中にて人質を放還し其儘逃走した右屆け出に依り十三日午後鞍山署騎馬巡査十名及び守備隊騎馬兵は千山附近に警戒の爲め出動した

强盜犯人逮捕

【金州】去る十一日午後十一時頃就寢中の金州管内董家溝會石山屯一一四番戶呂世太宅を警察の者だが戶口調査に來たからと叩き起し矢庭に直徑約一寸の漁撈用繩を以て後手に縛り上げ恐怖の餘り戰慄の中でふるへてゐた妻女の腕から銀腕輪二個と着てゐた蒲團上下二枚を強奪逃走の道すがら一時頃同屯の某家に同じく警察の者だからと言つて水を飲み剩つさへ巧言を以て同家の衣類物品六七點を詐取悠々と逃走せる犯人ありとの通報に接した金州署では逸早く非常線を張ると共に同屯居住の盧樹桐([illegible])こそ犯人と睨み搜索中の處大連へ逃走の形跡明かとなり逮捕に向つた竹内金州署刑事及巡捕のため香爐礁附近徘徊中の處を十三日午後二時頃難なく逮捕された、金州署では此の外尚餘罪ある見込で目下嚴重取調中

昌圖縣に匪賊

【開原】十三日午後二時半頃昌圖縣城西方約二邦里の朝陽堡に約百五十名の匪賊團現はれ同地自衞團と交戰し同じく昌圖縣城西方約五邦里の亮中橋に約百五十名の匪賊現はれ自警團と交戰したが被害程度不明、昌圖縣城附近拳子溝、朝陽堡、亮中橋等一帶に約五百名の匪賊橫行掠奪してゐるが或は錦州臨時政府と黙約の下に治安攪亂を目的に橫行してゐるものとも觀らる

日本の警官だと掠奪し廻る怪漢
撫順縣下に僞警官

【撫順】日本警察官也と詐稱各村落を乘馬で銃器を掠取し廻る怪漢——本月五日頃より隔日位に撫順縣第七區拉古以部落外附近七ケ村に撫順警察署李石寨派出所勤務巡補徐運坡なりと稱し官衣佩劍モーゼル一號及び小型拳銃を所持乘馬で驅け廻り日本官憲の命なりと銃器[illegible]三日午前撫順署に達した、因に右の如き姓名の巡捕は撫順署に全くなく僞巡捕であるさ

四平街
慰問品に感謝

四平街市民擧つて當地守備隊並にその他に多數の慰問品を贈りし事は既報の如くなるも是等赤誠溢るゝ市民に對し當地守備中隊長齋藤中村は左記の如く十三日一般市民に宜しく御傳言を乞ふ旨の禮狀を寄せた

謹啓、過般は市民の誠意ある御慰問品を御惠與下され我等將士一同は誠に感激に不堪候、實は早速御禮申述ぶ可く筈の處御承知の通り十月一日四平街に轉じてより同三日變電所附近における戰死事件之れが手續、同五日は虻牛哨附近における戰鬪戰死並に負傷等更に七日鷲鷲樹方面における匪賊掃蕩に出動九日歸隊十一日は佐藤、高橋兩上等兵の葬儀告別式と云ふが如く非常に多忙且つ混雜を極め遂に今日まで延引致候段何卒不惡御思召被下度候、貴官より市民一同に宜敷く御傳への程不肖齋藤二郎一同を代表し厚く御禮申述候也

昭和六年十月十三日
獨立步兵第五大隊
第一中隊長
陸軍步兵大尉 齋藤二郎
四平街地方事務所長殿

兩勇士の遺骨

當守備隊所屬故佐藤富雄上等兵、同高橋菊次郎上等兵兩勇士の告別式は去る十一日當守備隊營庭に於て嚴修されしも右兩氏の遺骨は內務班長及び親友二名護送の下に十五日午前十時三十分發列車にて大連經由郷里(青森、秋田)に向ふ事となつた尚同列車には公主嶺第一大隊三十有餘名の戰死者の遺骨も通過する筈

開原
郵便局の業績

開原郵便局の九月中の事業成績は左の通り

一、郵便の部

	引受	配達
特殊	八四	七〇七
小包	一五	一〇三

二、爲替貯金の部

	受入	拂渡
爲替	一二、五三八、三六	八、〇一一、一八
貯金	一三、一八六、四三	八、四三二、[illegible]
振替	三、九〇四、三三	二一、一三〇、〇六

三、保險年金の部

保險	一六〇四、九〇	一〇
年金	一	一

鐵嶺
按摩料金値下

當地では從來按摩の料金を四十錢と定められてゐたが時節柄値下げ希望の聲があり警察でもこれを認めて十錢値下げ今後は三十錢にしたさ

奉天
地方委員選擧

時局のため延期されてゐた滿鐵地方委員選擧は愈々十一月五日に行はれることになり奉天に於てもその準備を急いでゐるが公費納め締切日九月廿八日の成績によると全市有權者が邦人三千七百五十六名支那人六百廿一名、外人百五十八名でその中滯納者邦人六百八十一名、支那人百卅八名、外人九十四名、合計九百十四名の多數に及び實際の有權者は三千六百廿一名である之がため立候補者の數によつては相當の混戰を見るであらう尚町內會推薦の人物は廿日頃發表される模樣である

小兒保險制度

從來十二歲以下の小兒には保險的保護が與へてなかつたが今回郵便局に於て初めて簡易保險の一部として小兒保險が實施されたこの制度で保護せられるのは滿三歲以上で目的は無事成長した暁結婚、入學、就業等に當つて種々經濟的需要を補はしめ或は小兒が死亡した場合扶養者の蒙る醫師の診療代それに葬祭費等の損失を補ふといふのである尚保險料は五十錢、一圓で加入は簡易保險同樣至極簡單である

臨時種痘施行

奉天署では左の日割で臨時種痘を施行するさ

▲廿四日、卅一日兩日加茂町、浪速通、隅田町各派出所管內(本署に於て)
▲廿六日、十一月二日兩日奉天驛、宮島町、千代田通り、日吉町、芳野通各派出所管內(同上)
▲廿七日、十一月四日紅梅町、平安通り、青葉町、末廣町、渾河各派出所管內(彌生小學校にて)
▲廿八日、十一月五日文官屯、虎石臺、新城子各派出所管內(新城子驛構內に於て)
▲廿九日、十一月六日陳相屯、蘇家屯、吳家屯各派出所管內(蘇家屯滿鐵俱樂部に於て)時間は毎日午前九時から午後四時まで

毛糸編物講習

主婦の友の毛糸編物展覽會並に同講習會は奉天高女同窓會、奉天滿鐵家事講習所後援の下に來る廿五日から二日間奉天高女講堂に於て無料で開催するが講師は東都における斯道の大家々庭製作品奬勵會柴田たけ子女史が出張指導する由

安東
市行政委員會

支那街の安東市行政委員會は十三日午後二時から市商會に於て第一回委員會を開き今後の市政方針に對して種々協議する處あつたが日本側新聞社などへも商工會議所を通じて出席を求めた

鞍山
軍隊等を慰問

鞍山時局委員會にては第六大隊出征將士留守宅二十六戶に菓子籠を贈り慰問したが、十三日は時局發生以來、日夜警備に苦心しつゝある鞍山守備第三大隊東海林中隊及び鞍山署、憲兵分遣隊、衞戍病院等にそれぞれ清酒一樽を寄贈し其の勞を犒つた

市場會社披露

鞍山市場會社にては資金一萬五千圓を投じて新築中なりし魚菜小賣市場が愈々消防隊橫に出來上り去る一日より開業したので十三日正午から市內の各家庭に婦人連を午後四時から主なる官民多數を招待し市場橫の空地で披露宴を催したさ

金州
郷軍の射擊會

帝國在鄉軍人會金州分會では來る十八日午前九時より第十六回定時總會を兼ねて金州城西門外三崎屯射擊場に於て秋季射擊大會を開催するさ

會吏員研究會

金州管內の各會では左の日取により會吏員の事務研究會を開始した△十四日馬家屯會△十六日玉皇頂會△二十一日老虎山會△二十三日閻家樓會

旅順
選手推戴式

來る十七日擧行さる都市對抗驛傳リレー選手推戴式は十三日午後二時から旅順市役所に於て開催市會議員町總代其他各方面後援者多數參會拍手裡に選手はユニホーム姿凜々しく入場永山市長(後援會長)より一場の挨拶を述べ三澤監督より選手として岡澤旦、上倉讓一、河野萬治、上倉仲一、眞砂勝、長倉春吉、柳澤忠次郎(不參)を紹介選手を代表して岡澤旦氏答辭を述べたる後三澤マネージャより從來の經過報告あり再び拍手裡に散會した

編物の講習會

大連本社に於て後援非常な好評を博した在來の手編みその他の方法と異りドンナ初心者でも巧劣なくすぐ覺えられる最新式S式高速度手編物講習會が今回旅順で開催される事となつた講師は佐久間進一郎、同依子夫人、船川里子女史で十六日から三日間は新市街第二小學校、舊市街は十九日から三日間青葉町龍心寺に於て毎日午前九時から午後三時迄旅順高等女學校同窓會主催、關東廳學務課後援で開催し會費八十錢で當日持參材料は持合持參又は會場で實費で分與する、尚舊市街方面は廿三日中に決定する由で當日道具は一式無料で貸與するが希望者へは三圓五十錢であると趣味と實益を兼れた有益な好機會を逸せず切に參加をお勸めする

黃金臺

在鄉軍人旅順分會では十三日午後七時から偕行社において理事會を開催警備團今後の行動、時局に關する分會行事の件等につき種々打合せを遂げ同九時過ぎ散會した

◇

三重縣教育視察團一行十名は十三日午前九時十分着列車にて來旅各所を見學即日辭旅

◇

松林町二ノ二土木課勤務德永良一は渡滿の際船中で懇意になつた氏名不詳の日本人年齡二十二歲位の男が十二日突然來旅就職口を依賴したが良一が洗面中洋服から金七圓餘を窃取し逃亡した

御めでた

▲月見町五 研谷春雄氏長女陽子孃二十三日出生
▲桃園町二五 永井義通氏長男滿君一日同上
▲春日町 恒吉秀雄氏二女國子孃二十五日同上

追悼

▲千歲町五ノ二 色川大助氏妻ヨウ(五二)十一日死亡

市中の噂

來る十七日の都市對抗驛傳リレーは旅順市として是非第一着の榮光を獲得せねばならぬ、地の理を得た旅順市としては遮二無二頑張る事だ▲選手の意氣は全く[illegible]れて後止むの一大悲壯な決心を持つてゐるから此上の勝味は市民の後援である當日は町內旅は勿論全市民小旗を振つて選手をいやが上にも聲援する事である▲此催しは明年、明後年更に來るべき神宮祭當日は全滿の都市は無論、遠く[illegible]國の韋駄天連強豪者の參加を見るとと想へば將來は「聖地旅順」の名聲にも及ぶ……天の時、地の利、人の和は正に此日の市民が持つべき秋?

沿線往來

▲河相關東廳外事課長 十二日來奉
▲中谷警務局長 十二日歸旅
▲大谷旅順要塞司令官 十二日歸旅
▲橋本參謀長 十三日來奉
▲金井滿鐵衞生課長 同上
▲松島同農務課長 同上
▲大島高橋氏(陸軍省囑託)同上
▲土肥滿鐵總務部庶務課長 十三日長春へ
▲民政黨代議士一行四名 十三日長春へ
▲阿比留滿鐵大幹事 十三日大連より歸奉

敗殘兵を挾擊包圍して攻擊を開始し交戰中
巨流河沿岸一帶を横行する五千の敗兵討伐令

夕刊既報の如く十三日午前支那敗殘兵の爲め山口騎兵軍曹、藤井騎兵上等兵が戰死したので軍司令部ではこれが討伐を決意し偵察の結果巨流河の東北方沙家窩棚より北寧線に沿ふて巨流河一帶に約五千の敗殘兵横行しつゝありとの報に接して本庄關東軍司令官は支那敗殘兵の討伐命令を下した、右によって軍部では五個大隊の兵を十三日夜皇姑屯より三個列車に分乘せしめて現場に急行させた、我軍は興隆店驛に下車して沙家窩棚東方一帶に散開して、これより先に發せる一個中隊と聯絡をとり十四日夜明けより支那敗殘兵を挾擊、包圍狀態にして前進中、午前十時ごろ約二、三百名の敗殘兵が巨流河と沙家窩棚の中間にゐるを發見し直に攻擊を開始し目下交戰中であるが我軍はこれを既に殲滅したものと思はる【奉天電話】

齊々哈爾の邦人全部引揚げ
支那兵各所に裝彈し形勢俄かに急轉危險

【ハルビン特電十四日發】齊々哈爾方面の冷靜なる空氣急轉領事館を殘し約六十名の邦人全部引揚げに決した支那兵は各所に爆彈を裝置し危險極まりなし鮮人五百名も引揚げた同地方今や戰端を待ちつゝあり

營城子に馬賊

十二日大屯より來長した鮮人の情報によれば大屯西方六里餘の大嶺へ二千名の敗殘兵集結附近を掠奪しつゝあるとの旨に我が第二師團では飛行隊に命じ午前十時長春發偵察せしめたるに大嶺西南方十キロ營城子に五十名の馬賊が馬車を以て盛んに掠奪中で附近公安局がこれを討伐中であったが敗殘兵の姿は發見しなかった【長春電話】

田莊臺の敗殘兵討伐

【牛莊十三日發】田莊臺附近に駐屯してゐた孫德荃の第十九旅敗殘兵は張學良の派遣した便衣隊並に附近の馬賊と結んで約三千の集團をなし北寧線兩側地域に暴威を振ってゐるので奉天警備司令部から派遣された歩兵〇〇〇〇隊騎兵〇〇〇〇隊（〇〇〇〇隊不足）に巨流河支部から急派された中隊長の指揮する歩騎兵各〇〇〇〇隊は十三日朝來兩方面から挾擊中である

飛行機で救出
華興公司農場の邦人

大倉組華興公司農場從事員救出のため、十月十四日午前六時ガソリンを滿載し鄭家屯飛行場を離陸せる旅客機は婦女子十名（内子供四名）を救出し午前九時鄭家屯に到着した、婦女子は稍や疲勢してゐるため鄭家屯公所に休養中である、また正午到着した飛行機にて第二回避難者七名を載せ鄭家屯飛行場に到着した、なほ十名救出のため同地に向った【鄭家屯電話】

出獄同盟で支那の暴虐宣傳
日本軍に感謝する同胞

吉林、敦化の兩地の支那監獄内に不法監禁の憂目を見てゐた同胞約百五十名は今回の事變のため我軍の入城により解放された、解放された同胞はそれぐ間島方面に歸ったが出獄同盟を組織し吉林及び敦化に於ける日本軍の正々堂々たる行動、日本軍より受けた恩惠、文化的行爲を感謝すると共に支那官憲の暴虐行爲及び非文明的一般施設を中外に訴へることゝなつた【奉天電話】

青島で邦人慘殺さる
排日會員の仕業か

【青島十三日發】市外鐘紡工場附近の酒保小林要（三七）は今朝十時頃支那人に慘殺された、排日會員の仕業らしい

秋・うららか　―きのふ常盤橋にて

三十九名の遺骨
今十五日大連に到着　埠頭で慰靈祭を執行

滿洲事變に於て陣歿の獨立守備歩兵第一大隊および鐵嶺第五大隊將士倉本少佐以下三十九名の遺骨は十五日午後八時大連驛に到着、同十六日午前十時出帆のうらる丸で郷里へ歸還の豫定なので大連市役所では十六日午前八時埠頭構内東方廣場に於て左記順序により慰靈祭を執行するが一般市民多數の參拜を希望すると

▲神式＝先修祓、次降神（默禱）次齋主祝詞を奏す

▲佛式＝先香偈、次祭文、次讀經次市長代理祭文、次來賓弔詞、次齋主玉串奉奠、次導師燒香、次玉串奉奠並燒香、市長代理、遺族、民政署長、滿鐵總裁、現役軍人代表、在郷軍人代表、傷兵會代表、市會議長、商工會議所會頭、學校代表、關係各縣人會長、一般參列者代表區長、次一同起立默禱

旅順に要港設置を要望

日支事變突發後南方支那における排日氣勢の濃厚に加へ在留邦人杞憂一段の重きを加へ來ると共に旅順市民の間には將來の對支的關係より海軍要港部設置復活の聲起り一部にては最少限度防備隊丈にても復活の希望を有する者ありて中には急速これが協議會を開催すべしとの議を唱へる者がある

南支排日氣勢情勢各地とも益々惡化

【上海十三日發】南支一帶の排日風潮惡化し各地狀況左の如し

沙市　邦人は皆日清汽船ハルクに移り陸との交通を絶つため橋を撤去す

宜昌　領事館　居留民共日清汽船信陽丸に避難す

重慶　領事館は支那暴民の射擊を受け危險、十五日發日清汽船で領事以下は當地以西各地領事居留民等と漢口へ引揚げる

漢口　邦人工場泰安紡績は二、三日中に閉鎖の已むなきに至る反日會は餓えたる豺狼の如く日貨といはず支那貨といはず掠奪し昨日邦人二名民衆に毆はれ負傷す

鎭江　昨日支那學生數百名は邦人經營大井醫院を襲ひ投石破壞し軍艦桃の食糧品運搬を妨害す

福州　地和大學生百五十餘名領事館を襲擊し市内には「日本人を殺せ」と書いた不穩ビラが隙間なく貼られてゐる

汕頭　日本南京を占領すとの謠言起り形勢愈々惡化す

四百八百繼走に大會新記錄
小學校聯合競技會

大連獎學會主催の大連小學校聯合競技會は引續き十三日午後よりも大連運動場に於て續行父兄達の來觀者も多く選手、應援團ともに意氣天に沖し好記錄續出で大會新記錄二（尋女四百米繼走、尋男八百米繼走）を殘し午後二時半競技を終る參加選手中央役員席前に整列淺野伏見臺校長閉會の辭を述べ國旗下降後全參加選手萬歳を三唱し盛會裡に終了した

尋六女六十米　▲1名越よし（廣）九秒三2淸野はる3古賀サツキ（日）▲1加藤エイ子（嶺）九秒五2永田かの（伏）3尾關さし子（松）▲1石川美子九秒一2山崎利子（日）3今西千惠子（伏）▲1大政喜代子（常）九秒五2鈴木まさ（朝）3長谷川滿都子（春）▲金田富貴子（沙）九秒六2木下常子（松）3和田トシヱ（南）▲1江川久江（伏）九秒五2高野愛（朝）3奈良井成枝（正）

尋五女六十米　▲1岩井やす（朝）九秒六2粟山田鶴子（廣）3石田玉江（正）▲1源壽美枝（松）九秒七2田邊富美子（嶺）3渡邊辰ゑ（下）▲1矢橋滿（嶺）九秒七2伊藤俊子（正）3梅本睦子（廣）▲1小西幸世（朝）九秒五2中村滿壽（伏）3廣谷良子（聖）▲1萩巣和子（春）九秒五2徳丸春江（聖）3山根茂子（松）▲1安東一子（常）九秒七2藤木信子（正）3山口セツ（南）

尋三男六十米　▲1椚川卓雄（嶺）九秒五2岡崎憲二郎（正）3増本好夫（南）▲1稲垣謙次（朝）九秒四2伊藤圭一（廣）3内藤滿夫（沙）▲1今井幸夫（朝）九秒七2上坂博（廣）3池内健（聖）▲1長廣敏郎（伏）九秒九2木下元彩（松）3小龜博（正）▲1井上好雄（嶺）九秒五2寺師衛正（廣）3松田廣和（伏）▲1桑野雄年（正）九秒七2宇佐美貞雄（南）3坂田平七郎（聖）▲1壽富勇（沙）九秒八2川村博貴（朝）3池田亮（常）▲1林末夫（下）九秒九2小西宗彦（寅）3上田文夫（日）▲1沖見治雄（嶺）九秒七2古澤栄正（廣）▲1鷹屋敏夫（春）十秒一2早川武（周）3梅田時敏（伏）▲1永峰健三（沙）九秒九2安田博（日）3入賀茂（下）▲1室山肇（廣）九秒五2丸谷悦郎（嶺）3市岡拓郎（正）

尋三女六十米　▲1八丁百合香（日）十秒2石本和子（伏）3松本貞子（南）▲1松田カチル（正）九秒六2森永美代子（朝）3藤井コウ（嶺）▲1鈴木みつ子（朝）一〇秒一2清水春子（南）3勝本和子（下）▲1谷川久枝（嶺）一〇秒五2坂本タヅ子（廣）3原芳ゑ（日）▲1高見よし江（聖）一〇秒2金野百合子（正）3香月千里（春）▲1飯島安子（朝）九秒六2川口谷節子（沙）3齋藤和子（聖）▲1奥村綾子（正）一〇秒四2新開富子（伏）3友岡連子（日）▲1中山房子（下）一〇秒2松尾チエ子（廣）3濱崎光子（松）▲1澤田艶子（正）九秒九2河野夢野（嶺）3内藤貞子（廣）▲1奥千鶴（朝）一〇秒一2佐藤アヤ（松）3鐙谷良子（伏）▲1上田敏子（嶺）一〇秒三2安藤多賀子（常）3勇木尚子（伏）▲1城戸芳子（廣）一〇秒四2岩本君子（朝）3堀居澄子（春）

尋四男六十米　▲1關本益（聖）九秒四2玉田孝（伏）3吉永久男（南）▲1伊藤敏明（聖）九秒六2大内俊彦（常）3澤田秀雄（伏）▲1外山信義（廣）九秒二2安藤健二（下）3茂倉光（正）▲1増川靜夫（朝）九秒五2今井明（伏）3三倉浩（嶺）▲1黒木繁（廣）九秒三2中泉良致（嶺）3神原正七（沙）

尋四女六十米　▲1寺坂智惠子（嶺）一〇秒2森鈴子（廣）▲1白川章子（常）一〇秒2松本芳子（日）3稲津秀子（聖）▲1小島トシ子（日）九秒九2嶋木潔子（嶺）▲1八島敏子（南）一〇秒二2黒瀬俊子（正）3久保田泰江（聖）▲1三浦ヤエ子一〇秒2龜田フク子3三宅秀子（聖）▲1小田泰子（嶺）一〇秒二2三好日出子（嶺）3田尻トヨ（廣）

尋五女走巾跳　▲1池田壽美子（廣）三米五〇2大森ユキ子（松）3中村末子（常）▲1貴志カツ子（嶺）三米五三2菅原孝子（正）▲1野崎清ゑ（廣）三米三五2有江文子（嶺）3西坂ミツ▲1中内文子（常）三米三五2榊原靜江（嶺）3佐藤時子

尋五男走巾跳　▲1高山勉（嶺）三米九八2川越一之3西卷緑郎（伏）▲1赤津數吉（正）三米八六2粟津二郎（廣）3松岡素典（常）▲1内田榊祐（聖）三米七六2村田博（伏）3林高明（春）▲1開慶久（嶺）三米六二2篠俊男（常）3高橋一成（日）

尋女四百米繼走　A組一着嶺前（渡邊、秋山、三上、三原）一分一秒六、二着春日、三着沙河口　B組一着朝日（吉田、岡野、岩崎、江上）一分〇秒五（大會新記錄）二着日本橋、三着大廣場　C組一着伏見臺（永田、細百東、夏原）一分二秒三、二着南山麓、三着松林

尋男八百米繼走　A組一着聖德（高名、奥野、宮本、久保田）二分〇秒（大會新記錄）二着南山麓、三着伏見臺　B組一着沙河口（岡田、松尾、岡、稲垣）二分七秒二、二着春日、三着大廣場　C組一着大正（柿田、鈴木、森畑、宮澤）二着日本橋、三着嶺前

土木建築界に對し關東廳、自覺を促す
羽衣高女校舍倒壞事件を機會に今後の監督策を研究

羽衣高女校舍の崩壞事件はその原因乃至は責任が奈邊にあるにせよ死に角かゝる生々しい現實の結果は動かすべからざる事實であり事件勃發と同時に土木建築の衝にある當業者は勿論、一般世人は今更の樣に建築工事の保安的重要性に思ひ至ってゐるが、建築工事を許可し或は主任技術者の證明を下附する等一切の之が監督の立場にある關東廳土木保安の主管課では之を機會に土建界の自覺を促すと共に官廳としての監督方法等に就いても一層適切にする必要があるとて早速研究に着手した、主管官廳としては學校、劇場、旅館等大建築に就ては今後出來るだけ監督を嚴にし再び不祥事を見ぬやう努むる筈で目下建築中の中央館等も差當り嚴重なる監督が行はるゝ模樣である

神戸出入船舶豫定を變更

【神戸十三日發】颱風の爲め神戸出入船舶は各會社船を通じて出帆延期又は缺航等豫定を變更した、日本郵船上海行定期船上海丸は十三日午前十一時の出帆を延期し十四日午前十一時出帆に決したが上海行定期船の缺航は近來珍しいことである

三重縣下被害

【尾鷲町「紀州」十三日發】十三日午後二時ごろ豪雨のため北牟婁郡相賀町銚子川増水し堤防決潰し町内四十戸二百三十餘名押流され行方不明となり目下救助中である

匪賊團に斃れた佟氏の葬儀執行
十三日奉天の盛儀

去る十日夜奉天小南關において匪賊逮捕に向ひ不幸賊團に斃れた白警局第三分局長佟榮觀氏の葬儀は十三日午前十時小南關馬神廟で行はれ三谷憲兵分隊長を始め日支關係者多數參列し式場には本庄軍司令官、土肥原市長等多數より贈られた花輪を飾り極めて盛儀であった尚地方維持委員會より一千元三谷憲兵分隊長より百圓その他多額の香奠が贈られ遺族は日本當局の好意に感激に咽んでゐる【奉天電話】

煙花工場爆發
死傷者十三名

【福岡十三日發】八女郡羽犬塚[illegible]川煙花工場にて十三日午前九時煙花製造中誤って引火一大音響と共に爆發全工場三棟粉碎作業中の職工中即死五名重傷六名輕傷二名を出し慘狀目も當てられぬ有様である

人氣スター總出演

松竹日活のピカ一連が集って秘語珍話續出！時ならぬ花を咲かす、「映畫女優大座談會」は講談倶樂部十一月號で目下素晴らしい大評判

貴院議員一行
大連附近の日程

南支方面視察中の貴族院議員一行十名は十四日天津から入港の天潮丸で來連するが在連中の日程は左の通り決定した

▲十四日午前九時ごろ上陸、旅館星ケ浦ホテルに到り、遊覽道路を經て中央公園忠靈塔に參拜、更に大連神社に參拜、滿鐵本社を訪問、大廣場ヤマトホテル晝食、午後二時出發、滿蒙資源館工業博物館、三泰油房、苦力收容所を視察

▲十五日　旅順往復

▲十六日　西崗子公學堂、露天市場、救療所、中央試驗所、南滿硝子會社、專賣局を視察後晝食（場所未定）午後は埠頭、甘井子粟屋農場を視察

▲十七日　自由行動

姙娠七ヶ月の人妻何者かに慘殺さる
昨夕土木課の官舍で

十四日午後四時卅分頃市内惠比須町關東廳土木課大連出張所官舍の土木課員佐藤派信事佐藤重夫氏方を訪れた日本人の行商人が戸を開けるや否や玄關奥の六疊の間に同人の妻つえよ（二三）が胸部を短刀樣のもので刺され鮮血にまみれて卽死し現場一面は目もあてられぬ慘狀を呈してゐるのを發見、腰を抜かさんばかりに驚愕して急を近隣の土木課員の宅へ告げる一方此の旨小崗子署に報じた、檢察局から酒内檢察官、大連署司法係、小崗子署員等多數現場に赴き檢證を行つてゐるが、犯人の目星、殺害の目的等一切不明の模樣である、なほ被害者つえよは目下姙娠七ヶ月の身重で大分縣の出身三ケ年前佐藤氏と結婚し夫婦中は至って圓滿であった

競馬益金寄附

時局の推移に鑑み延期中であった大連競馬倶樂部の臨時特別競馬會は來る十六日、十七日、十八日、二十四日、二十五日、二十六日の六日間開催する事は既報の如くであるが今回の競馬會益金は同倶樂部會員の發意により滿洲出動の軍隊及警察官慰問のため寄附する事になった

シェパード展覽會

大連シェパード倶樂部では來る十七日午前十時より中央公園、栗野球場に於て同倶樂部主催の下に第四回シェパード展覽會を開催すると

御嶽教會

市内八幡町の同教會では秋季例祭として來る十七日午後七時より前夜祭同十八日正午本祭を執行、式終了後福引景品を贈呈し一等當籤者には大黒尊像を授與すると

けふの滿日講堂

滿洲技術協會にては十五日午後四時半から滿日講堂において前鐵道省技師大谷資利氏の火災と防災器械、器具の發達と接手についての講演會及びこれに關する映寫を催す入場無料

工孃大阪到着

【大阪特電十四日發】午後一時五十九分エッツドルフ機は木津川飛行場に安着した

冬季體育座談會

南滿洲教育會では十四日午後七時より滿鐵社員倶樂部に於て中等、初等學校體育關係者並びにスポーツ醫學關係者等集合の上「冬季に於ける生徒兒童の體育衛生に就いて」の座談會を開催することになった

遺骨を送る埠頭の準備

獨立守備歩兵第一大隊及び第五大隊勇士の遺骨は十五日午後八時大連驛到着、十六日午前七時半關東倉庫出發、同八時より埠頭構内東方廣場にて大連市主催の許に慰靈祭擧行、同九時より一般參拜、同九時三十分うらる丸乘船の筈である、見送者の位置は過般香港丸の場合と同様にして學校生徒代表青年訓練所員は岸壁、神官僧侶現役將校團代表者は中央ベランダーとし在郷軍人其他各團體同上層ベランダーで當日はテープによる見送りは遠慮されたいと

安樂椅子

この前蛇島の學術調査隊が生捕って來た四五十匹の蛇達は今でも電園で仲よく暮してゐるが昨今すゞ風が立ったのですっかり元氣が無くなって何をやっても食はふとしない、穴が戀しくなったと見える。

◇

處でこの蛇の毒がどんなものかは學者連中を集めてゐたが誰も試しに嚙まれて見やうとは云はないので試驗のしやうがない處からこの間鼠で試して見た。

◇

生きた鼠をなげてやった處いきなり嚙みついたと思ったら放した、鼠は二三度きりきり舞ひをしてばったり倒れてしまった、すると倒れた鼠の心臟が異常な激しい鼓動を打ち出したと思ったらぱったり止まってしまったそして徐々見屆けてから呑み始めた、その時間がたった十二分

◇

蛇取りの名人岡田トウルマン君鉛筆を以てすらすらと計算し始めたのを見れば鼠の長さ二寸で十二分なら僕の丈が五尺十二寸（六尺二寸のこと）で五時間十分、これぢやまごまごしてゐると觀の極も見られないと。

曙の鐘 (79)

倉田潮　河野想多畫

大都會の暗黒面（九）

春木は池袋丸山の木田良子の家を訪れて行つた。

あけみが會社へ電話をかけると木田良子の居所はすぐ解つた。春木は良子に逢へばお冬のことは、さもなくばお冬のたえ子を連れてひそんでゐる家は直解るだらうと考へてゐるのだつた。

池袋で電車をおりると、もう薄暗くなつて、驛前には縁日でもあるらしく、露店がちらばらに軒を並べてゐた。

電話で聞いて來た道すじを辿つて、春木は立教大學の前をぬけ、野中の一軒家に訪ねる家を突きとめた。トタンぶきの小さな家で、表札には木田良子と云ふ名と並んで、松木靜男と記されてある。

春木が建てつけの悪い格子戸を開くと、中から良子より五つ六つも若いルパシカを着た青年が出て來て來意を問ふた。春木は格子戸のなかに佇んだまま、良子に逢ひたいと思つて來たと答へた。

「何か用事があるのですか」

とその青年は疑はしげに問ひかへした。春木は慌たゞしく、言葉もしどろもどろに、

「良子さんに逢へば、お冬さんの宿所が解るだらうと思つて來たのです」

「ああ、お冬さんのことで……さうですか」と青年は初めて疑ひが解けたやうに笑つた「良子は今湯に行つてますが、直ぐ歸りますから、まあ御あがんなさい」

「いや、急いでゐますから……」

と春木は縁にこしかけて、良子の歸つて來るのを待つた。

入口の格子戸を距てゝ見る視野は何處もかしこも草原だつた。秋の明るい月が澄んだ空にあがつて秋の虫が騒がしいほど鳴いてゐた。

良子は容易に歸つて來なかつた。春木は仕方なく松木と世間話しを始めた。松木は不景氣の話しから地方の小作爭議の實状を語り出した。千葉や埼玉の小作爭議の現状に非常に詳しくて、或はその爭議へ實際運動に行つて來たのではないかと思はれるやうなところもあつた。

そこへ洗ひざらひの簡單服をつけた良子が、女工風の二人の若い娘と一人の職工ていの男をつれて湯から歸つて來た。彼女は初め思ひ出せない風であつたが。

「ああ、春木さんだわよ」と例のせつかちな調子で、驚きの聲をあげた「さ、何卒こちらへ、こちらへ」

「さうしてゐられないのですよ。僕はあなたの從妹のお冬さんのことを——居所を聞き度いと思つて來たのですが」

「あゝ、あのお冬、剛太郎の妾の……。さうですか。あゝ、申遅れましたが、このルパシカが私の現在の同せい者、松木靜雄ですよ。何卒よろしく。それからこの男の方は制絹爭議の時にやられた——これは秘密ですがれ——大島洋太といふ私達の同志なのよ。それからこの女の方は築地の工場爭議の犠牲者の、矢張り同志なのよ。さ、おあがんなさい、春木さん」

良子が勞働運動に加はつてゐるその噂は前にも聞いたことがあつたが、

「さうしてはゐられないんです。お冬さんの居どころを……」

「あゝ、さう〳〵、お冬の番地は……。お冬に番地なんかありやしないわよ。お冬には母も父も兄弟もなく、從つて家もありやしないんだわ。彼の女はまだ現段階の誤つた機構を知らない女奴隷、さうだわ、奴隷だわ。あの剛太郎に肉をうつて生きてゐる恥しらずの奴隷だわ。私、あの女のことを言ふのも恥かしいわよ。春木さん、おあがんなさい」

「あがつてはゐられないのです」

「でも島渡おあがんなさいよ。私あなたにしみ〴〵と現代社會の實状について、しみ〴〵と話して見たいと思つてゐたのですわ。もし御同感を得られるなら吾々の同志になつて頂きたいと思つてゐたんですのよ。島渡、島渡、おあがり下さいな。春木さん」

新刊紹介

▲最新植物學中巻（三好學著）曩に出版せる最新植物學の中巻である、本書は第一篇植物體に於ける力の代謝（發芽生長及器官形成、植物の運動）第二編植物の抵抗性病害及畸態（植物の抵抗及病害、植物の畸態）第三篇植物の生態（植物の生死、植物相互並に動植物相互の關係、植物の進化）術語索引人名索引等を收録したものである、菊判堂々八一六頁に及び天金背皮の美本である（價九圓、東京市神田區通神保町九番地富山房）

▲ソウエート評論（十月號）漁業問題特輯號、日露漁業問題の所在と彼我の態度（川上俊彦）北洋漁業を視察して（上田森治）極東ロシヤの產業五ケ年計畫と日ソ經濟關係（上田半治郎）政權擁護者としてのソウエート軍（有馬）價三十五錢、東京市麹町區丸の内三ノ二日露貿易通信社

▲モーター（第二二六號）價五十錢 東京市赤坂區溜池町卅二番地極東書院

▲聯珠の友（十月號）價三十錢、東京市外日暮里町金杉七七二聯珠之友社

▲代數（富山房編輯部）下卷、開方より級、對數、利息及び年金までを收めてある、自學自習や受驗參考のために力を注ぎたる本書は研究事項より例題に移り特に目立つところは記述の範圍を必要の最小限度に止め、聯絡統一等である（價一圓三十錢、東京市神田區通神保町九番地富山房）

▲國民世界地理下卷（藤田元春著）本書は第五篇ヨーロッパ洲、第六篇北アメリカ洲、第七篇南アメリカ洲及び索引より成り圖版多數を掲げ記述は平明詳細、極めて興趣に富むのみならず、地理汎論についても歐米の名著を抄譯し主要なるものは至極分り易く歸納的に述べてゐるので不知不識のうちに理解記憶せしむる長所がある、ともかく以上の諸點において國民世界地理として稀に見る最新の良書である（五九五頁、東京市神田區通神保町富山房發行、定價二圓二十錢）

▲キング（十一月號）山本英輔大將と横談、新島讓先生を懷ふ（堀貞一）老小使の見た歷代首相の官邸生活（市川太郎）北太平洋の決死隊（水村洋々）時代小說、天晴れ啞將軍（白井喬二）牢獄の花嫁（吉川英治）現代小說、心の日月（菊池寛）日夜は明くる（久米正雄）特別讀物（五篇）上杉謙信と蕪夫（菊池寛）天下一（中内蝶二）桐畑の怪（小林一三）暮神吳風（小澤得二）長樂寺の新太郎（子母澤寛）その他特輯大附錄として「現代農家の繁榮策」青年男女の重大問題座談會等々、秋の娯樂讀物を滿載してゐる（定價五十錢、講談社發行）

▲毒鼓（十月號）日蓮主義徹底唱導雜誌（價五十錢、東京下谷區谷天業民報社）

▲講談倶樂部（十一月號）勘太郎月の唄は大衆作家の巨匠長谷川伸の作でこの名戯曲は斷然面白い、都督獸、青春淚多し、虹の歌、鐵の花園、清水の次郎長、滿願城、王冠等の連載讀物、舞踊界の明星高田せい子が今日の名聲を博するまでの血淚物語などすべてが面白い、價五十錢、大日本雄辯會講談社

▲富士（十一月號）唐人お吉と攘夷郡（眞山青果）はいよ〳〵最高潮に達し小林佐兵衛實傳は俄然局面轉換して俠奴さすらひの巻となり惜しい所で續きとなつてゐる、戀無情時雨しら菊（小島政二郎）は新載物、恩智樒の吹心、戰線の天使、名工柿右衛門、恩愛流轉二十年、菊花の謎等はいづれも大衆物の逸品、現代の航空時代を察してオフセット刷で現代航空界の寵兒たちを寫眞入りで懇切に說明してゐる價五十錢、同右發行

▲文藝倶樂部（十一月號）太江戸奇習變態考（夢想兵衛）エロ・グロ取交ぜ五話からなり、天保赤門黨（土師清二）假面（佐々木味津三）捕物噺（田六福）等の連載物は益々佳境に乘つて來た、危機一髮深夜の悲喜劇はナンセンス的な五篇を以て固め或る不良少年の告白（赤村金治郎）は子持つ親の見遁し難いところ價五十錢、東京日本橋本石町博文館

▲ナップ（十月號）スターリンの演說とラップの任務（上田進）藝術的方法についての感想（谷本清）プロレタリア文化聯盟の結成へ（中野重治）價三十五錢、東京市外落合町上落合四六〇全日本無產者藝術團體協議會

▲新朝日（十月號）價三十錢、東京市芝區田村町十一海外研究會

▲幼年倶樂部（十一月號）幼年者にとつて唯一の友幼年倶樂部の內容は依然として豐富な物語を滿載してゐる、柴のかざり（横澤千秋）赤ちやんのお寺（西條八十）雷神丸（巖谷小波）熊が降つて來た話（小島政二郎）等（價四十錢、東京市本郷大日本雄辯會講談社）

滿日臨時碁戰

二段 泉善治氏
初段 井上太市氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

—【4】—

●六一ヌの八 ○六二リの九
●六三ニの十五 ○六四ハの十四
●六五ホの十三 ○六六ホの十二
●六七ヘの十三 ○六八ヘの十二
●六九ホの九 ○七〇ホの八
●七一トの九 ○七二トの八
●七三トの十二 ○七四トの十三
●七五ヘの十四 ○七六ニの十二
●七七ニの十一 ○七八ヘの十五
●七九トの十四 ○八〇ホの十五

▲岩本六段講評 黒六十三、六十五の趣向は無理である（い）に飛で打てば充分の碁勢である

けふの放送

大連 JQAK 十月十五日

▲午前六時三十分 ラヂオ體操
▲午後六時五十分 ニュース
▲童話「夢を賣る店」日本童話協會々員竹田幸雄
▲管絃樂獨奏三重奏「管絃樂マリタナ」（ワラッエ作）ヤマトホテル管絃樂團、ヴァイオリン獨奏「悲しき歌」（チャイコウスキー作）岩崎寛、ピアノ三重奏「アタジオパセチック」（ベエトーヴエン作）ピアノ佐野正策、セロスカルスキー、ヴァイオリン岩崎寛、トランペット獨奏「年の流れ」（ピーバン作）川上義彥
▲浪花節「不破數右衛門」吉川晴雲
▲筑前琵琶「高山彥九郎」法命山水島旭山
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

十月十五日午後六時三十分
▲座談會「早慶戰」泉谷祐勝、河野安通志、押川清、櫻井彌一郎、高濱德一、島田、中野武二 ▲連續講談「鍋屋政談伊勢の初旅」（第三席）神田伯龍